

平成 29 年度 内閣府「地域子供の未来応援交付金活用事業」

川西市子どもの生活に関するアンケート調査
結果報告書

平成 29 年 12 月

川西市 健康福祉部 生活支援室

川西市 教育委員会事務局

〔 調査実施機関：株式会社 長大 〕

目 次

ごあいさつ.....	1
1. 調査概要.....	3
(1) 調査の目的	3
(2) 調査対象者	3
(3) 調査の方法	3
(4) 調査期間.....	3
(5) 標本誤差	3
2. 相対的貧困世帯に関する分析の視点.....	4
(1) 本調査における相対的貧困世帯の定義.....	4
(2) 本調査における相対的貧困世帯数の算出方法.....	5
(3) 川西市の相対的貧困率	5
(4) 地域別の相対的貧困世帯の割合.....	6
3. 調査結果.....	7
(1) 配布数・回収数.....	7
(2) 回答者の属性.....	8
(3) 経済状況.....	16
(4) 生活環境.....	29
(5) 教育環境.....	49
(6) 子どものこころ・健康状態.....	59
(7) 保護者の状況.....	69
(8) 自由意見.....	75
4. 考察（総括）	79
(1) 川西市の子どもの貧困の状況	79
(2) 貧困の子どもへの影響と世代間連鎖	79
(3) 川西市における貧困問題への取組みについて.....	80
5. 資料編	81
(1) 調査票.....	81
(2) 集計表.....	93

【本報告書を読む際の留意点】

- ・ 図表中の「N」は、回答者総数または区分別の回答者数を示している。
- ・ 2つ以上の選択肢を回答する設問（複数回答）の場合、回答結果の割合（％）は、回答者の総数に対して、各選択肢の回答者数の割合を示しているため、合計が100.0%以上となる。
- ・ 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものである。
- ・ 図表中の選択肢表記について、語句を短縮・簡略化している場合がある。

ごあいさつ

少子・高齢化や国際化、そして急激な技術革新によって目まぐるしく変わる生活環境や労働環境の変化が、豊かで便利な新しい生活をもたらした一方、その恩恵を受けず生活困窮状態の市民層が存在することが知られています。

そして、やがてその多くの方々が、将来の社会保障制度に大きな負担となり、生活困窮状態からの自立支援は、都市の継続的な発展のために今から向き合わなければならない課題として考えられています。

平成 27 年 4 月の「生活困窮者自立支援法」(平成 25 年法律第 105 号)施行に合わせ、本市においても支援を必要とする世帯のうち、その子どもたちに確実に届く支援策を講じ、子どもの将来が、生まれ育った環境に左右されたり、貧困が世代を超えて連鎖したりしないよう、必要な環境整備と教育の機会提供のあり方を検討する必要があります。

貧困の尺度がない中、子どもの貧困の実態は、人によって一定の幅が有り、見えにくく捉えづらいついと言われます。また、「子どもの貧困」は「親の貧困」とも言われます。

この度、南北に長い本市の特性を踏まえた実態をいわゆる相対的貧困という概念のもと把握し、その概要をご報告いたしますが、あくまでそれは貧困状況の一側面であって、引き続き、地域の実態を把握し、その結果にもとづく、より効果的な手立てを検討することが大切であることは言を待ちません。

さらにこの調査結果が、教育と福祉などの関係行政機関、NPO等、地域の企業などで地域ネットワークにおいて、情報を共有しながら有効な支援を実施するための材料としなければなりません。

本報告が、本市の子どもの貧困対策を総合的に推進するにあたり、特定の指標のみに左右されることなく、より効果的な支援のあり方について検討するための材料となることを期待します。

このたび、本調査にあたり、ご協力いただいた多くの皆様に心からお礼申し上げます。

平成 29 年 12 月

川西市長 大塩 民生

1. 調査概要

(1) 調査の目的

本調査は、川西市内の小学校5年生及び中学校2年生の子どもたち全員とその保護者が、日頃どのような生活を営み、子どもの将来にどのような意識を持っているかを、経済的な事情をはじめとした実態を正確に把握することと併せて分析し、今後の子どもの貧困対策を具体化させるための参考資料とすることを目的としている。

(2) 調査対象者

本調査の対象者は、川西市立の小・中学校及び特別支援学校に通う児童・生徒2,699名およびその保護者、また、市外の公立・私立・国立の小・中学校に通う児童・生徒201名およびその保護者の計2,900世帯を対象としている。

(3) 調査の方法

本調査は、川西市立の小・中学校に通う児童・生徒およびその保護者に対しては、学校を通じて手渡しにより配布・回収を行い、市外の公立・私立・国立の小・中学校に通う児童・生徒およびその保護者に対しては、郵送により配布・回収を行った。

調査票は、児童・生徒用と保護者用の2種類の調査票を作成し、配布した。

なお、児童・生徒と保護者が互いの回答を読むことがないように、回答した児童・生徒用の調査票と保護者用の調査票は別々の返信用封筒に入れたうえで、それらを併せて一つの返信用封筒に入れて学校へ提出または返送する方法で調査を実施した。

(4) 調査期間

本調査の調査期間は以下の通りである。

- ・川西市立の小・中学校に通う児童・生徒およびその保護者
平成29年7月3日～平成29年7月10日（手渡し配布・手渡し回収）
- ・市外の公立、私立、国立の小・中学校に通う児童・生徒およびその保護者
平成29年7月3日～平成29年7月18日（郵送配布・郵送回収）

(5) 標本誤差

本調査は、全数調査ではなく、小学5年生と中学2年生のみを対象として実施した標本調査であるため、調査結果を見るとき考慮すべき統計上の誤差（標本誤差）が生じる。

本調査の標本誤差は、約±2.1%以内の差である。

標本誤差の算出式

$$2 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N = 母集団数

児童・生徒：17歳以下の者

※ 保護者：17歳以下の子どもをもつ保護者

n = 回答者数

p = 回答の比率（%）

標本誤差... 標本調査では、調査されなかった調査対象があるため、全数調査を行えば得られたはずの値と調査結果に差が生じる。その生じる差のこと。

本調査においては、保護者を対象とした調査（問 25）で税込みの世帯収入を 50 万円区分で尋ねている。そこで、国が国民生活基礎調査（厚生労働省）により算出した貧困線に対応する世帯収入を概算したうえで、相対的貧困となる区分を選定する。具体的には、本調査と同様の調査設計となっている内閣府「親と子の生活意識に関する調査」（平成 23 年）と同様の手法を採用した。

（2）本調査における相対的貧困世帯数の算出方法

まず、平成 28 年国民生活基礎調査における所得 5 分位階級ごとに、平均可処分所得に対する平均所得の比となる係数を算出する。

	1 世帯あたり 平均所得 (a)	平均可処分所得 (b)	所得五分位階級 ごとの係数 (a / b)
第（～200 万）	126.2 万円	114.1 万円	1.11
第（200 万～347 万）	271.9 万円	237.3 万円	1.15
第（347 万～529 万）	431.3 万円	358.3 万円	1.20
第（529 万～800 万）	654.9 万円	528.8 万円	1.24
第（800 万～）	1244.8 万円	952.7 万円	1.31

「1 世帯あたり平均所得」は税込みの収入、「平均可処分所得」は手取り収入（可処分所得）に該当する。

次に、平成 28 年国民生活基礎調査における貧困線（122 万円）に世帯人員の平方根を乗じて世帯人員別に相対的貧困線 を算出する。

世帯人員別の相対的貧困線に対応する上記の「所得五分位階級ごとの係数」を乗じることで、相対的貧困線の値に対応する世帯収入を概算し、この世帯収入を下回る世帯を本調査の相対的貧困世帯とする。

世帯人員	相対的 貧困線	係数	対応する 世帯収入	相対的貧困世帯 となる区分	相対的貧困 世帯数
2 人	173 万円	1.11	191 万円	200 万円未満	16 世帯
3 人	211 万円	1.15	242 万円	250 万円未満	59 世帯
4 人	244 万円	1.15	280 万円	300 万円未満	64 世帯
5 人	273 万円	1.15	313 万円	300 万円未満	42 世帯
6 人	299 万円	1.15	342 万円	350 万円未満	20 世帯
7 人	323 万円	1.15	370 万円	350 万円未満	2 世帯
8 人	345 万円	1.15	395 万円	400 万円未満	2 世帯

「相対的貧困線」は手取り収入（可処分所得）に基づく基準であり、「対応する世帯収入」は税込みの収入、「相対的貧困世帯となる区分」は本調査で尋ねた世帯全員の税込み収入。

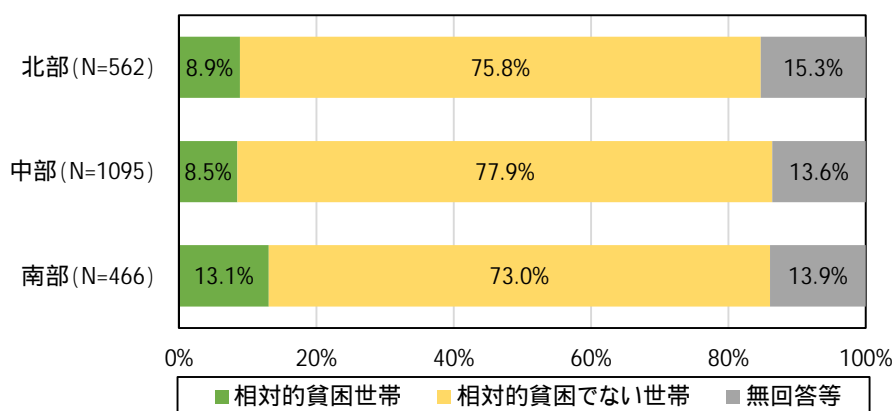
（3）川西市の相対的貧困率

本調査における川西市の子どもがいる世帯の相対的貧困世帯数および相対的貧困率は以下の通りである。

保護者の回収数	相対的貧困世帯数	相対的貧困率
2,202 世帯	205 世帯	9.3%

(4) 地域別の相対的貧困世帯の割合

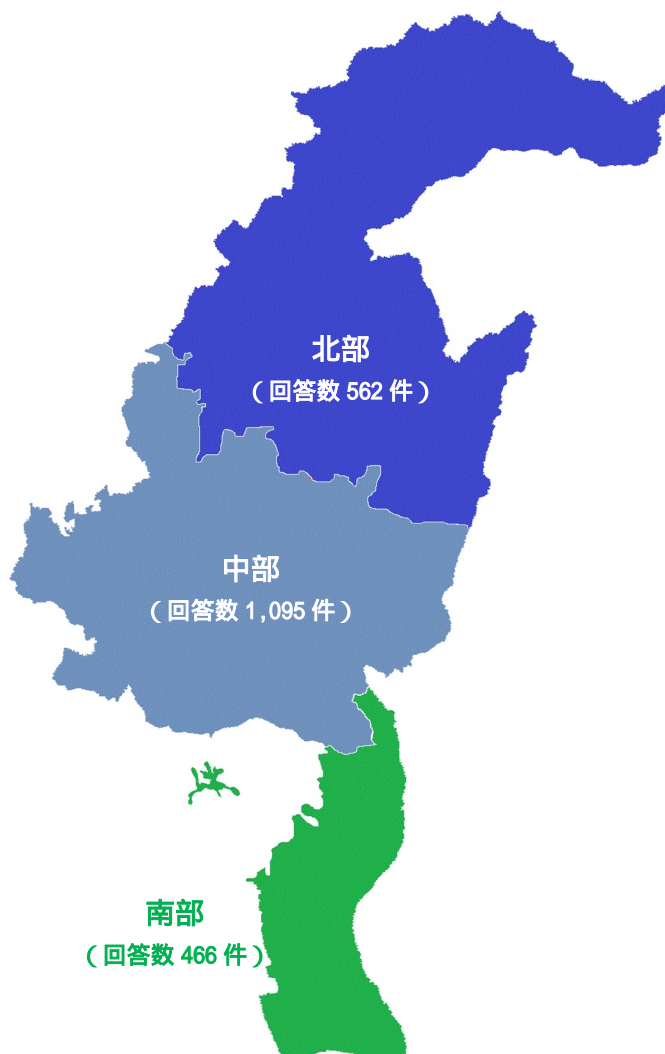
川西市を北部、中部、南部の3地域に区分し、地域別の相対的貧困世帯の割合をみると、北部が8.9%、中部が8.5%、南部が13.1%であった。



保護者対象調査の問11の回答が、「無回答」または「その他」等で居住地が判別できなかった79件を除く。

なお、3地域の区分は、第5次川西市総合計画の「基本構想」第2章都市デザイン及び「地域別構想」を参考に3つに分けたものであり、各地域に該当する学校区の学校は下記表の通りである。

北部	東谷小学校、牧の台小学校、北陵小学校、東谷中学校、川西養護学校
中部	明峰小学校、多田小学校、多田東小学校、緑台小学校、陽明小学校、清和台小学校、清和台南小学校、けやき坂小学校、明峰中学校、多田中学校、緑台中学校、清和台中学校
南部	久代小学校、加茂小学校、川西小学校、桜が丘小学校、川西北小学校、川西南中学校、川西中学校



3. 調査結果

(1) 配布数・回収数

本調査の配布数・回収数は以下の通りである。

		川西市立の小・中学校 に通う児童・生徒 およびその保護者	市外の公立、私立、 国立の小・中学校に 通う児童・生徒 およびその保護者	合計
配布数		2,699 票	201 票	2,900 票
児童・生徒	回収数 (回収率)	2,110 票 (78.2%)	81 票 (40.3%)	2,191 票 (75.6%)
保護者	回収数 (回収率)	2,119 票 (78.5%)	83 票 (41.3%)	2,202 票 (75.9%)
親子ペア	回収数 (回収率)	1,993 票 (73.8%)	81 票 (40.3%)	2,074 票 (71.5%)

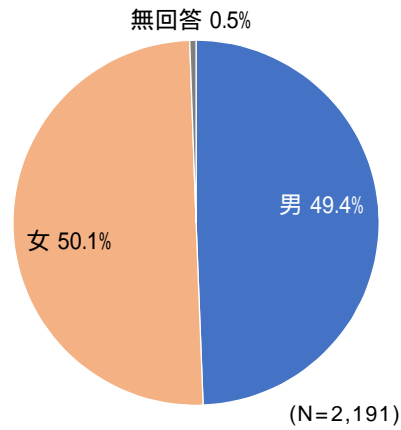
(2) 回答者の属性

a) 児童・生徒

【児童・生徒 - 問 1】

あなたの性別を選んでください。

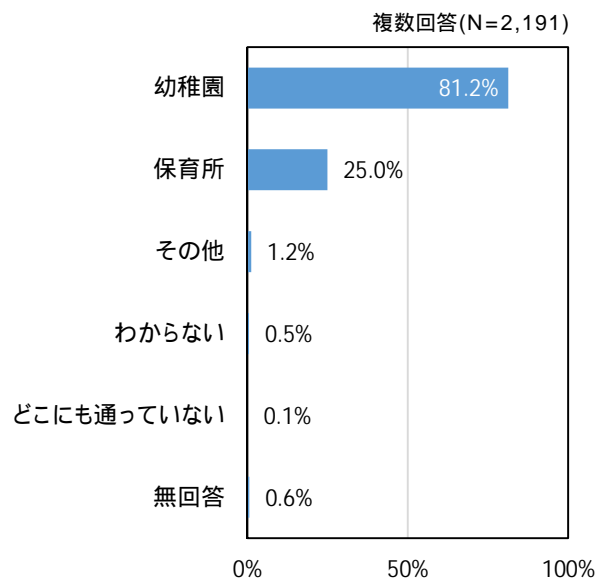
「男」が 49.4%、「女」が 50.1%であった。



【児童・生徒 - 問 4】

あなたは、小学校に入学する前、幼稚園や保育所などに通っていましたか。

「幼稚園」が最も多く 81.2%、次いで「保育所」が 25.0%であった。

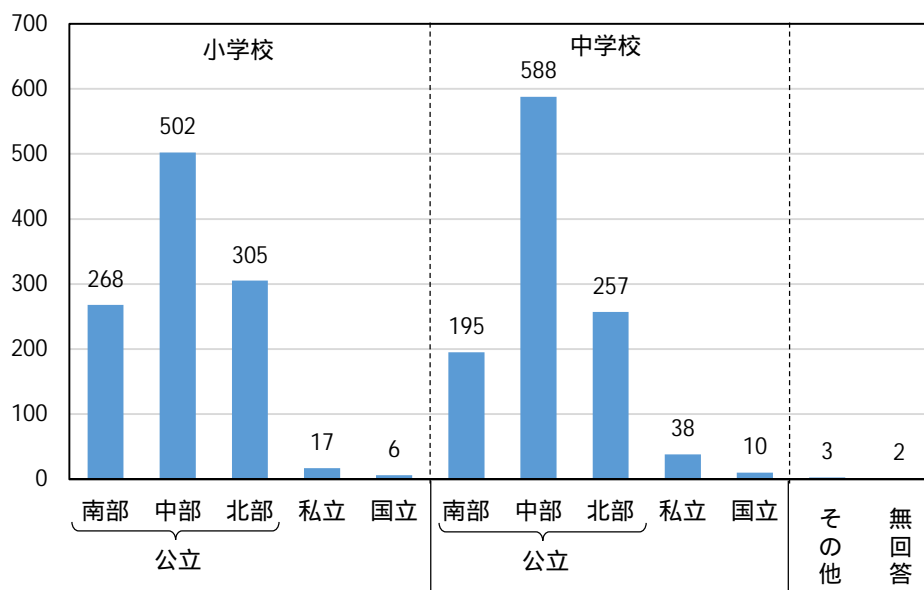
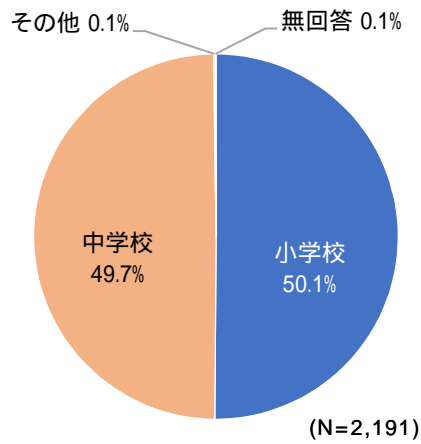


【児童・生徒 - 問3】

現在、あなたは、どこの学校に通っていますか。

小学校が 50.1%、中学校が 49.7%であった。

地域別で見ると、小学校、中学校ともに中部地域が最も多く、次いで北部地域が多い。

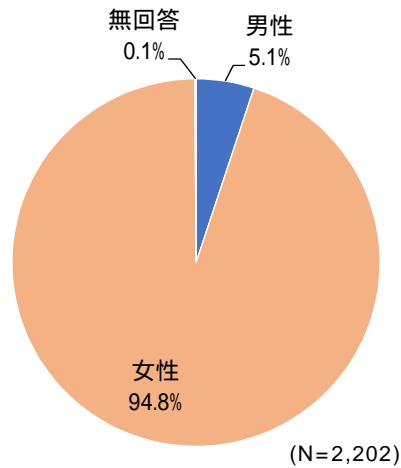


b) 保護者

【保護者 - 問 1】

あなたの性別をお答えください。

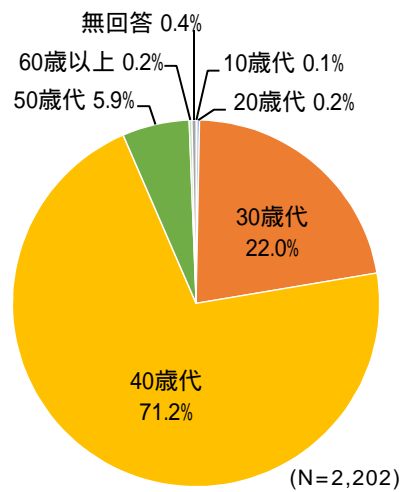
「男性」が 5.1%、「女性」が 94.8%であった。



【保護者 - 問 2】

現在のあなたの年齢をお答えください。

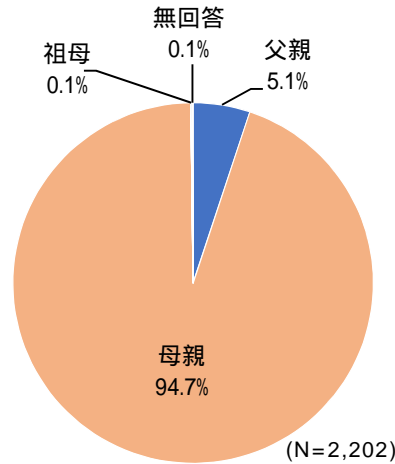
「40歳代」が最も多く 71.2%、次いで「30歳代」が 22.0%であった。



【保護者 - 問 3】

調査対象である「小学5年生」または「中学2年生」のお子さんからみたあなたの続柄をお答えください。

「母親」が最も多く 94.7%、次いで「父親」が 5.1%であった。

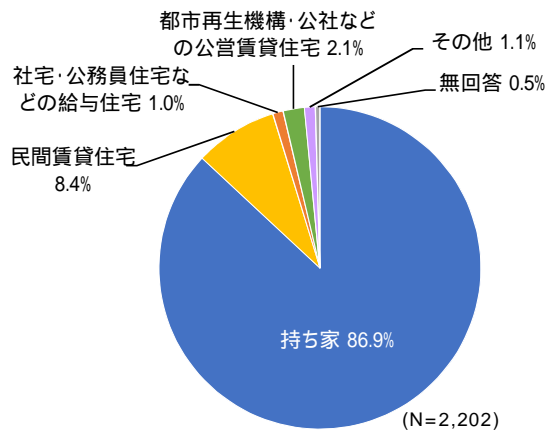


【保護者 - 問 4】

現在お住まいの住居の種類と建て方の種類についてお答えください

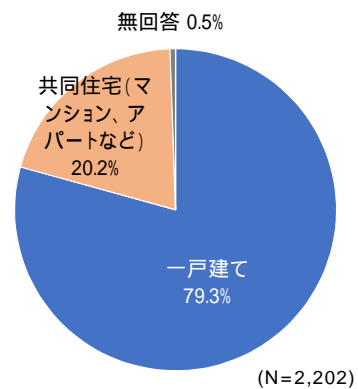
住居の種類

「持ち家」が最も多く 86.9%、次いで「民間賃貸住宅」が 8.4%であった。



建て方

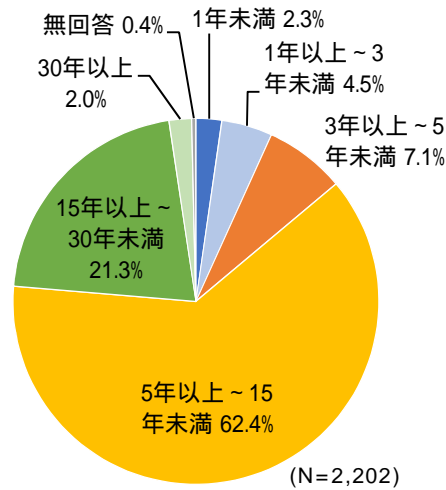
「一戸建て」が最も多く 79.3%、次いで「共同住宅」が 20.2%であった。



【保護者 - 問 5】

あなたは現在の場所に住まれて何年になりますか。

「5年以上～15年未満」が最も多く62.4%、次いで「15年以上～30年未満」が21.3%であった。

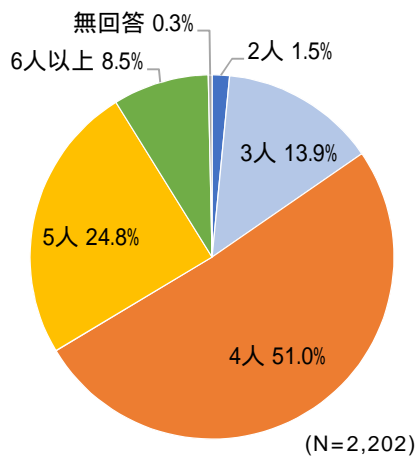


【保護者 - 問 7】

お子さんの家族は、あなたを含めて何人ですか。

単身赴任・入院・入所の方など、家計を一緒にしたり、定期的に帰宅する家族を含む

世帯の人数は、「4人」が最も多く51.0%、次いで「5人」が24.8%であった。



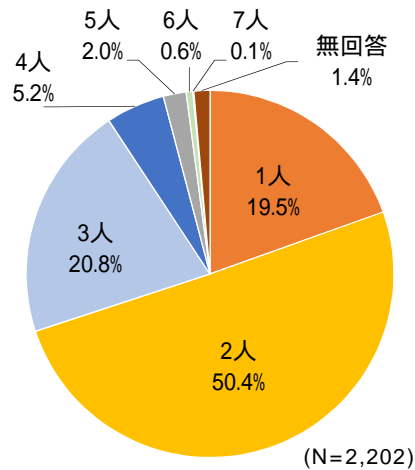
【保護者 - 問 8】

平成 29 年 4 月 1 日時点での、お子さんと、お子さんのきょうだい（兄・姉・弟・妹）の人数を、年齢別でお答えください。

調査対象である「小学 5 年生」または「中学 2 年生」のお子さんを含む

1 世帯あたりの子どもの人数

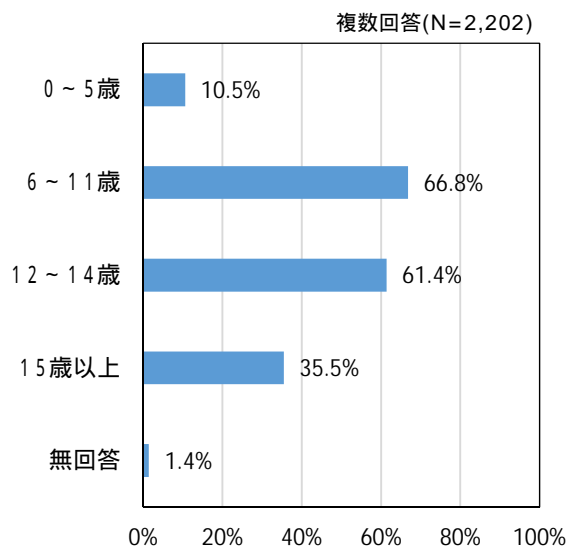
子どもの人数は、1 世帯あたり「2 人」が最も多く 50.4%、次いで「3 人」が 20.8%、「1 人」が 19.5%であった。



子どもの年齢

調査対象者が小学 5 年生または中学 2 年生のお子さんがある保護者であったこともあり、「6～11 歳」のお子さんがある世帯が 66.8%、「12～14 歳」のお子さんがある世帯が 61.4%と多かった。

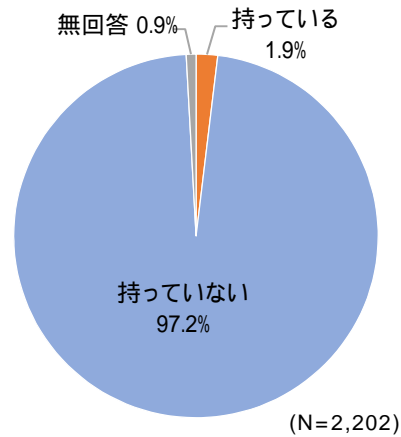
また、「0～5 歳」のお子さんがある世帯は 10.5%、「15 歳以上」のお子さんがある世帯は 35.5%であった。



【保護者 - 問 24】

お子さんは、療育手帳や身体障害者手帳、精神障害者手帳をお持ちですか。

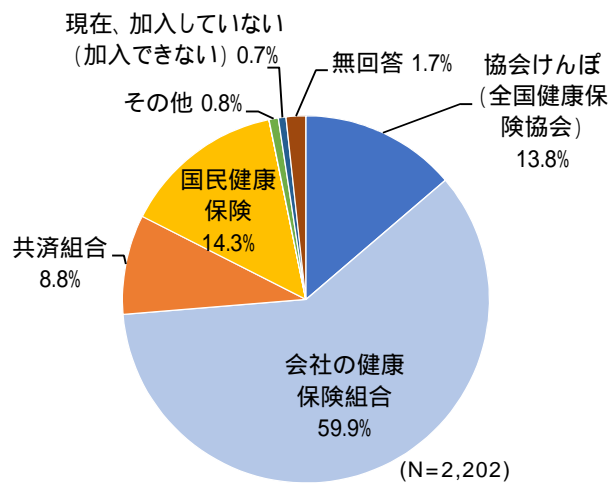
「持っている」が 1.9%、「持っていない」が 97.2%であった。



【保護者 - 問 6】

現在、あなたが加入されている医療保険をお答えください。

「会社の健康保険組合」が最も多く 59.9%、次いで「国民健康保険」が 14.3%であった。

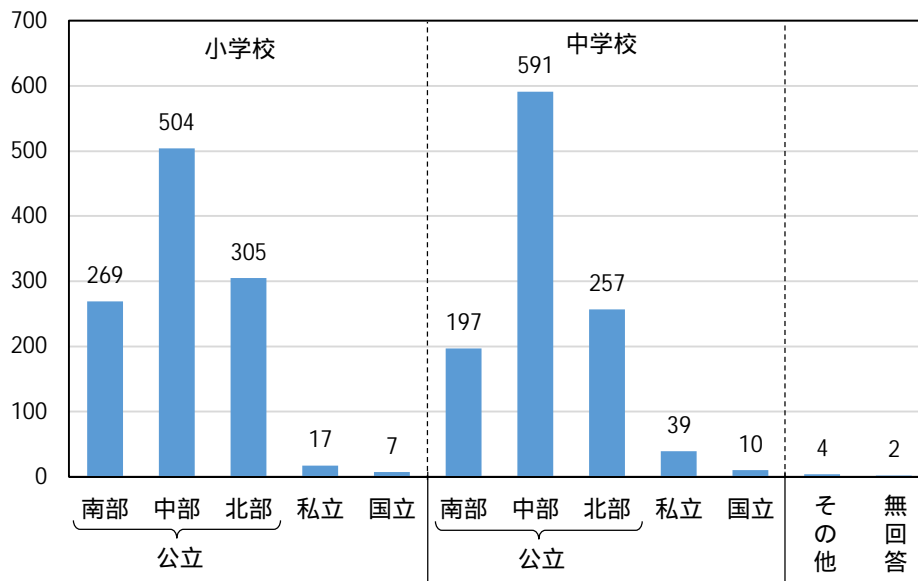
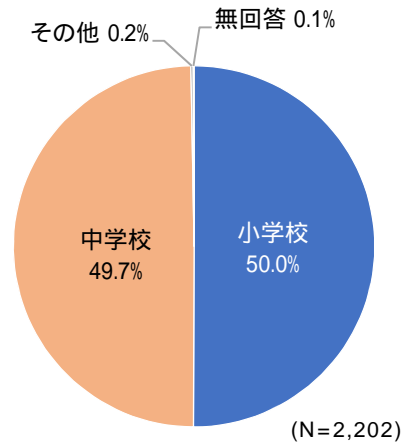


【保護者 - 問 11】

現在、あなたのお子さんは、どこの学校に通っていますか。

小学校が 50.0%、中学校が 49.7%であった。

地域別で見ると、小学校、中学校ともに中部地域が最も高く、次いで北部地域が多い。

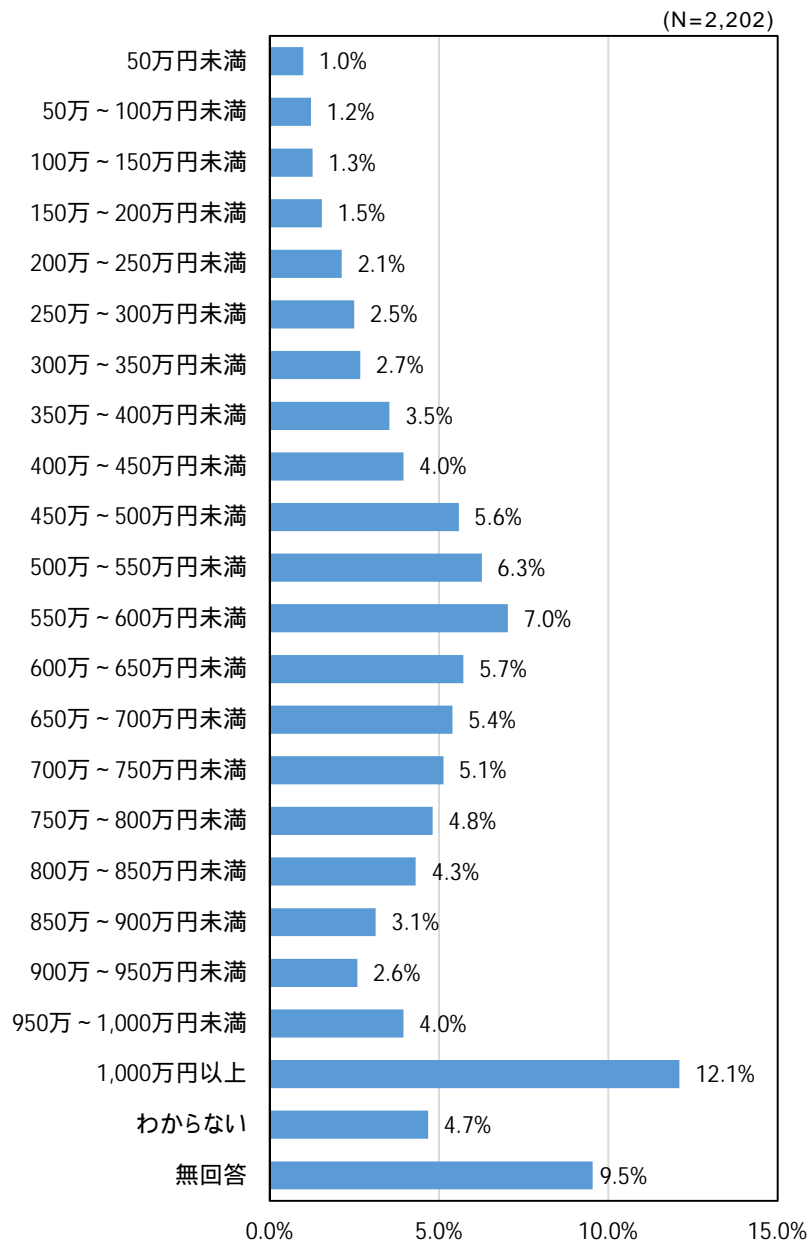


(3) 経済状況

【保護者 - 問 25】

平成 28 年（2016 年）の家族全員の収入の合計額は、税込みでおよそいくらでしたか。
月給や賞与などの働いて得た収入だけでなく、株式配当や副収入も含めた合計額。
児童手当や就学奨励、生活保護などの公的な手当や援助は除く。

回答があったものでは、「1,000 万円以上」が最も多く 12.1%、次いで「550 万～600 万円未満」が 7.0%であった。



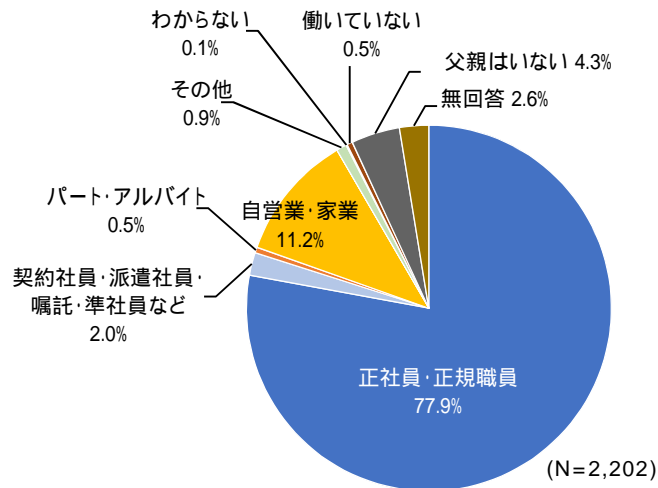
【保護者 - 問 10】

お子さんの父親・母親の現在の職業についてお答えください。

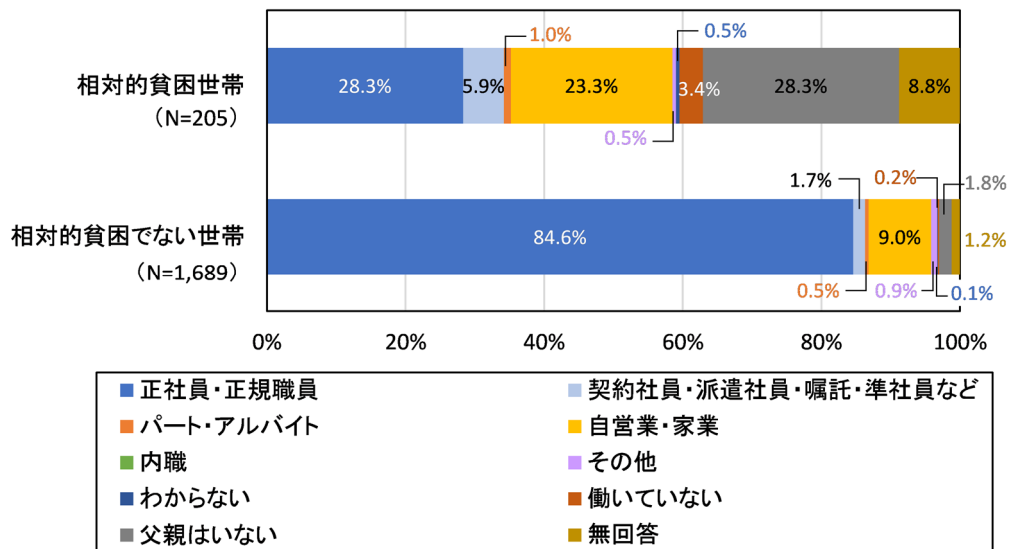
父親

「正社員・正規職員」が最も多く 77.9%、次いで「自営業・家業」が 11.2%であった。

相対的貧困世帯は、「正社員・正規職員」の割合が 28.3%であり、相対的貧困でない世帯の 84.6%よりも大幅に低くなっている。

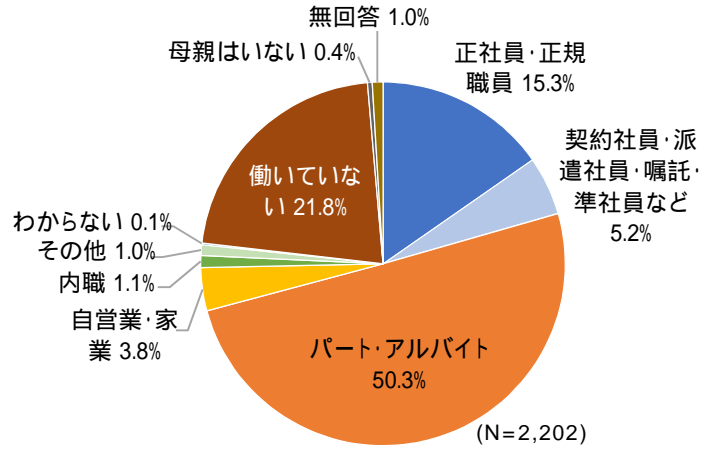


相対的貧困世帯とそうでない世帯のクロス集計

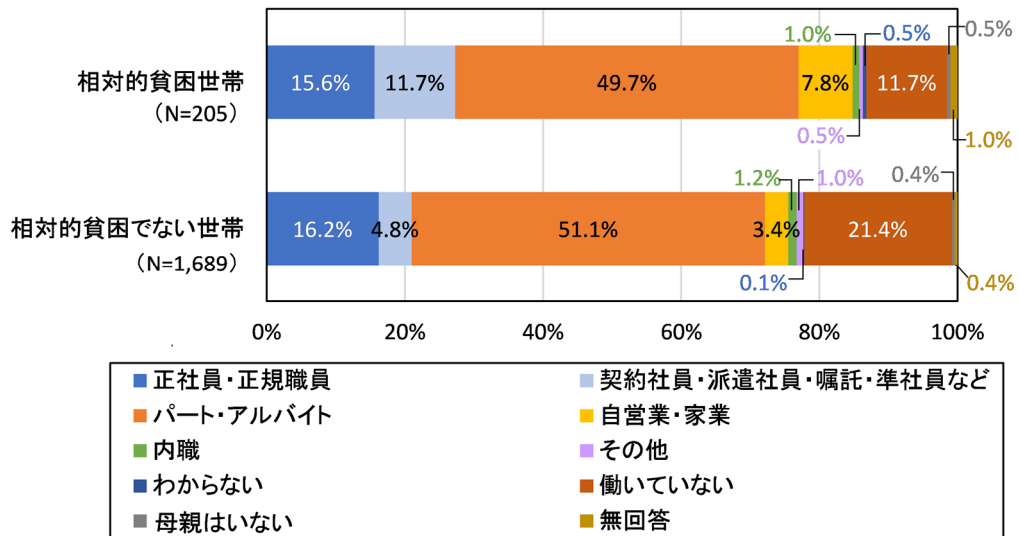


母親

「パート・アルバイト」が最も多く 50.3%、次いで「働いていない」が 21.8%であった。
 相対的貧困世帯もそうでない世帯も「パート・アルバイト」の割合が最も多かった。



相対的貧困世帯とそうでない世帯のクロス集計

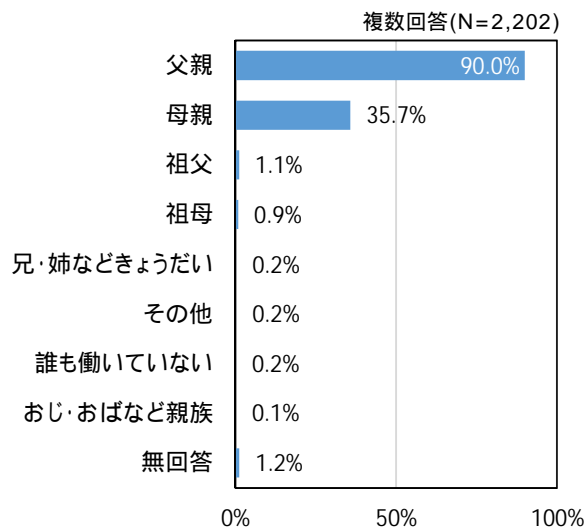


【保護者 - 問 26】

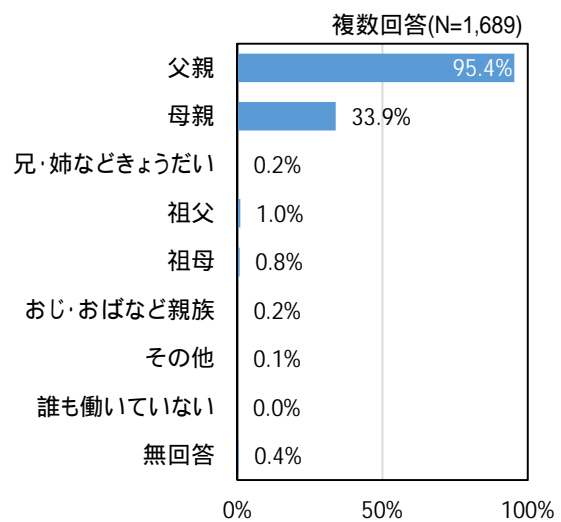
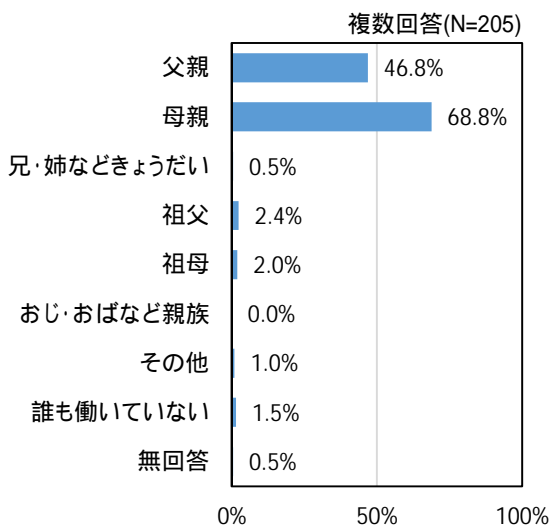
ご家族の生活費用の稼ぎ手となっているのは誰ですか。お子さんからみた続柄でお答えください。

「父親」が最も多く 90.0%、次いで「母親」が 35.7%であった。

相対的貧困世帯は、「母親」の割合が最も多く 68.8%であり、相対的貧困でない世帯の 33.9%よりも大幅に高くなっている。



相対的貧困世帯とそうでない世帯のクロス集計



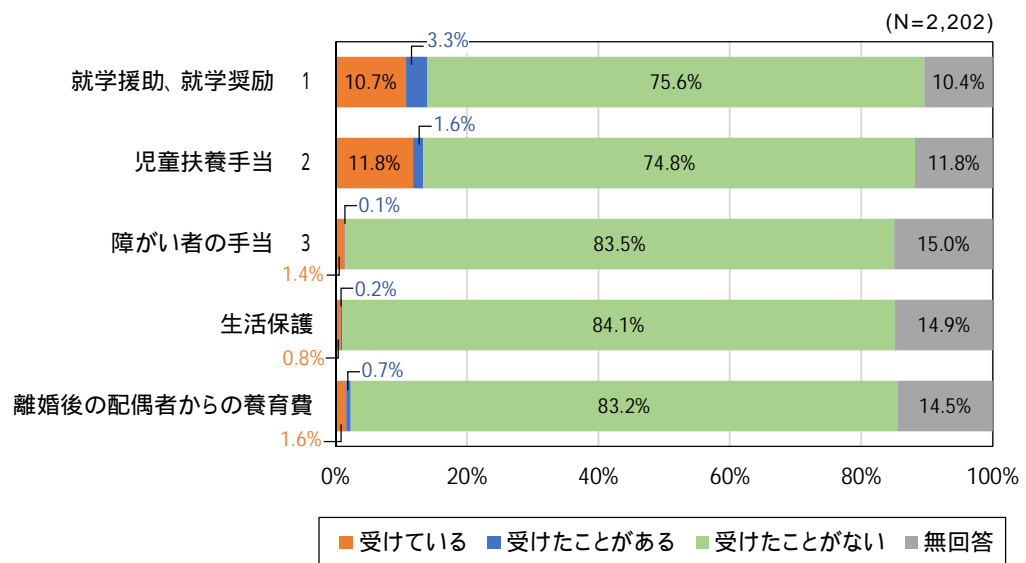
相対的貧困世帯

相対的貧困でない世帯

【保護者 - 問 27】

過去 1 年間に、次の手当や援助などを受けたことがありますか。

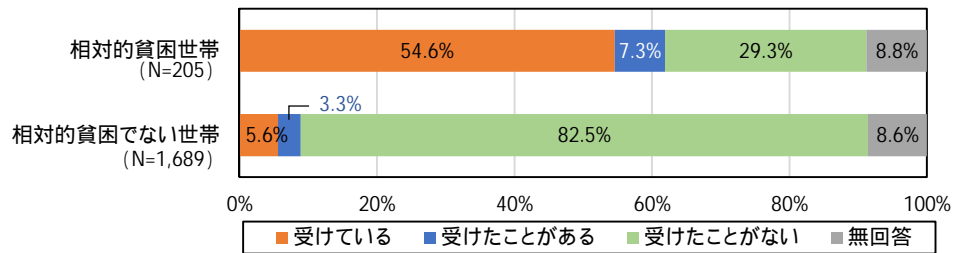
「受けている」と「受けたことがある」を合わせた『手当や援助を受けたことがある』の割合は、[就学援助、就学奨励] が最も多く 14.0%、次いで [児童扶養手当] が 13.4%であった。
 なお、相対的貧困世帯の [就学援助、就学奨励] の割合は 61.9%、[児童扶養手当] の割合は 52.6%であった。



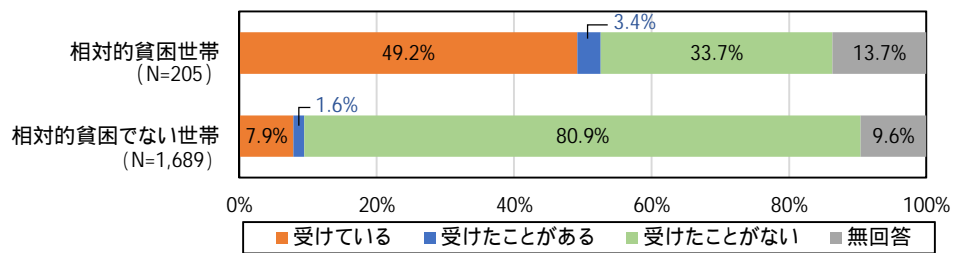
- 1 経済的な理由により学校給食費や学用品費などの支払いが困難な保護者に対し、申請にもとづいて費用の一部を援助する制度です。
- 2 ひとり親世帯など（父または母が重度障がい者の場合を含む）で、18歳（中度以上の障がいのある児童は20歳）に達する日以降の最初の3月31日までの児童を養育している方に支給される手当です。
- 3 障がいを理由とした手当には、特別児童扶養手当、特別障害者手当、障害児福祉手当などがあります。医療費の助成は除きます。

相対的貧困世帯とそうでない世帯のクロス集計

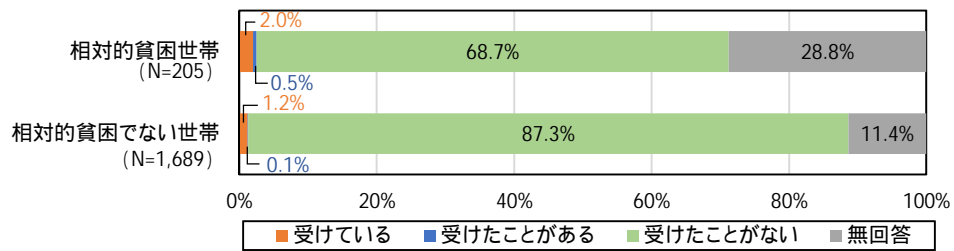
就学援助、就学奨励



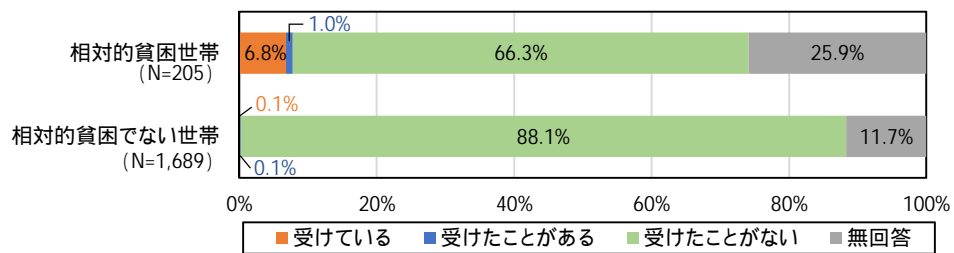
児童扶養手当



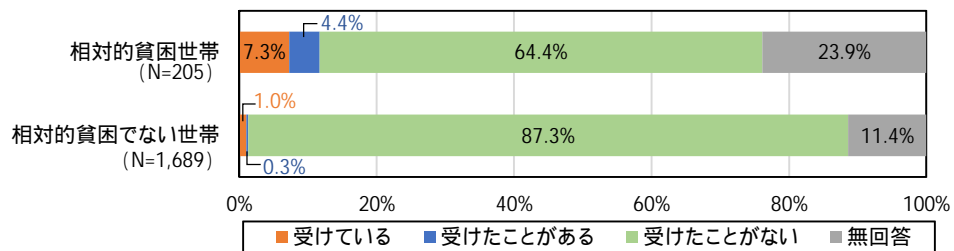
障がい者の手当



生活保護



離婚後の配偶者からの養育費

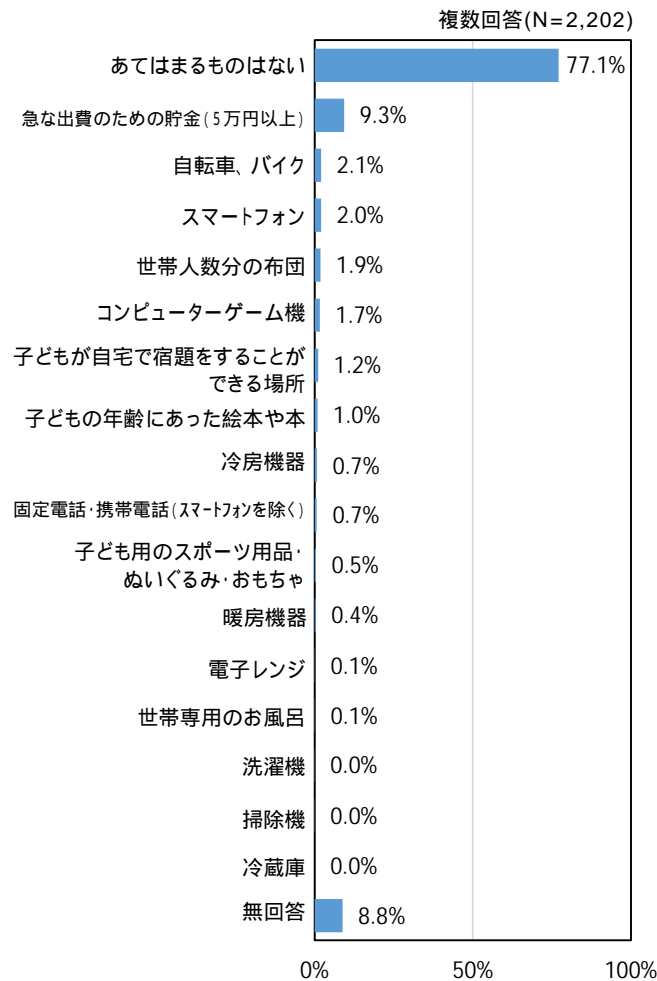


【保護者 - 問 28】

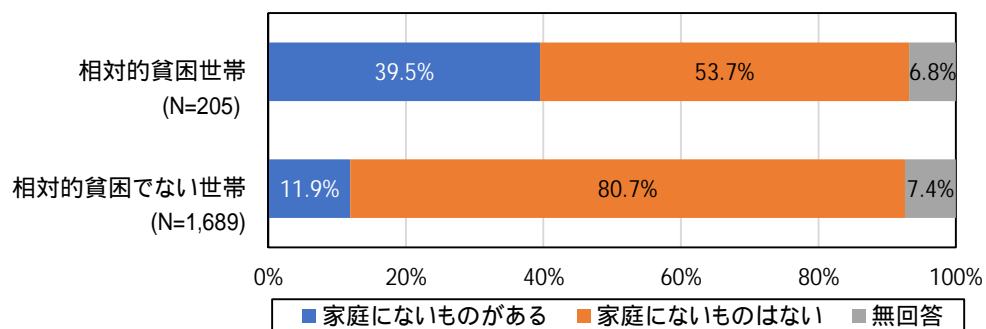
次のうち、経済的理由（お金がなくて買えない、家が狭くて置けないなど）のために、あなたの家庭にないものはありますか。

「あてはまるものはない」が最も多く 77.1%、次いで「急な出費のための貯金（5万円以上）」が 9.3%であった。

「あてはまるものはない」以外を1つ以上選択した『家庭にないものがある』世帯の割合は、相対的貧困世帯が 39.5%であり、そうでない世帯の 11.9%よりも大幅に高くなっている。



相対的貧困世帯とそうでない世帯のクロス集計

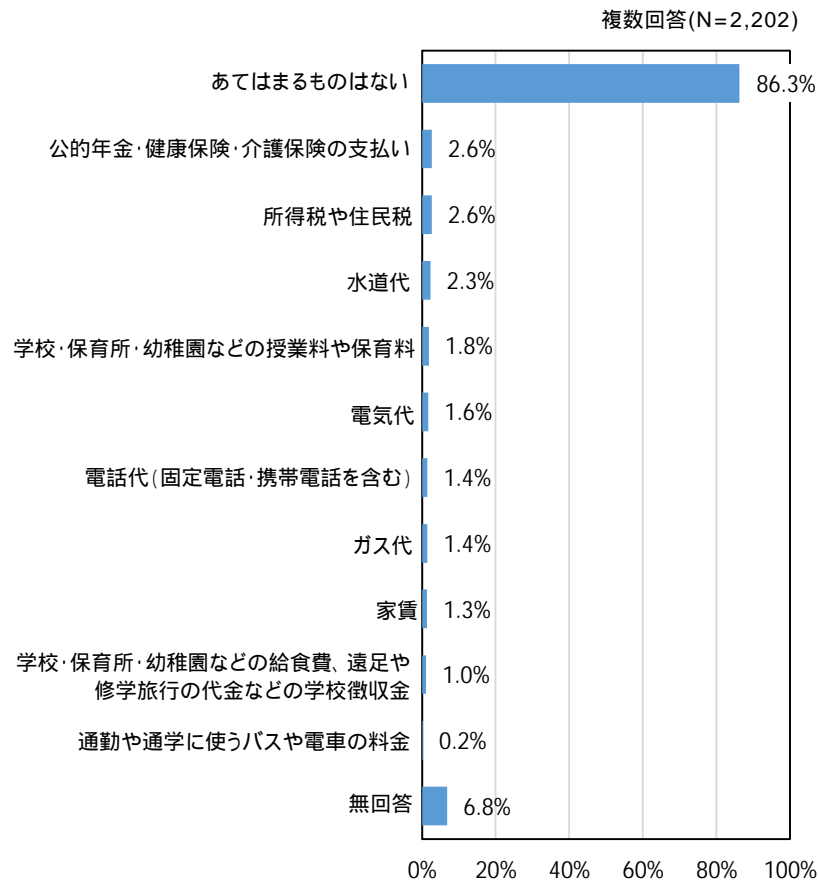


【保護者 - 問 29】

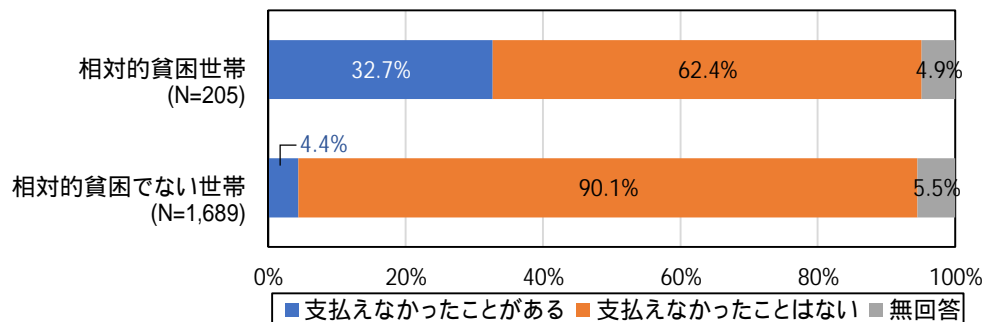
次のうち、過去 1 年間に、経済的理由のために、支払いができませんでしたか。

「あてはまるものはない」が最も多く 86.3%、次いで「公的年金・健康保険・介護保険の支払い」と「所得税や住民税」が同率で 2.6%であった。

「あてはまるものはない」以外を 1 つ以上選択した『支払えなかったことがある』世帯の割合は、相対的貧困世帯が 32.7%であり、そうでない世帯の 4.4%よりも大幅に高くなっている。



相対的貧困世帯とそうでない世帯のクロス集計



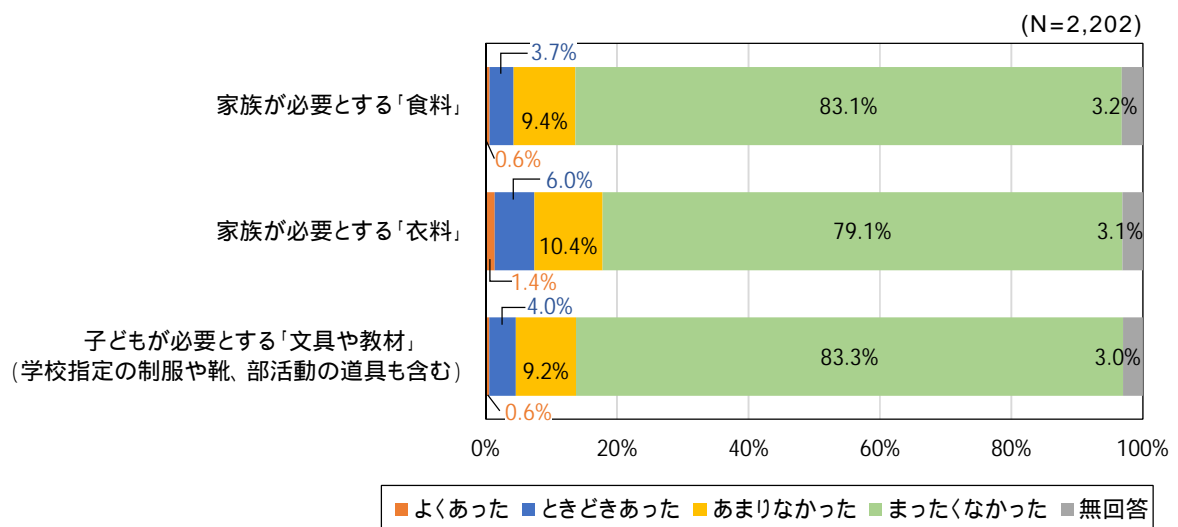
【保護者 - 問 30】

過去 1 年間に、経済的理由のために、家族が必要とする「食料」、
「衣料」、子どもが必要とする「文具や教材」が買えないことがありましたか。

嗜好品は含まない

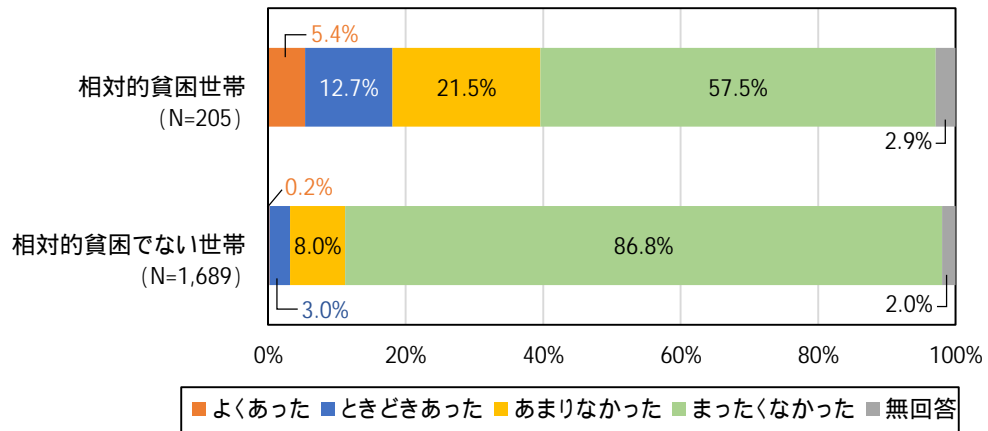
家族が必要とする物を購入できなかったもの(「まったくなかった」以外)で最も多かったのは、
[家族が必要とする「衣料」]で 17.8%、次いで[子どもが必要とする「文具や教材」]が
13.8%、[家族が必要とする「食料」]が 13.7%であった。

なお、相対的貧困世帯では、[家族が必要とする「衣料」]が 51.2%、[子どもが必要とす
る「文具や教材」]が 44.4%、[家族が必要とする「食料」]が 39.6%であった。

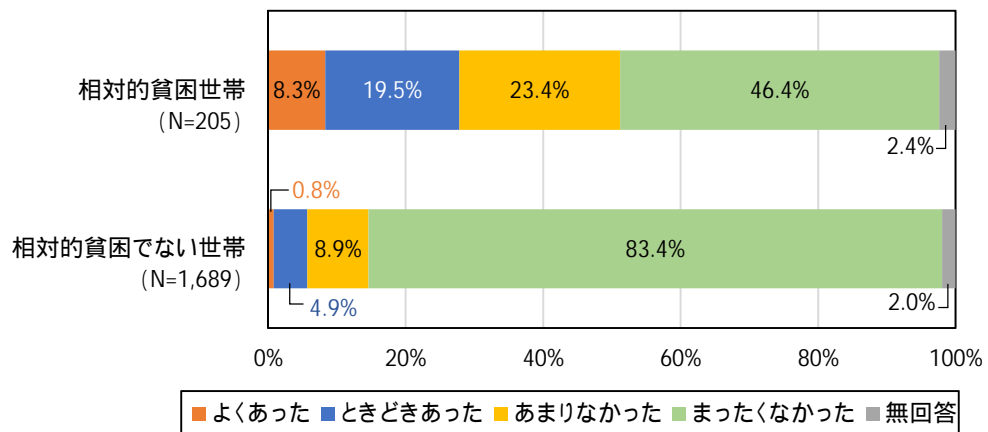


相対的貧困世帯とそうでない世帯のクロス集計

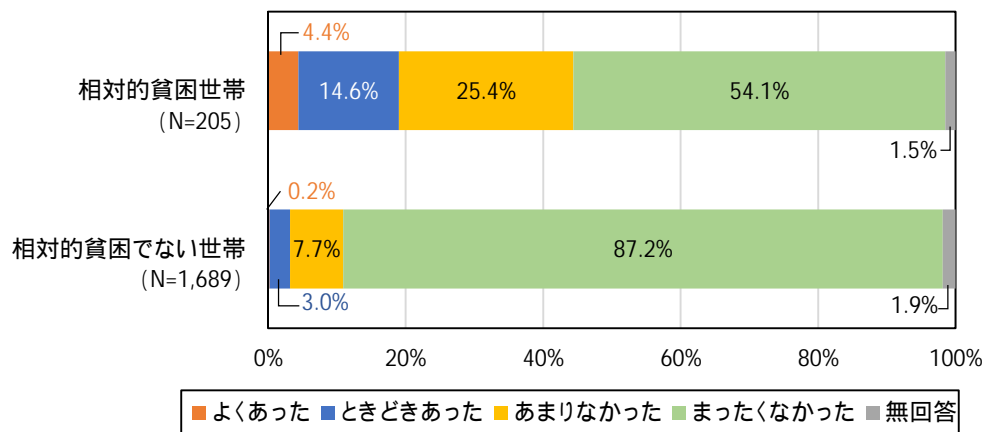
家族が必要とする「食料」



家族が必要とする「衣料」



子どもが必要とする「文具や教材」

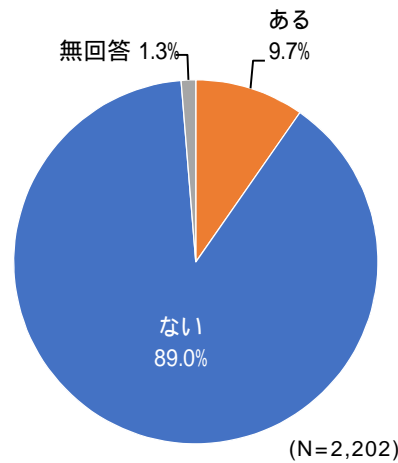


【保護者 - 問 31】

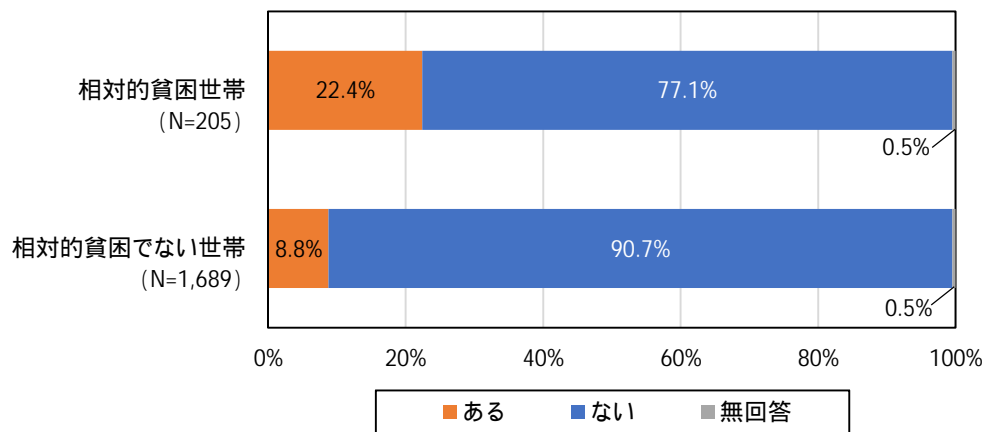
過去1年間に、子どもについて、病気や怪我の治療のために病院や診療所を受診したほうがよいと思ったのに、実際には受診しなかったことがありましたか。

受診しなかったことが「ある」が9.7%、「ない」が89.0%であった。

相対的貧困世帯では、受診しなかったことが「ある」が22.4%であり、相対的貧困でない世帯の8.8%よりも高くなっている。



相対的貧困世帯とそうでない世帯のクロス集計



(3) 経済状況に関する考察

【保護者の職業・生活費の稼ぎ手】

- ・父親の職業は「正社員・正規職員」が最も多く、母親の職業は「パート・アルバイト」が最も多い。
- ・相対的貧困世帯の父親の職業は、そうでない世帯と比べると「正社員・正規職員」の割合が低く、「契約社員・派遣社員・嘱託・準社員など」や「働いていない」等の割合が高くなっている。一方で、母親の職業は、相対的貧困世帯とそうでない世帯を比べても大きな差は見られない。
- ・また、相対的貧困世帯では「父親はいない」の割合が大幅に高くなっている。
- ・生活費用の稼ぎ手は、相対的貧困世帯とそうでない世帯を比べると、相対的貧困世帯の方が「母親」の割合が高くなっている。



相対的貧困世帯とそうでない世帯を比較した結果、父親の有無や、その職業が世帯の経済状況に大きく左右していることが改めて確認できた。父親の収入をあてにできない場合、母親の就労に頼らざるを得ないが、いわゆる非正規雇用のため、総じて収入も低く安定していないので、相対的貧困世帯となる確率が高まると考えられ、貧困の背景に男女の就業状況の格差があることがうかがえる。

今回の調査においても母子家庭の就業状況については、母親の職業の約半数を占める「パート・アルバイト」の状態が、自分の生活スタイルに合わせて働きやすい反面、正社員に比べて収入が低いことから複数のパート・アルバイトを掛け持ちしながら生活を維持している実態もうかがえた。これにより、子どもとゆとりをもって接する時間が少なくなってしまう傾向にあると考えられる。

【経済的理由による支払・購入困難の経験】

- ・ 税や公共料金等の支払いができなかった経験については、相対的貧困世帯では半数以上の世帯で経験している。また、相対的貧困でない世帯についても、約 1 割の世帯が経験している。
- ・ 食料や衣料、文具や教材が購入できなかったことや、子どもが病院を受診できなかったことは、ほとんどの世帯でないが、相対的貧困世帯では一部世帯で経験している。



調査結果より、相対的貧困世帯の状況として、税や公共料金等の支払困難の経験や、食料・衣料・文具や教材の購入困難の経験等、本市においても社会生活を営むうえで相当程度困難な状況が存在していることがわかる。

また、収入面では相対的貧困の水準を上回る世帯においても、相対的貧困世帯と同様またはそれに近い生活困難の状況があることがうかがえ、生活困難の状況を早期に把握することで、子どもへの影響を最小限にすることが可能であると考えられる。

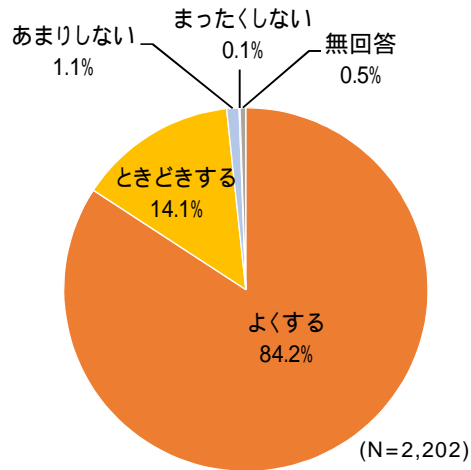
(4) 生活環境

a) 親子の関わり

【保護者 - 問 19】

あなたは、お子さんと会話をしますか。

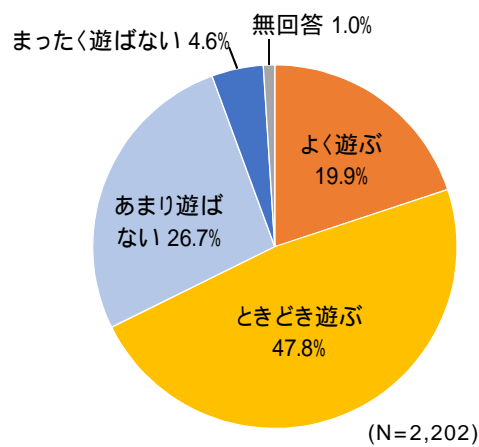
会話を「よくする」と「ときどきする」を合わせた『する』が98.3%であった。



【保護者 - 問 20】

あなたは、休日にお子さんと遊びますか。

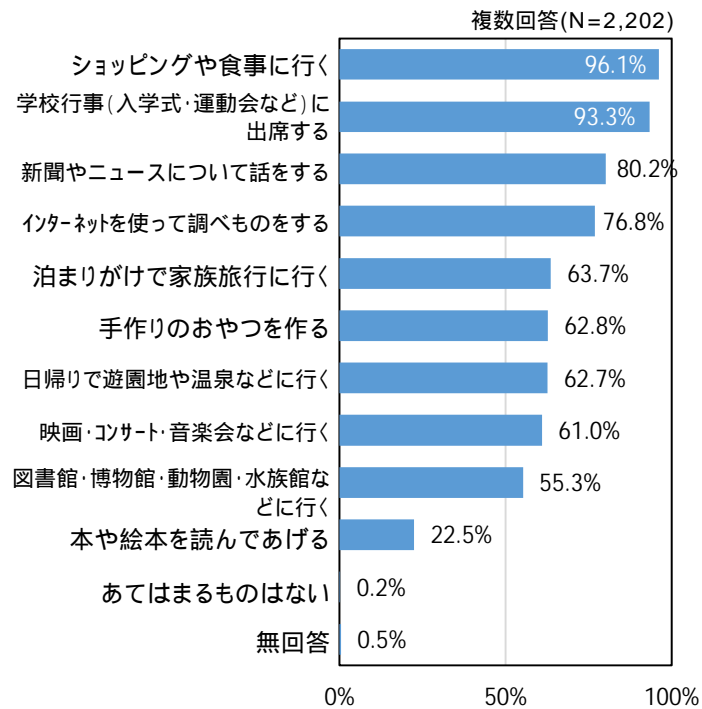
「よく遊ぶ」と「ときどき遊ぶ」を合わせた『遊ぶ』が67.7%であった。



【保護者 - 問 32】

過去 1 年間に、あなたは、お子さんと次のようなことをすることがありましたか。

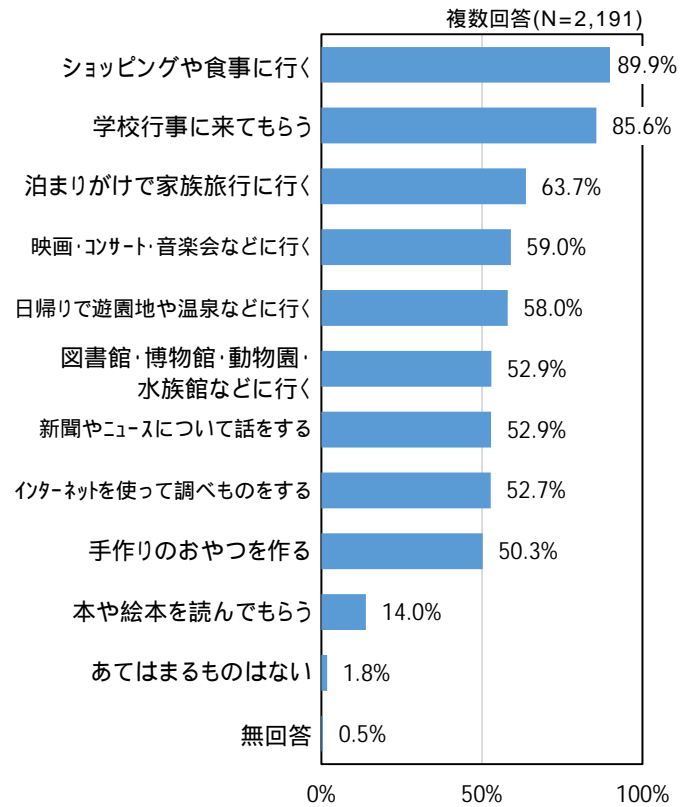
「ショッピングや食事に行く」が最も多く 96.1%、次いで「学校行事（入学式・運動会など）に出席する」が 93.3%であった。



【児童・生徒 - 問 27】

過去 1 年間に、あなたは、家族と次のようなことをすることがありましたか。

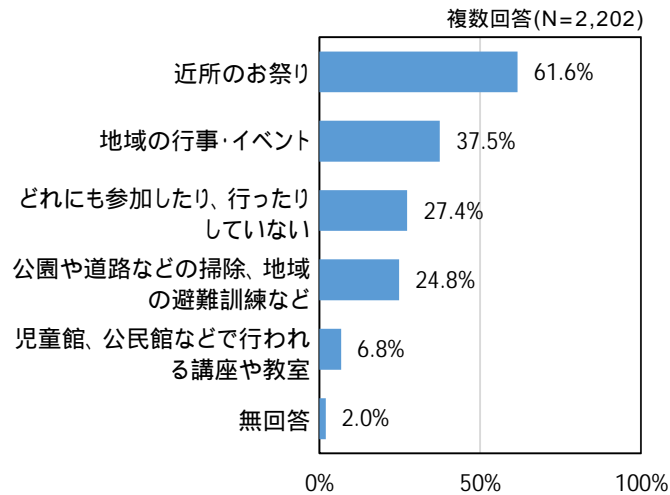
「ショッピングや食事に行く」が最も多く 89.9%、次いで「学校行事に来てもらう」が 85.6%であった。



【保護者 - 問 33】

過去 1 年間に、あなたは、お子さんと次のような地域の活動に参加することがありましたか。

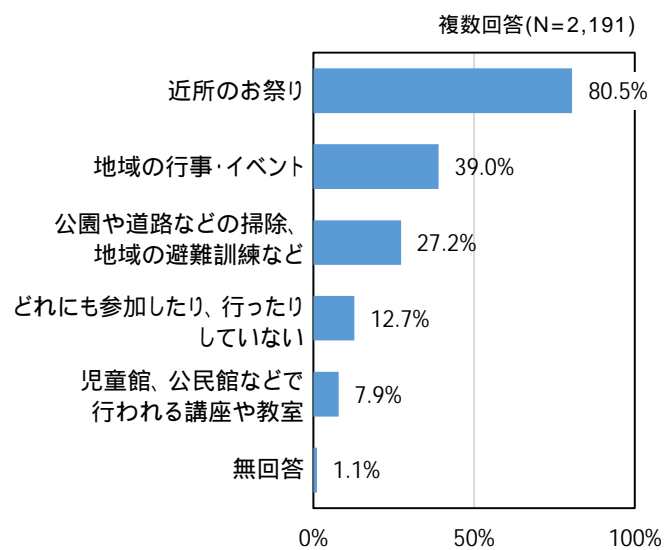
「近所のお祭り」が最も多く 61.6%、次いで「地域の行事・イベント」が 37.5%であった。一方、「どれにも参加したり、行ったりしていない」は 27.4%であった。



【児童・生徒 - 問 28】

過去 1 年間に、あなたは、あなたの住んでいる地域で、次のような活動に参加することがありましたか。

「近所のお祭り」が最も多く 80.5%、次いで「地域の行事・イベント」が 39.0%であった。一方、「どれにも参加したり、行ったりしていない」は 12.7%であった。



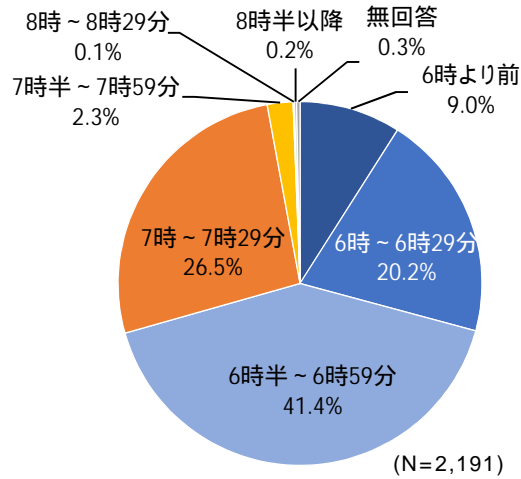
地域の行事・イベント...子ども会、地域の運動会やクリスマス会など

b) 子どもの生活習慣

【児童・生徒 - 問5】

あなたは、ふだん（月曜日～金曜日） だいたい何時ごろに起きますか。

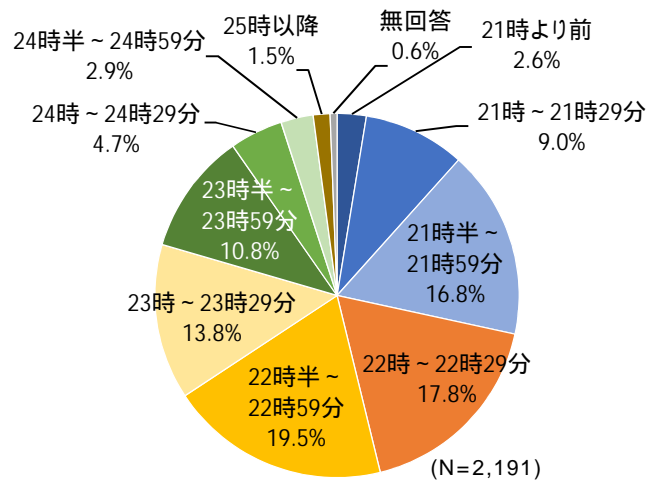
「6時半～6時59分」が最も多く41.4%、次いで「7時～7時29分」が26.5%であった。



【児童・生徒 - 問6】

あなたは、ふだん（月曜日～金曜日） だいたい何時ごろに寝ますか。

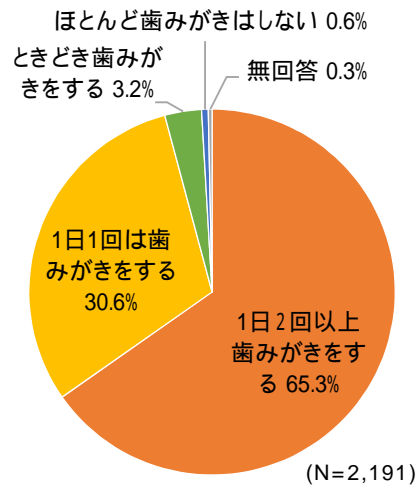
「22時半～22時59分」が最も多く19.5%、次いで「22時～22時29分」が17.8%であった。



【児童・生徒 - 問 7】

あなたは、歯みがきをどのくらいしますか。

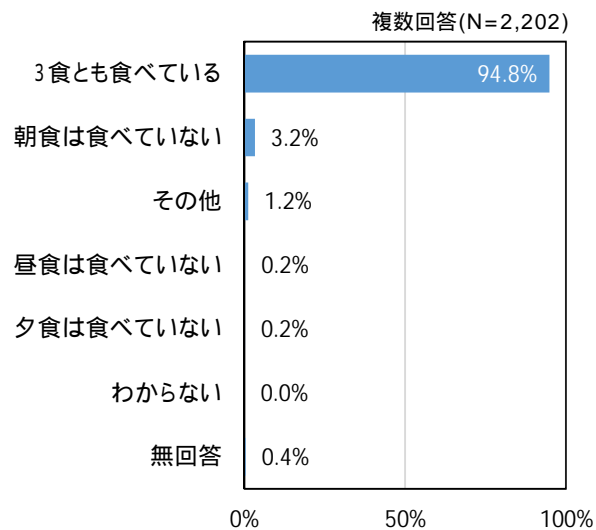
「1日2回以上歯みがきをする」が最も多く65.3%、次いで「1日1回は歯みがきをする」が30.6%であった。



【保護者 - 問 21】

お子さんは、ふだんから朝・昼・夕の3食を食べていますか。

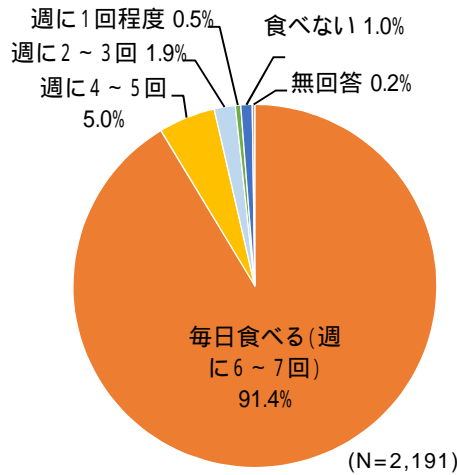
「3食とも食べている」が最も多く94.8%、次いで「朝食は食べていない」が3.2%であった。



【児童・生徒 - 問9】

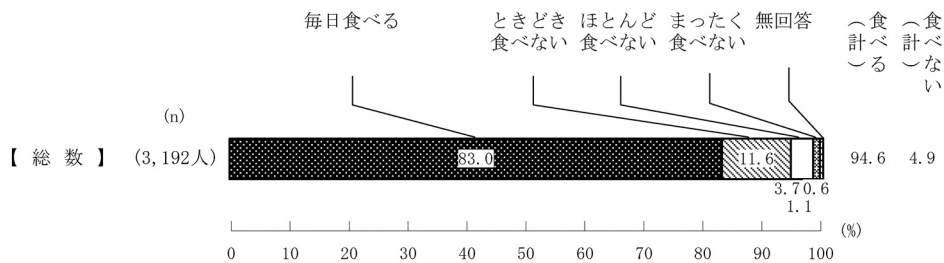
あなたは、朝ごはんを毎日食べていますか。

「毎日食べる（週に6～7回）」が最も多く91.4%、次いで「週に4～5回」が5.0%であった。国の調査と比較すると、川西市の方が「毎日食べる（週に6～7回）」の割合が高くなっている。また、大きな差は見られなかったが、相対的貧困世帯の方がそうでない世帯に比べて「毎日食べる（週に6～7回）」の割合がやや低くなっている。



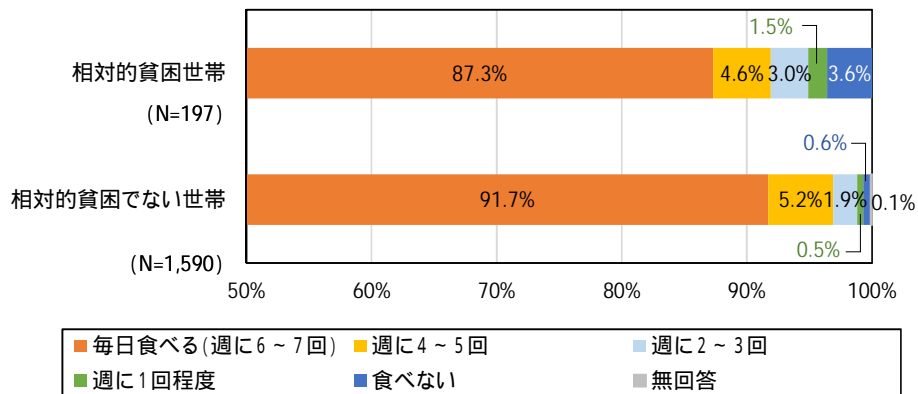
親と子の生活意識に関する調査 との比較

問.あなたは朝ごはんをいつも食べていますか。



親と子の生活意識に関する調査...中学3年生とその保護者を対象として、平成23年に内閣府が実施した調査。

相対的貧困世帯とそうでない世帯のクロス集計

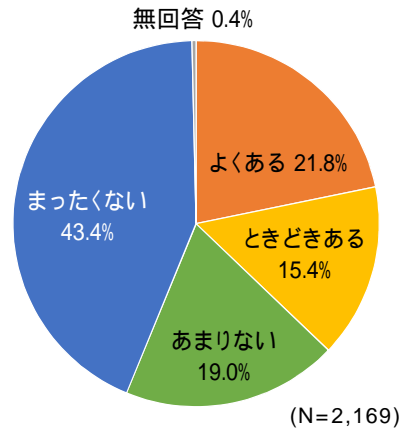


【児童・生徒 - 問 10】

(問 9 で選択肢 1~4 のいずれかを選択した者のみ回答)

あなたは、朝ごはんをひとりで食べることがありますか。

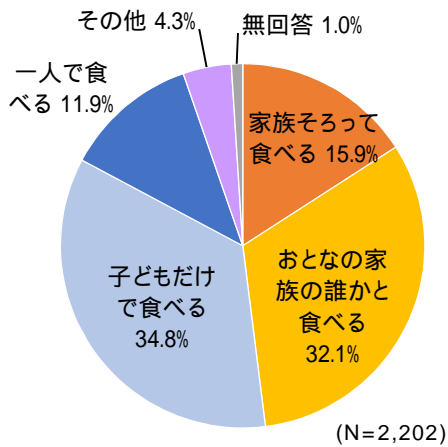
「まったくない」が最も多く 43.4%、次いで「よくある」が 21.8%であった。



【保護者 - 問 22】

お子さんは、いつも朝食をどのように食べていますか。

「子どもだけで食べる」が最も多く 34.8%、次いで「おとなの家族の誰かと食べる」が 32.1%であった。

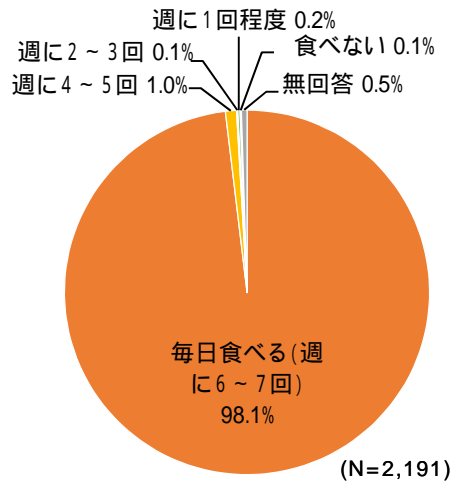


【児童・生徒 - 問 11】

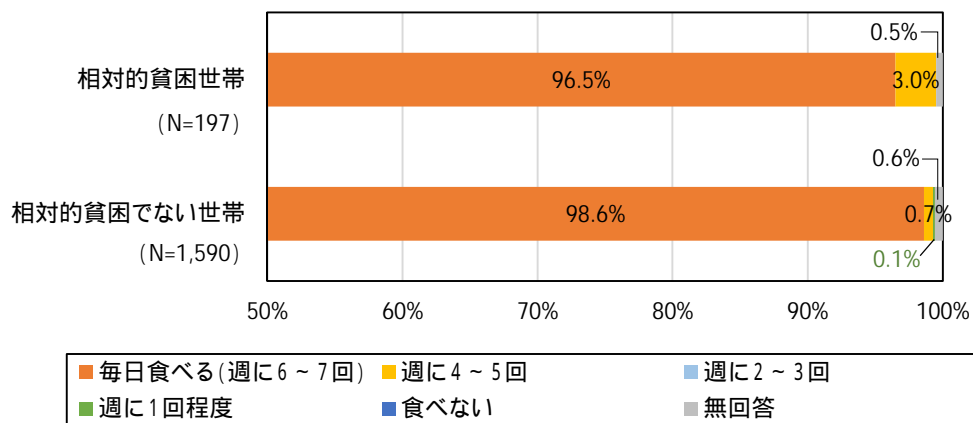
あなたは、夕ごはんを毎日食べていますか。

「毎日食べる（週に6～7回）」が最も多く98.1%、次いで「週に4～5回」が1.0%であった。

また、大きな差は見られなかったが、相対的貧困世帯の方がそうでない世帯に比べて「毎日食べる（週に6～7回）」の割合がやや低くなっている。



相対的貧困世帯とそうでない世帯のクロス集計

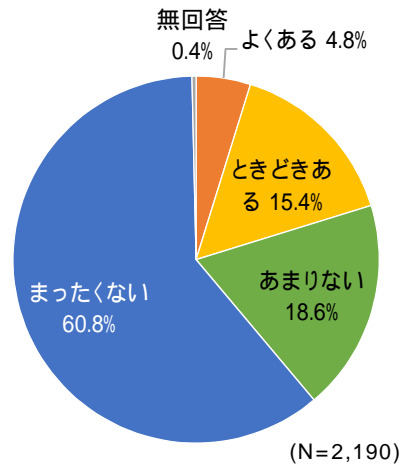


【児童・生徒 - 問 12】

(問 11 で選択肢 1~4 のいずれかを選択した者のみ回答)

あなたは、夕ごはんをひとりで食べることがありますか。

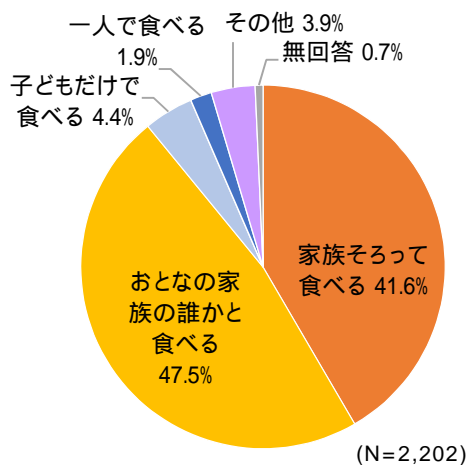
「まったくない」が最も多く 60.8%、次いで「あまりない」が 18.6%であった。



【保護者 - 問 23】

お子さんは、いつも夕食をどのように食べていますか。

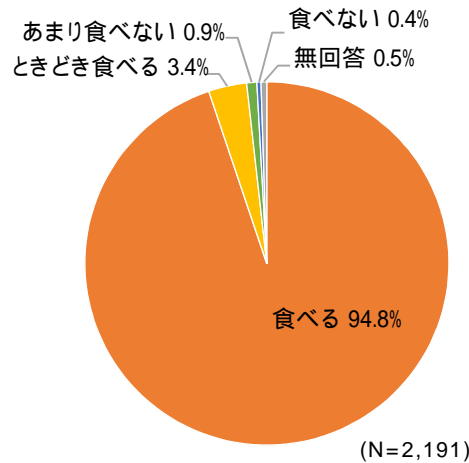
「おとなの家族の誰かと食べる」が最も多く 47.5%、次いで「家族そろって食べる」が 41.6%であった。



【児童・生徒 - 問 13】

あなたは、学校がお休みの日に昼ごはんを食べますか。

「食べる」が最も多く 94.8%、次いで「ときどき食べる」が 3.4%であった。



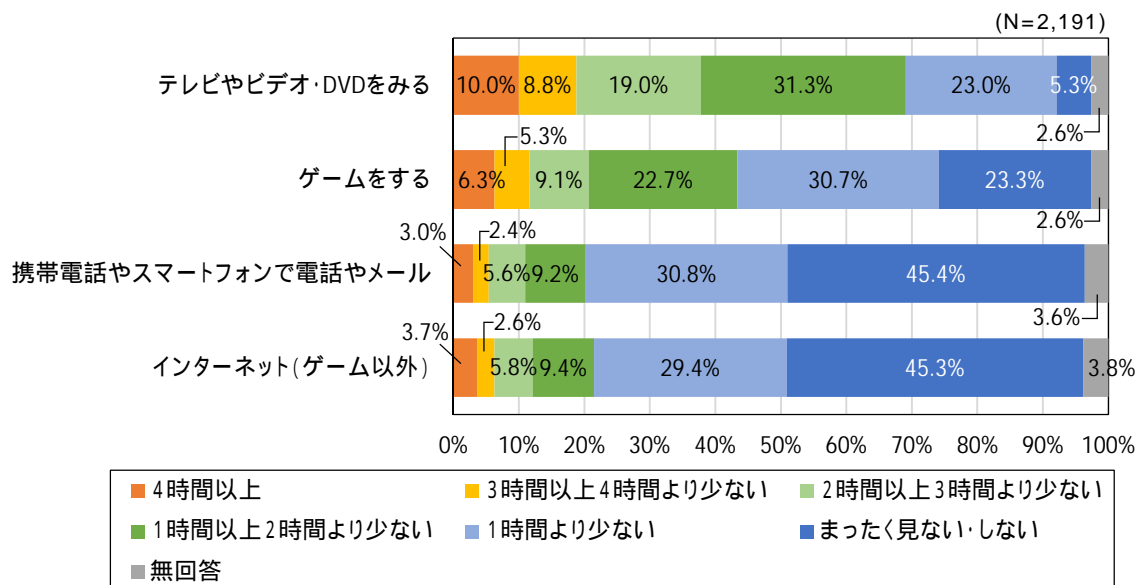
【児童・生徒 - 問 25】

あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）1日あたりどのくらいの時間、テレビをみたり、ゲームをしたりしますか。

ゲームは、コンピューターゲーム、携帯式ゲーム、スマートフォンやパソコンなどを使ったゲームも含む

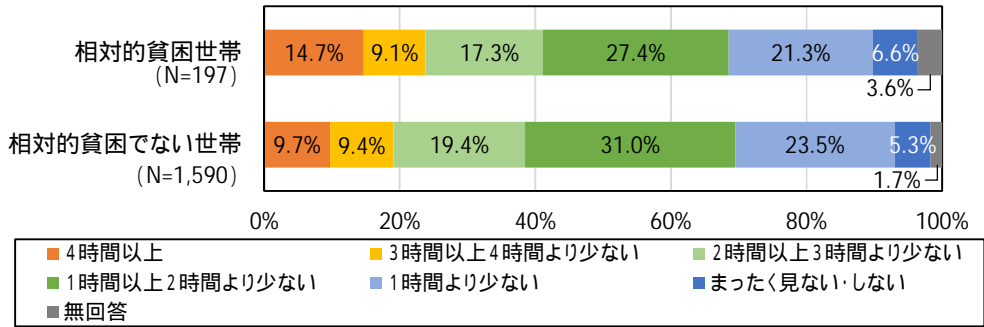
最も時間を費やしているものは [テレビやビデオ・DVD をみる] であった。

相対的貧困世帯は、[テレビやビデオ・DVD をみる] と [携帯電話やスマートフォンで電話やメール] の割合が、相対的貧困でない世帯よりも高くなっている。

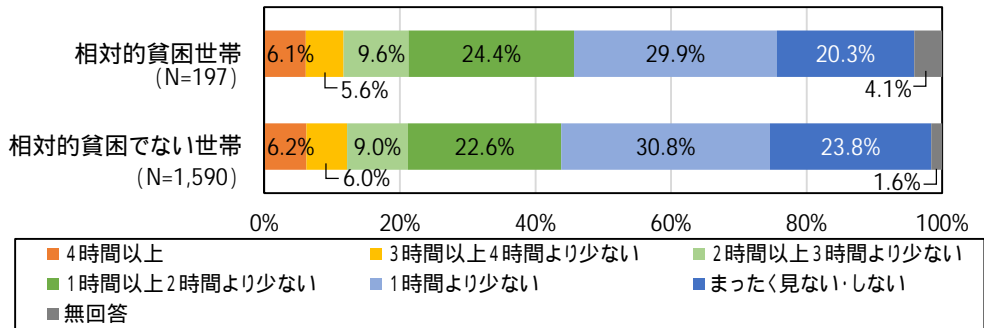


相対的貧困世帯とそうでない世帯のクロス集計

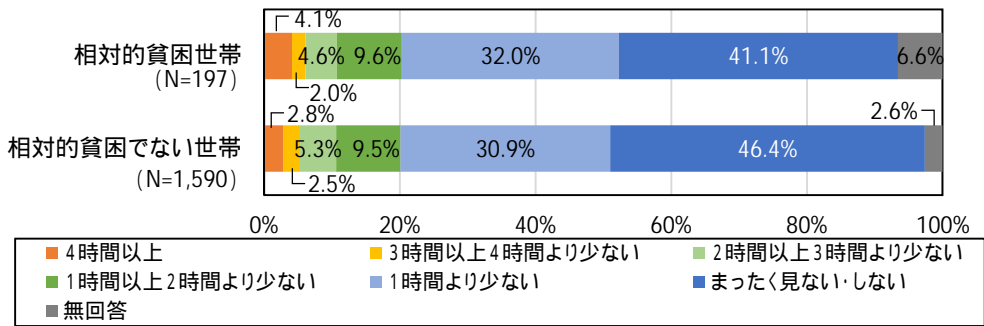
テレビやビデオ・DVD をみる



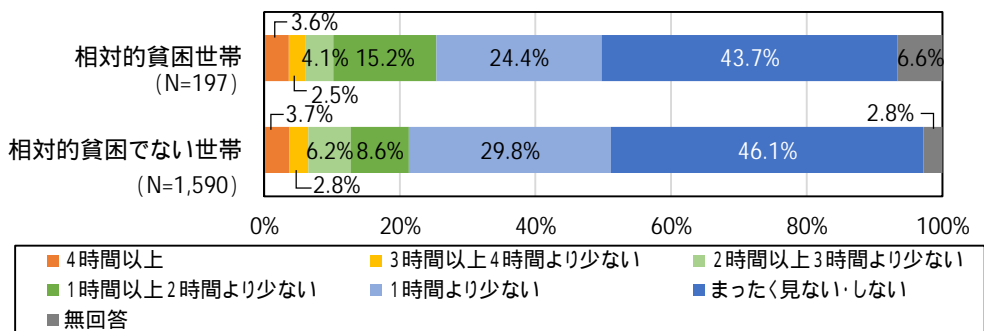
ゲームをする



携帯電話やスマートフォンで電話やメール



インターネット（ゲーム以外）

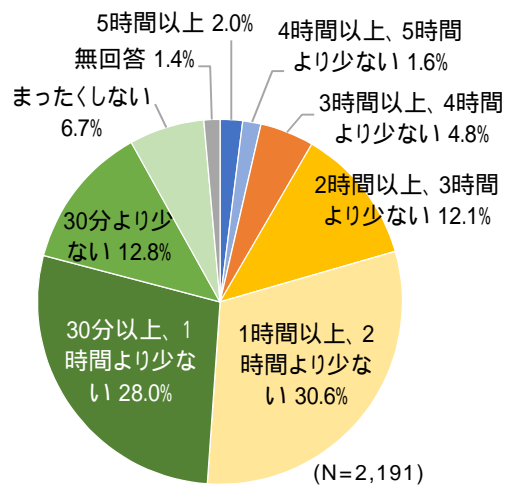


【児童・生徒 - 問 24】

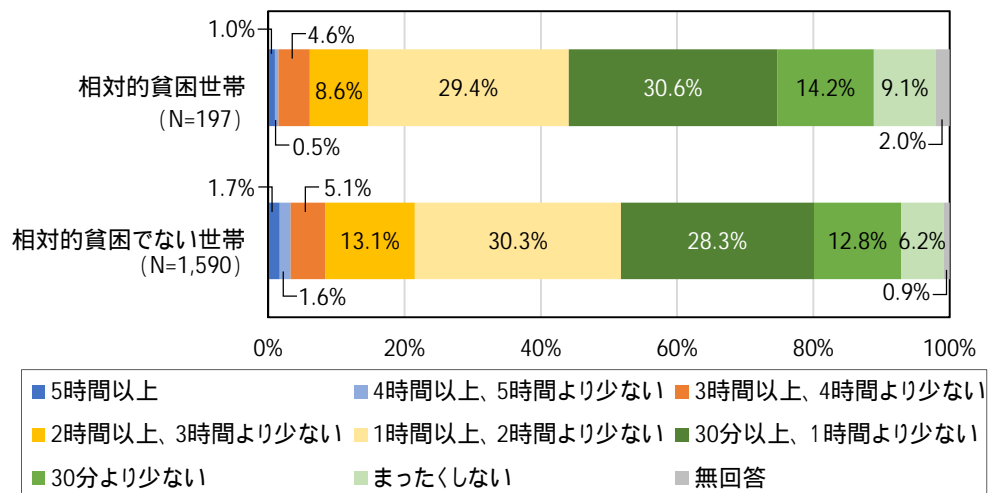
あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）学校の授業時間以外に 1 日あたりどのくらいの時間、勉強をしていますか。

「1 時間以上、2 時間より少ない」が最も多く 30.6%、次いで「30 分以上、1 時間より少ない」が 28.0%であった。

相対的貧困世帯は、「まったくしない」および「30 分より少ない」、「30 分以上、1 時間より少ない」の割合が、相対的貧困でない世帯に比べて高くなっている。



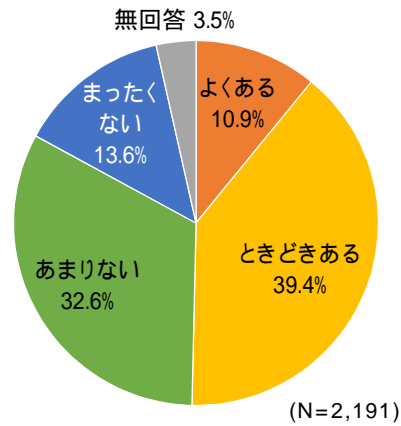
相対的貧困世帯とそうでない世帯のクロス集計



【児童・生徒 - 問 26】

あなたは父親や母親に代わって家事をしたり、家族の世話をしたりすることがありますか。

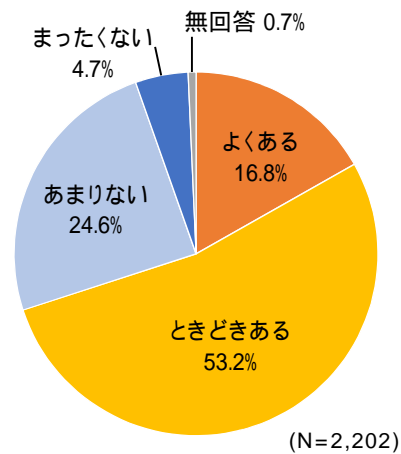
「ときどきある」が最も多く 39.4%、次いで「あまりない」が 32.6%であった。



【保護者 - 問 37】

お子さんに家事や家族の世話を頼むことがありますか。

「ときどきある」が最も多く 53.2%、次いで「あまりない」が 24.6%であった。

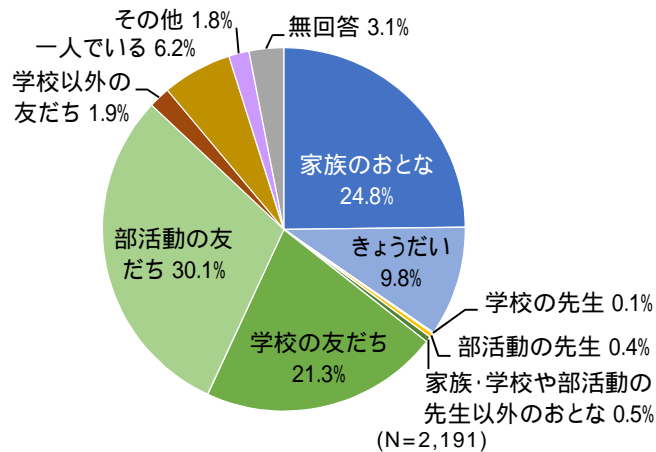


c) 子どもの放課後の過ごし方

【児童・生徒 - 問 18】

あなたは、放課後は、誰と過ごすことが多いですか。

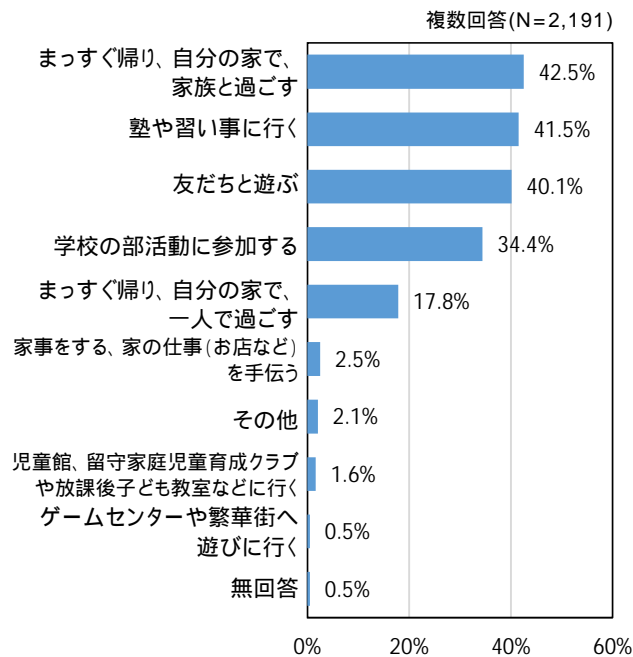
「部活動の友だち」が最も多く 30.1%、次いで「家族のおとな」が 24.8%であった。



【児童・生徒 - 問 19】

あなたは、放課後は、どのように過ごすことが多いですか。

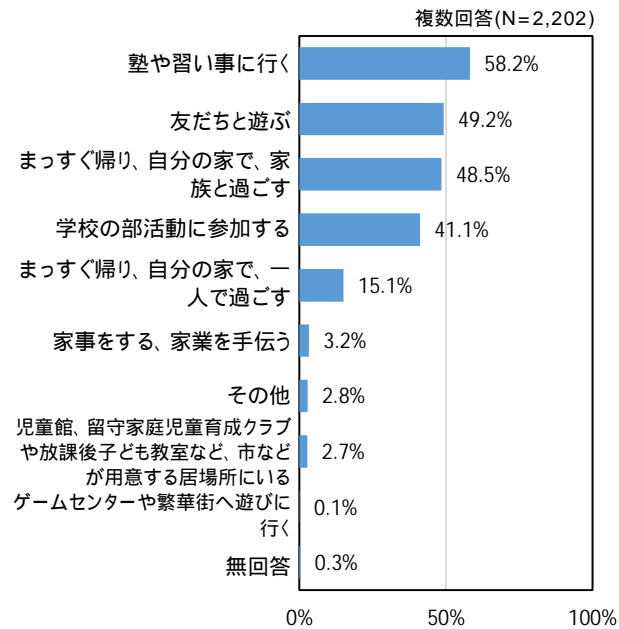
「まっすぐ帰り、自分の家で、家族と過ごす」が最も多く 42.5%、次いで「塾や習い事に行く」が 41.5%であった。



【保護者 - 問 14】

放課後に、お子さんはどのように過ごしていますか。

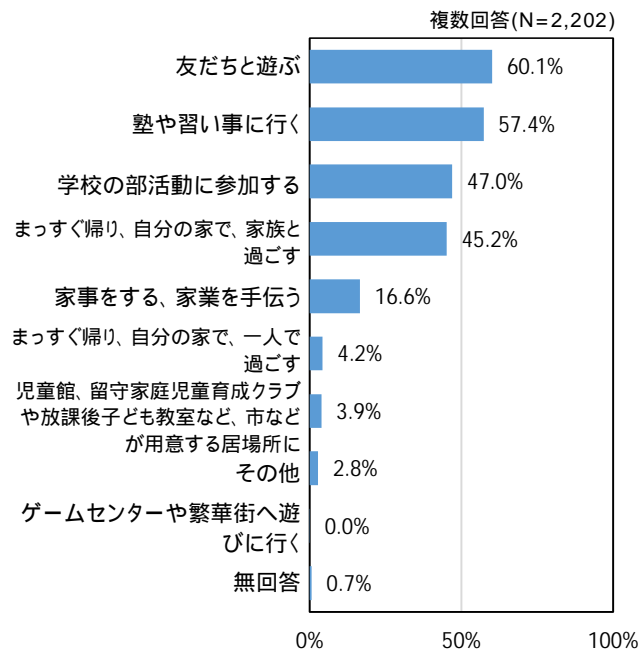
「塾や習い事に行く」が最も多く 58.2%、次いで「友だちと遊ぶ」が 49.2%であった。



【保護者 - 問 15】

放課後に、お子さんがどのように過ごしてほしいと思いますか。

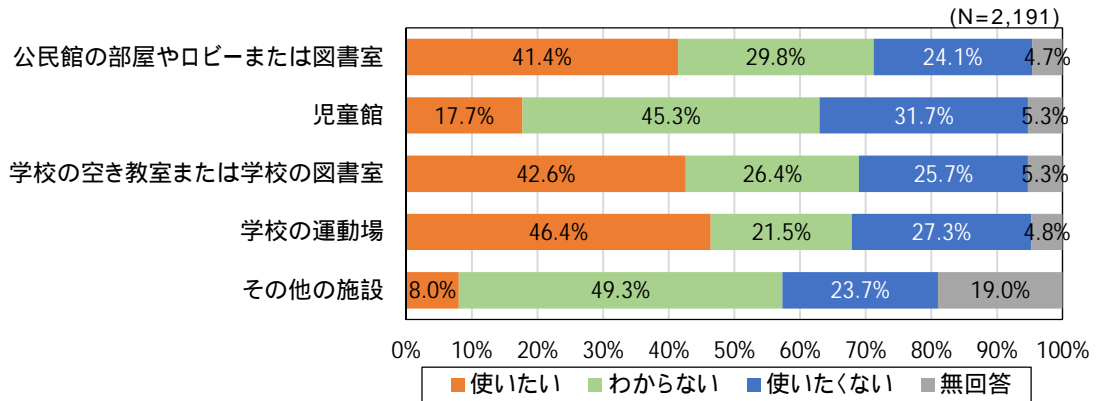
「友だちと遊ぶ」が最も多く 60.1%、次いで「塾や習い事に行く」が 57.4%であった。



【児童・生徒 - 問 20】

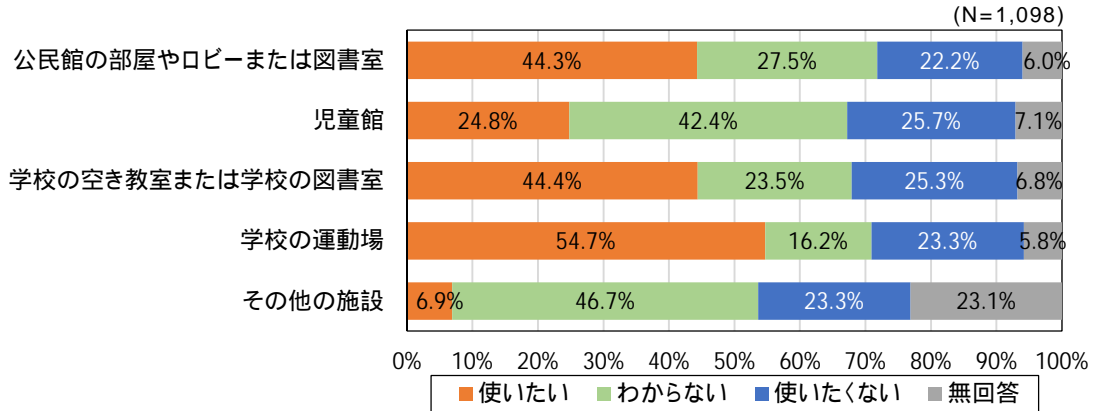
あなたは、放課後に、遊びや勉強の場所として ~ の施設が使えるとしたら、使いたいと思いますか。

「使いたい」施設は、[学校の運動場] が最も多く 46.4%、次いで [学校の空き教室または学校の図書室] が 42.6%、[公民館の部屋やロビーまたは図書室] が 41.4%であった。

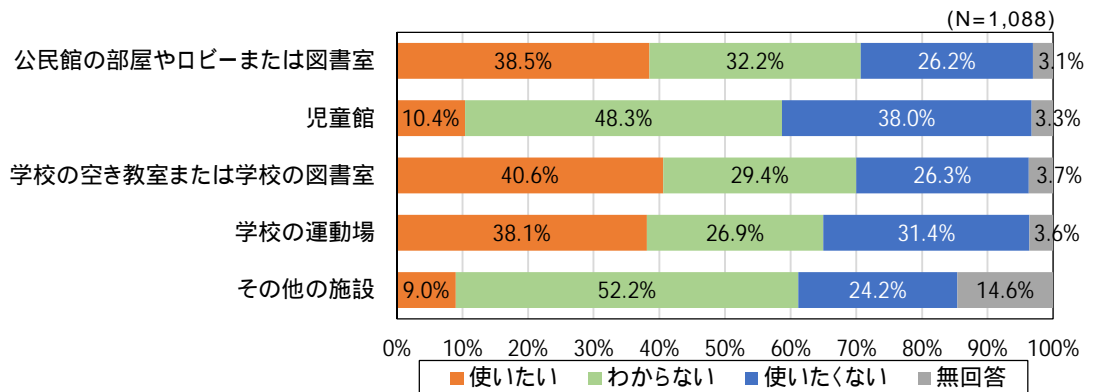


小学 5 年生と中学 2 年生の集計

小学生 5 年生



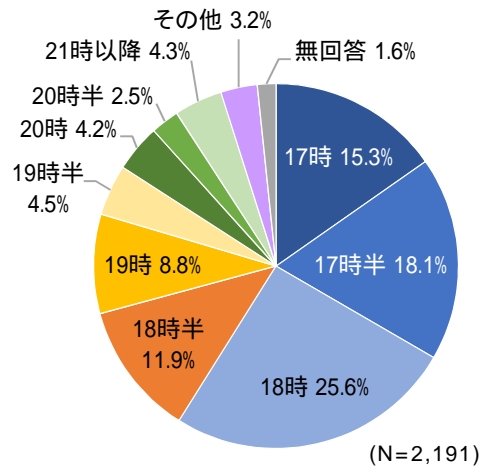
中学 2 年生



【児童・生徒 - 問 21】

あなたは、放課後に、自分の家以外で、遊んだり勉強したりできる場所があれば、何時ごろまで使いたいと思いますか。

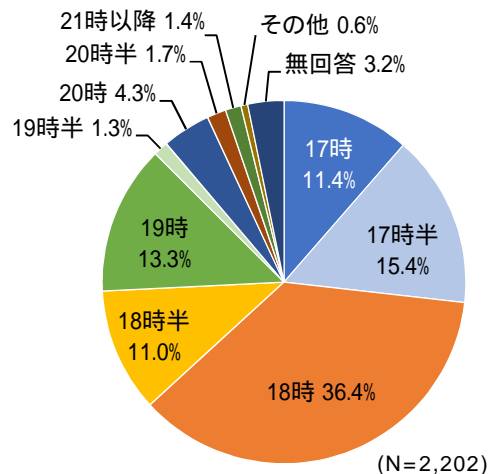
「18時」が最も多く25.6%、次いで「17時半」が18.1%であった。



【保護者 - 問 16】

放課後に、家以外でお子さんが過ごす場合、その場所は何時頃まで利用できるかといと思いますか。

「18時」が最も多く36.4%、次いで「17時半」が15.4%であった。



(4) 生活環境に関する考察

【親子の関わり】

- ・子どもとよく会話をするという保護者がほとんどである。
- ・休日に子どもとよく遊ぶ、ときどき遊ぶという保護者が多い。
- ・過去1年の間に地域活動に参加していない保護者の割合は全体の約3割を占める。



一般に、相対的貧困世帯では、就労環境にもよるが、保護者が家にいない時間が多いことや、仕事疲れから、子どもと関わる時間が少ないものと想定されるが、本市においては、世帯の経済状況による大きな差は見られなかった。しかしながら、経済状況にかかわらず、親子の会話頻度や休日に子どもと遊ぶ頻度が少ない世帯も一部見られた。

【食習慣】

- ・本市は3食とも食べている子どもがほとんどであり、世帯の経済状況に関わらず、食習慣はよいと考えられる。
- ・ただし、ひとりで朝ごはんを食べることがある(よくある+ときどきある)と回答した子どもが約4割いる。



一般に、保護者が家にいない時間が多く、子どもがひとりで過ごす時間が多いと、保護者の子どもへの生活習慣のしつけの頻度が低くなり、朝食や歯みがき等といった基本的な生活習慣が十分身につかない傾向にある。

本市においては、親子の会話頻度が高い世帯が多いため、全体的に食習慣は身につけている世帯が多く、世帯の経済状況でも大きな違いは見られなかった。

しかし、ひとりもしくは子どもだけで朝食を食べる子どもの割合が約46%、ひとりもしくは子どもだけで夕食を食べる子どもの割合が約6%いることから、大人の就労環境にもよるが、コミュニケーション等の観点から課題が残っているといえる。

【テレビ等の使用頻度と家庭学習の時間】

- ・家庭での時間の多くを、テレビやゲーム、携帯電話、インターネット等に費やす子どもが見られる。
- ・特に4時間以上をそれらに費やす子どもの割合は、相対的貧困世帯の方が、そうでない世帯に比べて高い。
- ・ふだんの家庭学習の時間は、相対的貧困世帯の方が、そうでない世帯に比べて短い。



家庭で過ごす時間の多くを、テレビを見たり、ゲームや携帯電話、インターネット等に費やす子どもは、世帯の経済状況にかかわらず存在するが、特に親が十分に子どもと関わる時間をつくり難い相対的貧困世帯の方が長い時間をそれらに費やす傾向にある。

さらに、相対的貧困世帯の子どもの方が、そうでない世帯に比べて家庭学習の時間が短い傾向にあることから、経済的に厳しい状況にある世帯の子どもへの家庭学習の習慣づけなどの教育面のサポートが必要と考えられる。

【放課後の過ごし方】

- ・家族や友達と過ごす子どもが多いが、中にはきょうだいのみや、ひとりで過ごす子どもも見られる。
- ・保護者は子どもに、友だちと遊んだり、塾や習い事に行ったり、部活動に参加したり、家で家族と過ごしたりすることを望んでいる。
- ・放課後に遊びや勉強のために使いたい施設は、学校の運動場や空き教室・図書室、公民館が多い。施設の利用時間は、保護者と子ども共に18時までが最も多いが、20時～21時以降まで希望する意見も一部見られる。



施設の利用時間について、20時～21時以降という回答があることから、一部の家庭では遅い時間帯まで子どもがひとりで過ごしている実態が存在していることがわかる。

一方で、生活費のためにフルタイムでの就労を希望しても、子どもがひとりで過ごすことがないように、短時間就労しかできない保護者がいることが想定される。保護者に対する問15の調査結果では、行政が用意している現行の「居場所」を要望する回答は少ないものの、放課後の「子どもの居場所」についての要望を聴き、充実させることは保護者の就労環境を改善し、収入確保の可能性を創出できると考えられる。

(5) 教育環境

【保護者 - 問9】

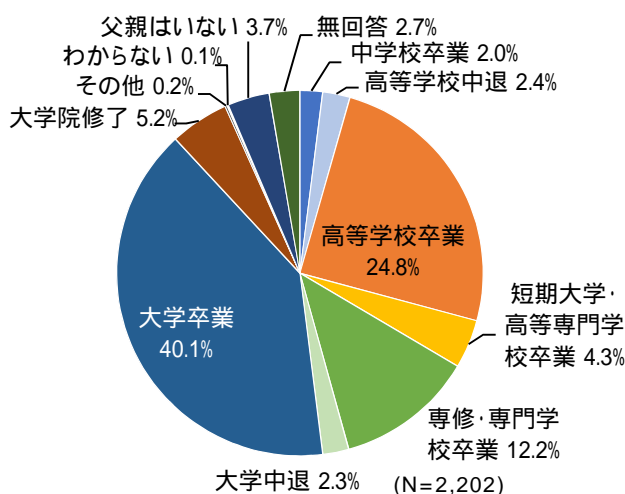
お子さんの父親・母親の最終学歴についてお答えください。

短期大学・高等専門学校卒業は、高校卒業後に進学する学校

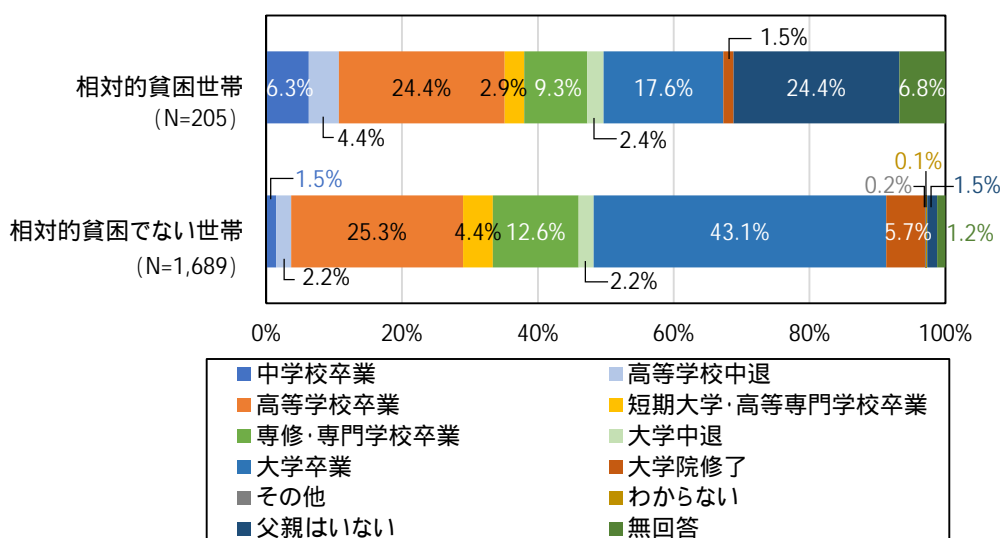
父親

「大学卒業」が最も多く 40.1%、次いで「高等学校卒業」が 24.8%であった。

相対的貧困世帯は、「大学卒業」の割合が 17.6%であり、相対的貧困でない世帯の 43.1%よりも大幅に低くなっている。

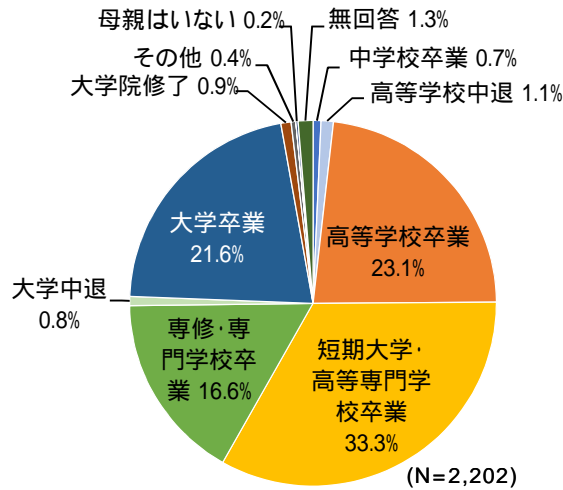


相対的貧困世帯とそうでない世帯のクロス集計

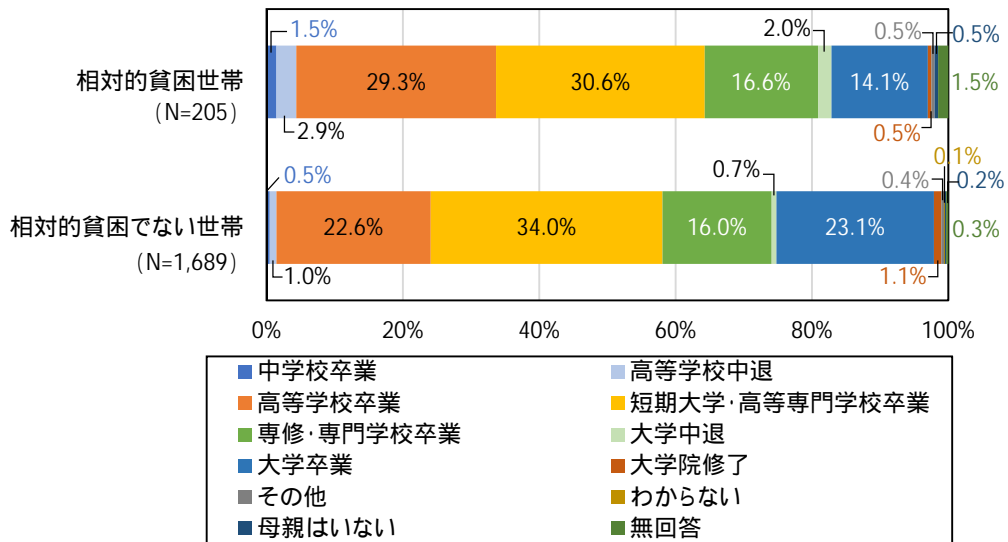


母親

「短期大学・高等専門学校卒業」が最も多く 33.3%、次いで「高等学校卒業」が 23.1%であった。相対的貧困世帯は、「大学卒業」の割合が 14.1%であり、相対的貧困でない世帯の 23.1%よりも低くなっている。



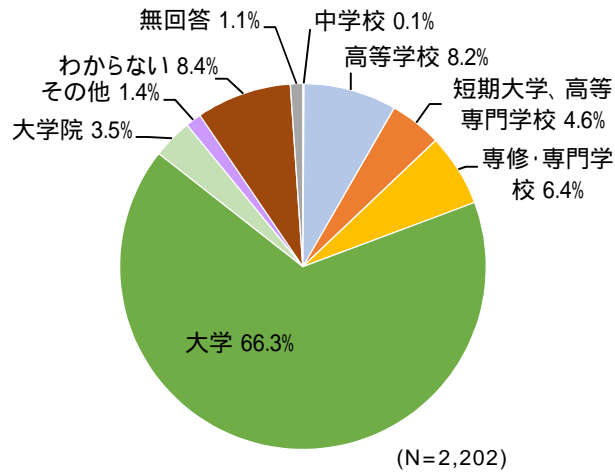
相対的貧困世帯とそうでない世帯のクロス集計



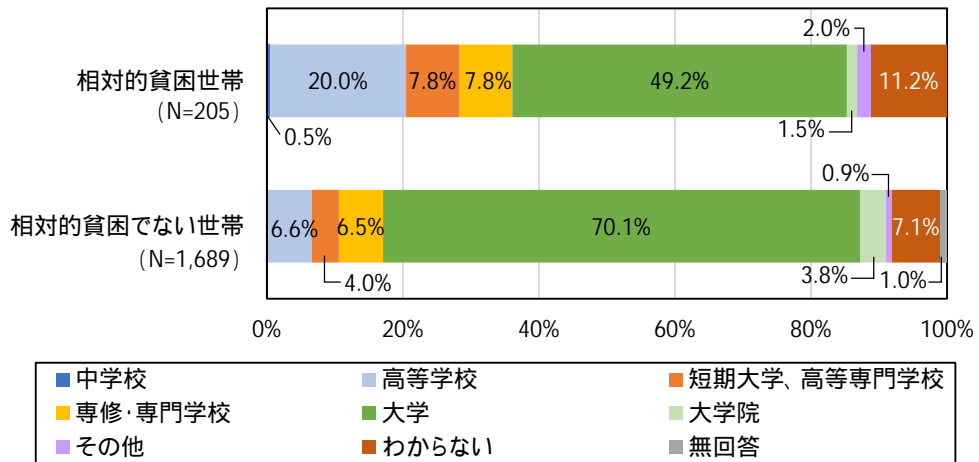
【保護者 - 問 12】

あなたは、将来、お子さんにどこまで就学してほしいと思いますか。

「大学」が最も多く 66.3%、次いで「わからない」が 8.4%、「高等学校」が 8.2%であった。
 相対的貧困世帯は、「大学」の割合が 49.2%であり、相対的貧困でない世帯の 70.1%よりも大幅に低くなっている。



相対的貧困世帯とそうでない世帯のクロス集計

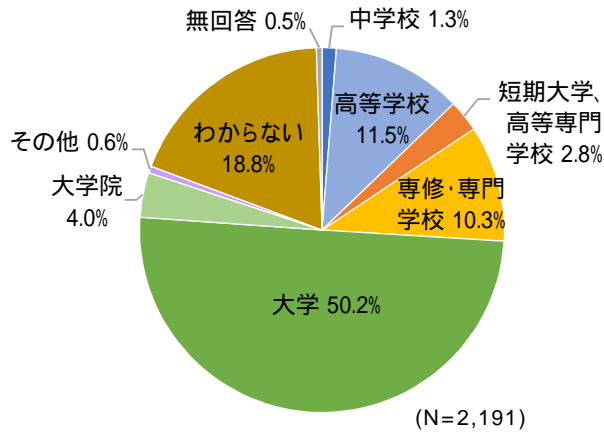


【児童・生徒 - 問 17】

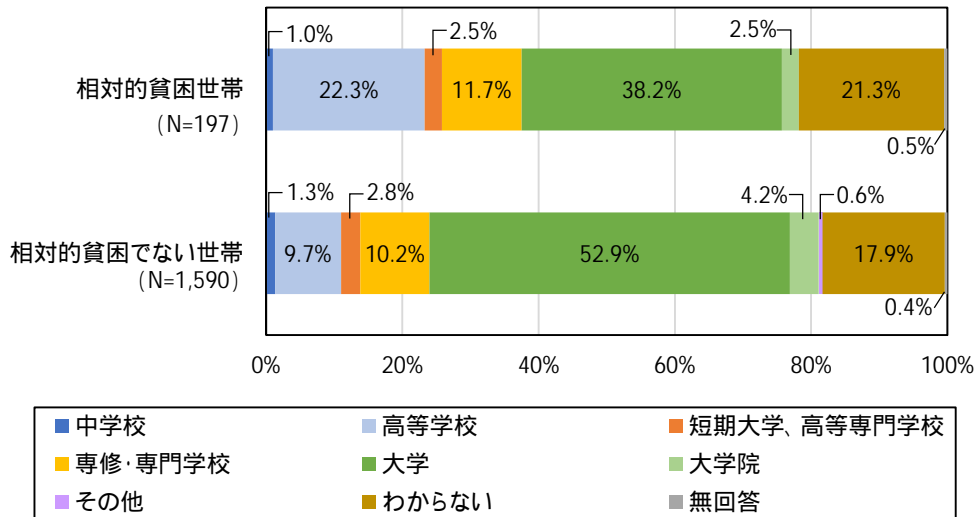
あなたは、将来、どの学校まで進学したいと思いますか。

「大学」が最も多く 50.2%、次いで「わからない」が 18.8%であった。

相対的貧困世帯は、「大学」の割合が 38.2%であり、相対的貧困でない世帯の 52.9%よりも大幅に低くなっている。



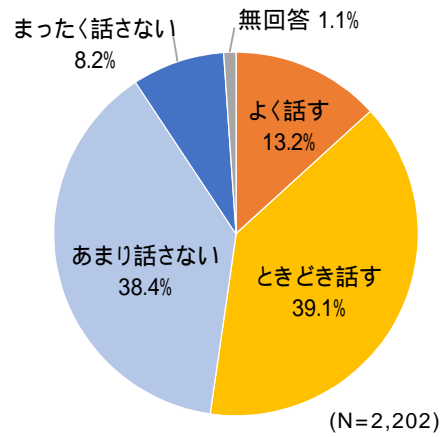
相対的貧困世帯とそうでない世帯のクロス集計



【保護者 - 問 13】

学校の先生と子どものことを話しますか。

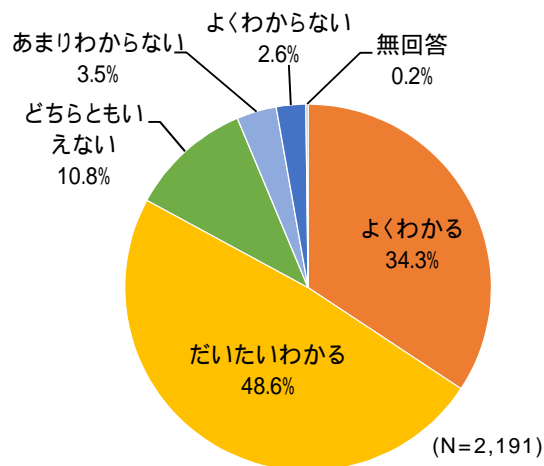
「ときどき話す」が最も多く 39.1%、次いで「あまり話さない」が 38.4%であった。



【児童・生徒 - 問 15】

あなたは、学校の授業の内容がわかりますか。

「だいたいわかる」が最も多く 48.6%、次いで「よくわかる」が 34.3%であった。

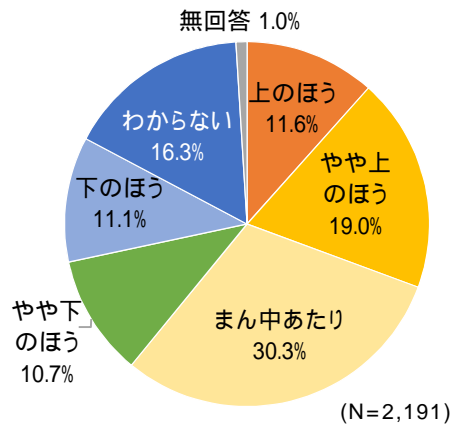


【児童・生徒 - 問 16】

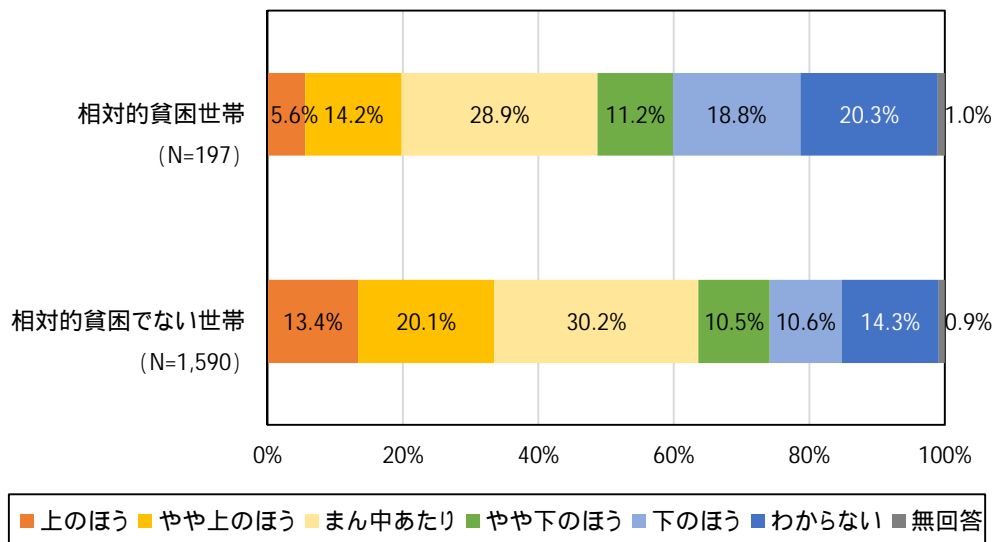
あなたの成績は、学年の中でどのくらいですか。

「まん中あたり」が最も多く 30.3%、次いで「やや上のほう」が 19.0%であった。

相対的貧困世帯は、「上のほう」と「やや上のほう」を合わせた『まん中より上のほう』の割合が 19.8%であり、相対的貧困でない世帯の 33.5%よりも低くなっている。



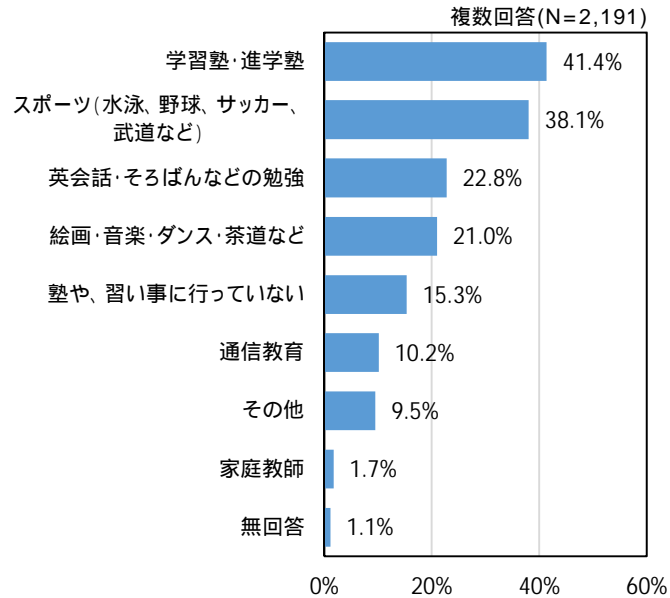
相対的貧困世帯とそうでない世帯のクロス集計



【児童・生徒 - 問 22】

現在、あなたは、塾に行ったり習い事をしたりしていますか。

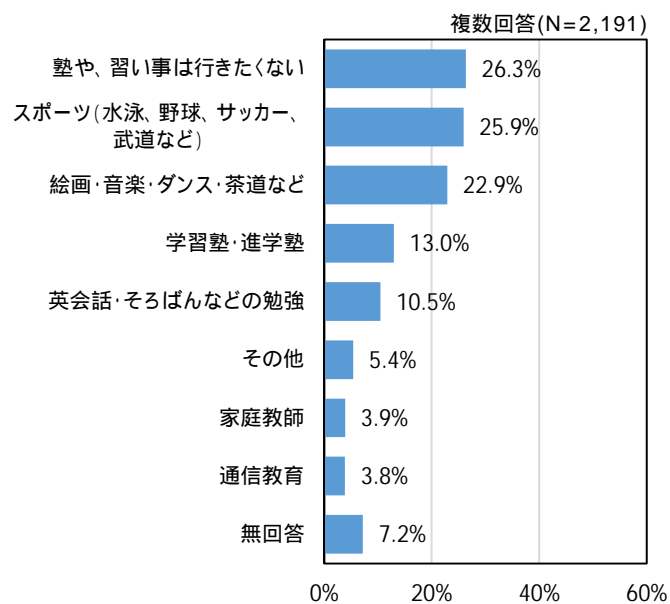
「学習塾・進学塾」が最も多く 41.4%、次いで「スポーツ」が 38.1%であった。



【児童・生徒 - 問 23】

あなたは、どんな習い事をしてみたいですか。現在、あなたが通っている塾や習い事以外で教えてください。

「塾や、習い事は行きたくない」が最も多く 26.3%、次いで「スポーツ」が 25.9%であった。

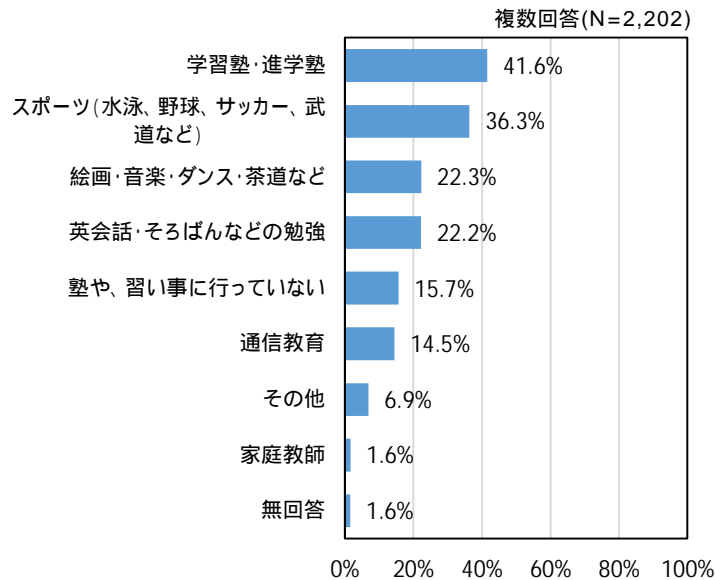


【保護者 - 問 17】

お子さんは、現在、塾に行ったり習い事をしたりしていますか。

費用がかからないサークル活動などは含まない

「学習塾・進学塾」が最も多く 41.6%、次いで「スポーツ」が 36.3%であった。

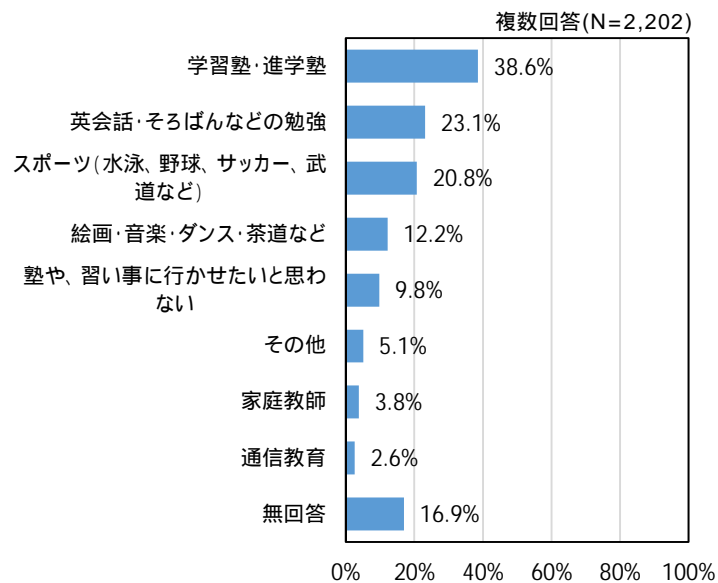


【保護者 - 問 18】

お子さんに、今後、どんな習い事をさせたいですか。

現在通っている塾や習い事は含まない

「学習塾・進学塾」が最も多く 38.6%、次いで「英会話・そろばんなどの勉強」が 23.1%であった。



(5) 教育環境に関する考察

【保護者の最終学歴】

- ・ 父親の最終学歴で「大学卒業」の割合は、相対的貧困世帯では約 18%、そうでない世帯では約 43%であった。
- ・ 保護者調査での子どもの進路希望では、「大学以上の進学を希望する」保護者の割合は相対的貧困世帯では約 49%、そうでない世帯では約 70%であった。
- ・ 児童・生徒調査における将来の進路希望での、「大学以上の進学を希望する」割合は、相対的貧困世帯では約 38%、そうでない世帯では約 53%であった。
- ・ 保護者も子どもも、相対的貧困世帯ではそうでない世帯に比べて進学に消極的になっていることがうかがえる。



一般に、「貧困」が、保護者から子どもへ連鎖するという問題が指摘されている。

今回、本市調査においても保護者の最終学歴が、相対的貧困世帯では「大学卒業」の割合が低く、自らの子どもの就学先希望についても、相対的貧困世帯はそうでない世帯に比べて、大学以上の進学を希望する割合が低くなっていた。

一方、子どもの調査において、保護者と同様に相対的貧困世帯は、そうでない世帯に比べて、大学以上の進学を希望する割合が低くなっていた。

子どもたちが、家計を助けるために早期に社会に出て生活費を稼ごうとするのか、自立して別世帯で暮らそうとするのかについての動機についての調査はなかったが、日頃から保護者が経済的に困窮している様子を見ることで、少なくとも子どもたちの将来の進路決定にも影響を与えていることは、想像に難くない。

一般に、「正社員・正規職員」の就労環境は、「非正規雇用」より安定しており、社会保障制度も対応出来ているが、大学全入時代と言われる現在、就労先企業における基本的条件において学歴要因は以前に増して大きくなっていると考えられる。

結果として、相対的貧困世帯では「非正規雇用」の割合が多くなる傾向にあるため、保護者の教育的な姿勢や子どもたちの学業達成の自主的な学習意欲は、学歴による将来の収入差につながる可能性がある。

したがって、意欲ある子どもたちには世帯収入を問わず、学習機会を整備することが課題といえる。

【授業の理解度・成績】

- ・ 今回の調査対象の学齢では、多くの子どもは学校の授業の内容を理解していた。
- ・ 相対的貧困世帯の子どもは、そうでない世帯の子どもに比べて、自分の成績が下の方であると自己評価する傾向にあった。



相対的貧困世帯の子どもは成績が低いと自己評価する傾向と、前述の(4)生活環境における相対的貧困世帯の子どもは、テレビや携帯電話等の使用頻度が高く、家庭学習をする時間が短いという調査結果は関係性が認められる。

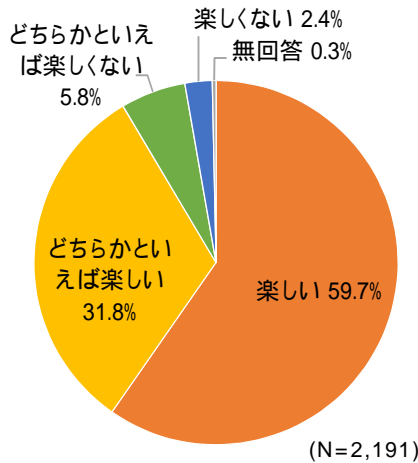
子どもにどのような教育を受けさせるかは、各家庭の方針によるが、子どもたちの将来に対する希望や意欲に関わらず、家庭の経済的理由からその機会が奪われることがないよう支援していくことや、諦めかけている希望を取り戻す環境を用意することは「貧困の連鎖」から脱出するためには有効と考えられる。

(6) 子どものころ・健康状態

【児童・生徒 - 問 14】

あなたは、学校にいる時間が楽しいですか。

「楽しい」が最も多く 59.7%、次いで「どちらかといえば楽しい」が 31.8%であった。



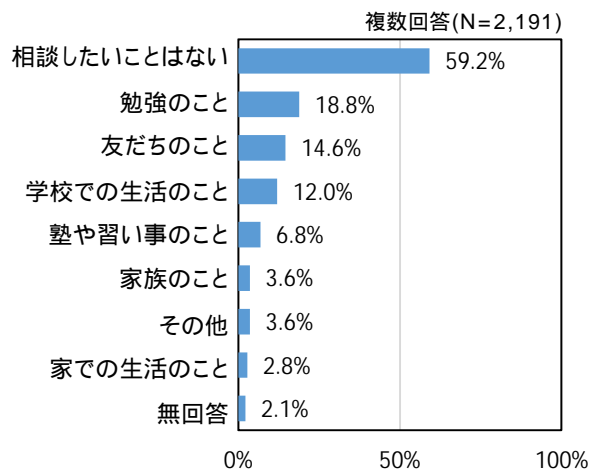
【児童・生徒 - 問 29】

現在、あなたは、悩んでいることや心配なこと、困っていること、誰かに相談したいと思っ
ていることがありますか。

「相談したいことはない」が最も多く 59.2%、次いで「勉強のこと」が 18.8%、「友達のこと」
が 14.6%であった。

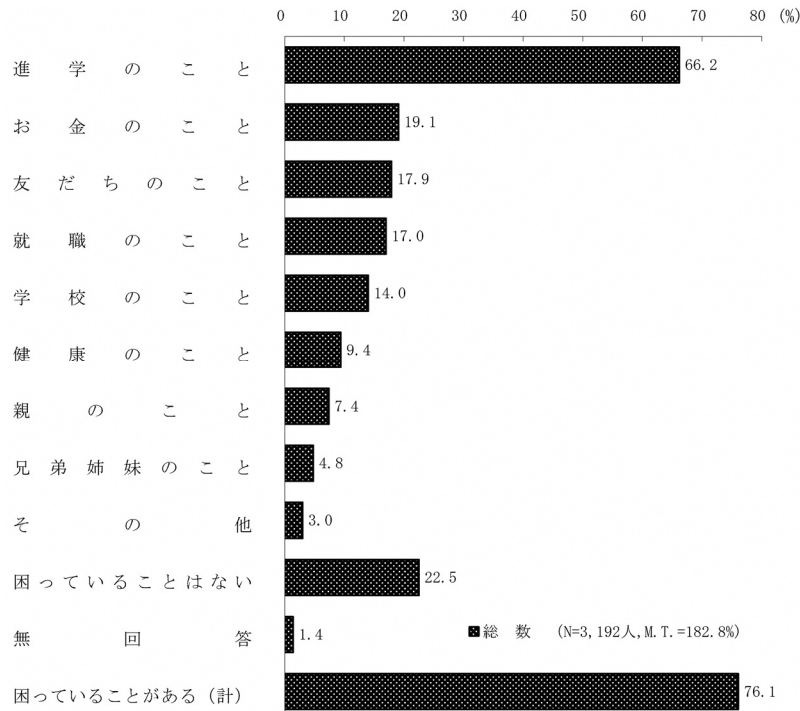
国の調査と比較すると、川西市の方が「相談したいことはない」(困っていることはない)の割合
が高くなっている。

また、親子との関わりの差と子どもの悩みの関係をみると、親子の会話頻度が高いほど、また、
休日に一緒に遊ぶ頻度が高いほど、相談したい悩みが「ある」の割合が低くなっている。



親と子の生活意識に関する調査 との比較

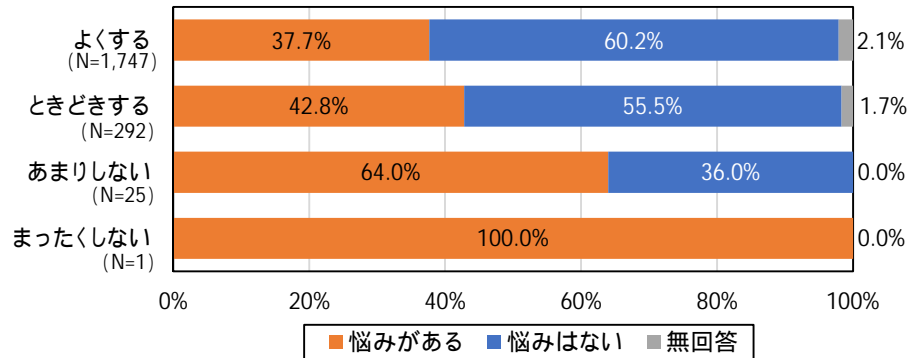
問．現在、悩んだり困っていることはありますか。



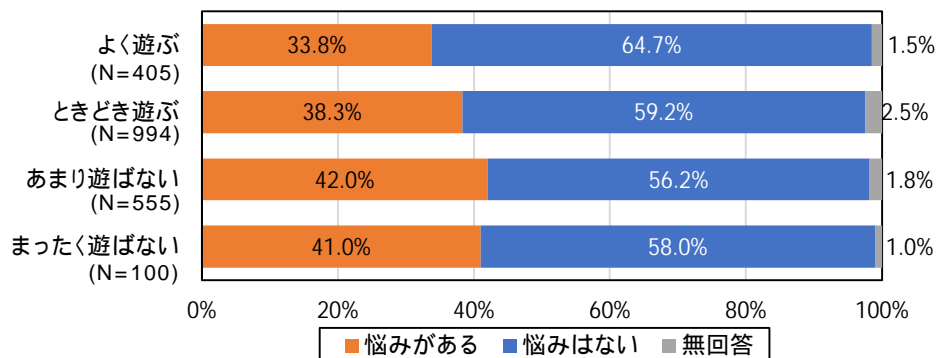
親と子の生活意識に関する調査...中学3年生とその保護者を対象として、平成23年に内閣府が実施した調査。

親子の関わりの差と悩みの有無のクロス集計

子どもとの会話頻度



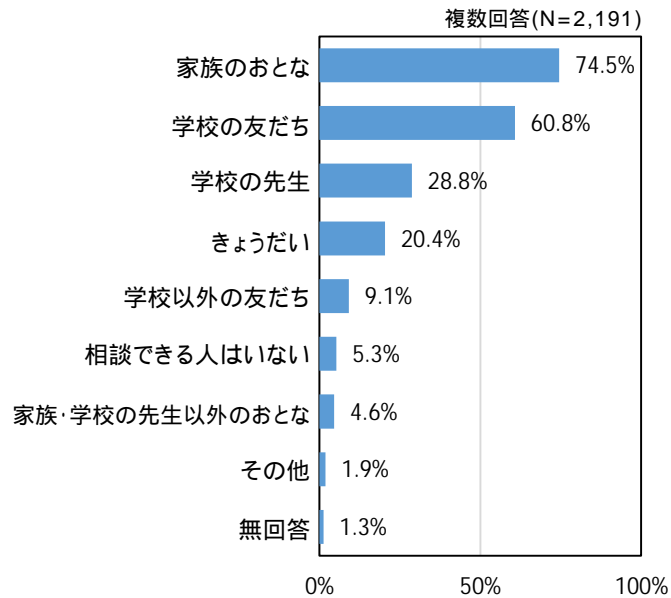
休日に一緒に遊ぶ頻度



【児童・生徒 - 問 30】

悩んでいることや心配なことを、話したり、相談したりできる相手は誰ですか。

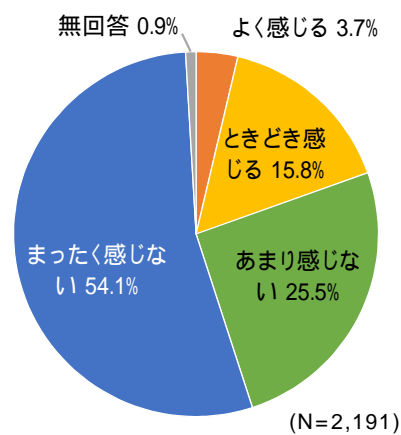
「家族のおとな」が最も多く 74.5%、次いで「学校の友だち」が 60.8%であった。



【児童・生徒 - 問 31】

あなたは、学校や家で、仲間はずれや一人ぼっちで寂しいと感じることがありますか。

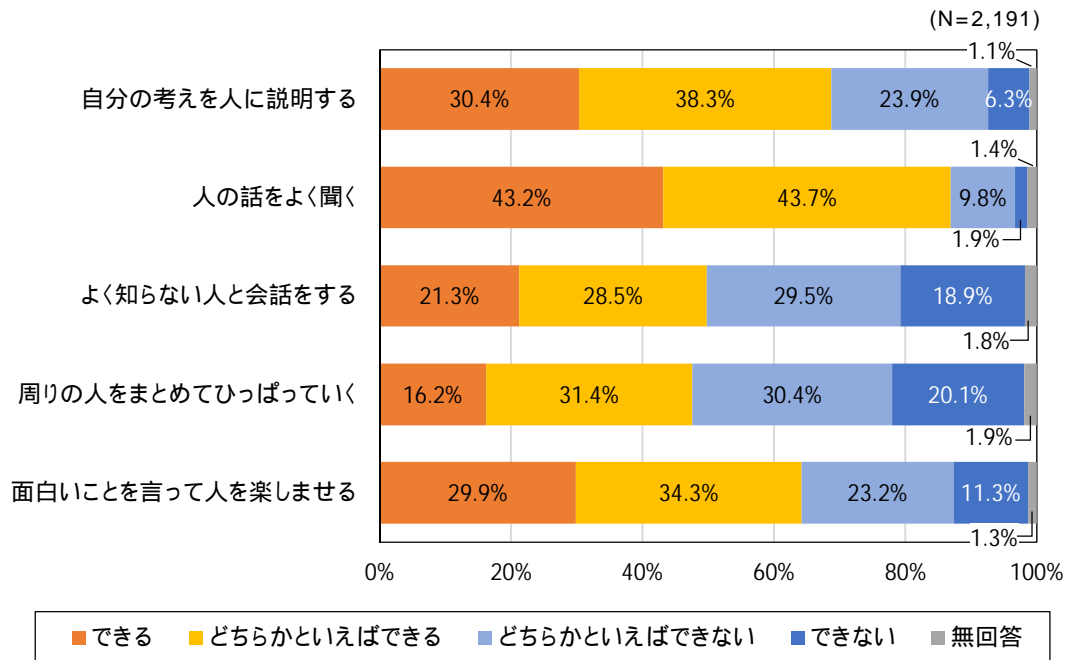
「まったく感じない」が最も多く 54.1%、次いで「あまり感じない」が 25.5%であった。



【児童・生徒 - 問 32】

あなたは、ふだんの生活の中で次のことがどのくらいできますか。

「できる」と「どちらかといえばできる」を合わせた『できる』で最も多かったのは、[人の話をよく聞く] で 86.9%、次いで [自分の考えを人に説明する] が 68.7%であった。

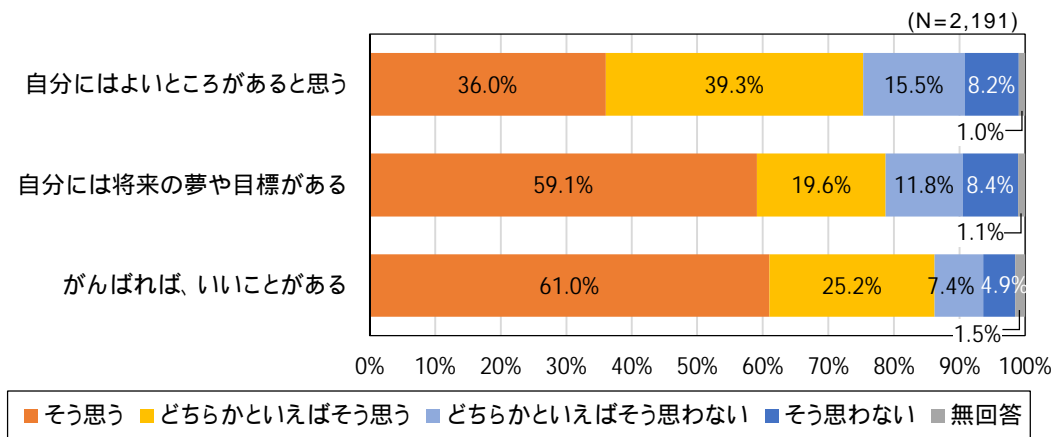


【児童・生徒 - 問 33】

あなたは、自分自身のことをどう思いますか。

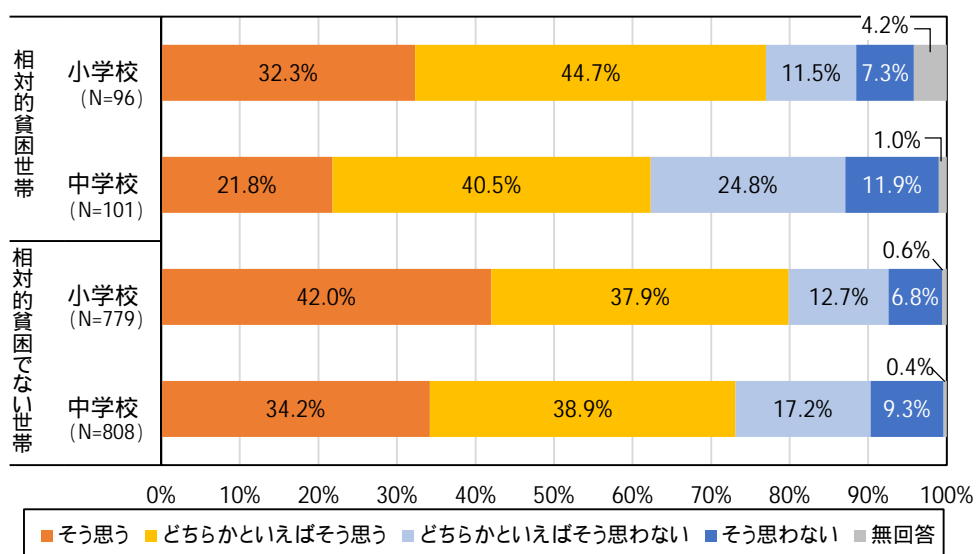
「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』で最も多かったのは、[がんばれば、いいことがある]で86.2%、次いで[自分には将来の夢や目標がある]が78.7%であった。

相対的貧困世帯とそうでない世帯を小学校と中学校に分けて比較すると、～ 全ての項目で相対的貧困世帯の割合の方が低くなっている。



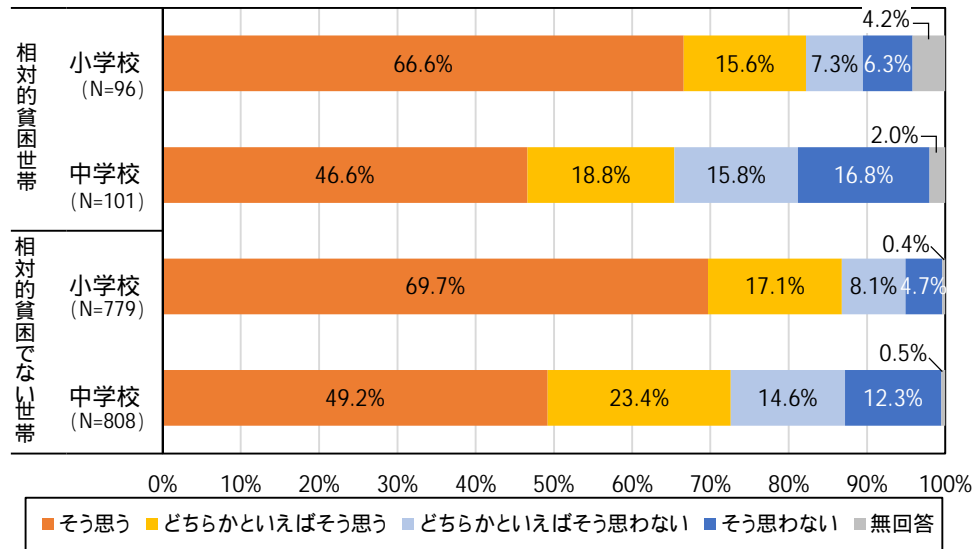
相対的貧困世帯とそうでない世帯のクロス集計

自分にはよいところがあると思う

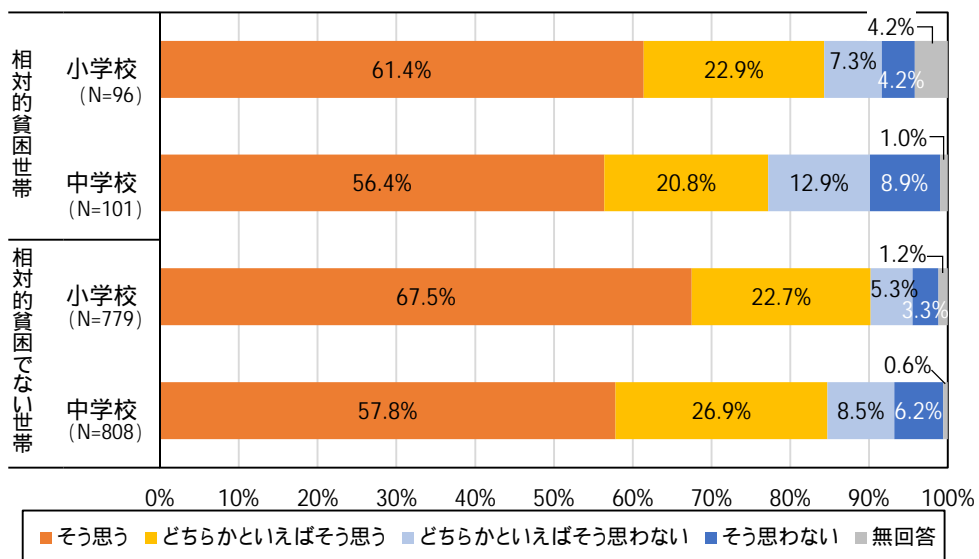


相対的貧困世帯とそうでない世帯のクロス集計

自分には将来の夢や目標がある



がんばれば、いいことがある

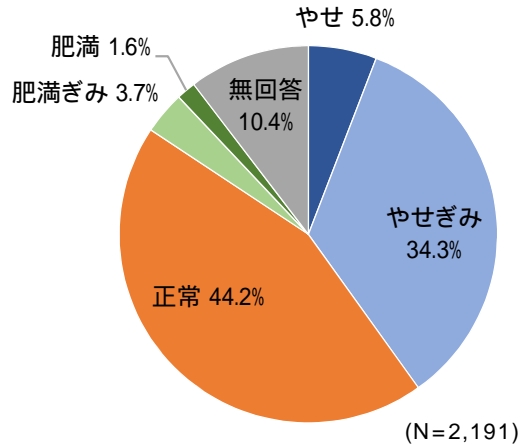


【児童・生徒 - 問2】

現在のあなたの身長と体重を下の〔 〕の中に書いてください。

「正常」が最も多く 44.2%、次いで「やせぎみ」が 34.3%であった。

相対的貧困世帯は、「正常」の割合が 40.6%であり、相対的貧困でない世帯の 46.0%よりも低くなっている。



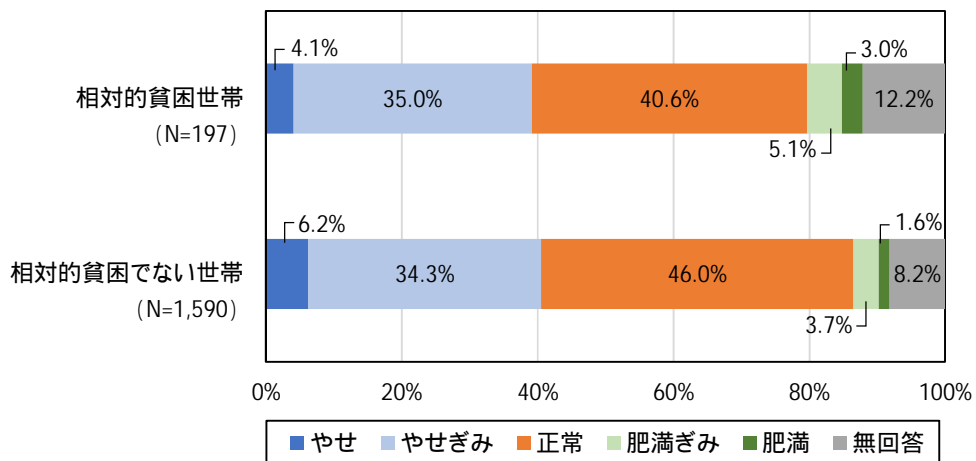
肥満の程度

ローレル指数：学童の肥満の程度を表す指数

ローレル指数 = 体重(kg) ÷ 身長(cm)³ × 10⁷

指標	判定
100 未満	やせ
100 ~ 115 未満	やせぎみ
115 ~ 145 未満	正常
145 ~ 160 未満	肥満ぎみ
160 以上	肥満

相対的貧困世帯とそうでない世帯のクロス集計

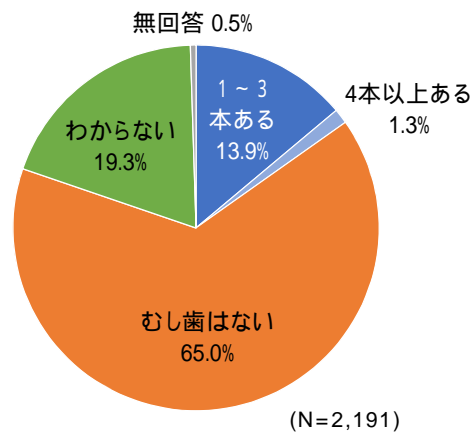


【児童・生徒 - 問8】

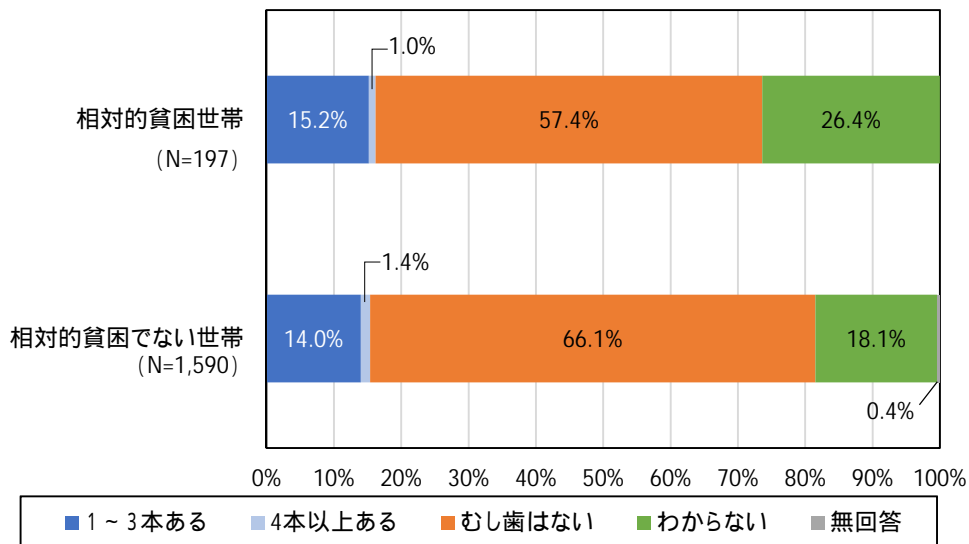
あなたは、むし歯がありますか。

「むし歯はない」が65.0%で最も多く、むし歯が「1～3本ある」と「4本以上ある」を合わせた『むし歯がある』は15.2%であった。

相対的貧困世帯は、「むし歯がない」の割合が57.4%であり、相対的貧困でない世帯の66.1%よりも低くなっている。一方、「わからない」という回答は、相対的貧困世帯が26.4%であり、相対的貧困でない世帯の18.1%よりも高くなっている。



相対的貧困世帯とそうでない世帯のクロス集計



(6) 子どものこころ・健康状態に関する考察

【子どもの悩み】

- ・学校にいる時間が「楽しい」、もしくは「どちらかといえば楽しい」とする子どもは、約90%であった。
- ・約60%の子どもが、「特に相談したいことは無い」と回答するなか、親子の会話頻度が高いほど、相談したい悩みが無い子どもの割合が高くなり、親子のコミュニケーションが子どものこころに良い影響を及ぼしていることがうかがえる。
- ・約60%以上の子どもが、家族のおとなや学校の友だちに悩みを相談しているなか、相談できる人はいないと回答した子どもが5%いた。



普段から親子が密にコミュニケーションを取れていることは、子どもが相談したい悩みや困り事があった場合にも、子どもから相談しやすくなっていると考えられる。

一方で、「相談できる人はいない」と回答した子どもたちが、保護者の就労事情や、家庭での養育環境からそう回答したのか、子ども自身の課題によってそう回答したのかを、しっかりと調べたうえで、学校を始めとして、何処かで話を聞いてもらえるような居場所づくりや、子どもが話したくなるような人材の養成といった環境づくりへの支援は課題といえる。

【自己肯定感・寂しさ】

- ・多くの子どもが、「自分によいところがある」等と思っているが、そう思わない子どもも見られる。小学生と中学生を比較すると年齢とともに自己評価は厳しくなり、さらに相対的貧困世帯は、そうでない世帯に比べて自己肯定感が低いことがうかがえる。
- ・「学校や家庭での仲間外れや一人ぼっちで寂しいと感じている」子どもが約20%いる。



自己肯定感や人間関係に関する考えについて、相対的貧困世帯とそうでない世帯を比べると、相対的貧困世帯の子どもの方が、自尊感情（自分にはよいところがあると思う）への肯定的な評価が低い結果となっている。

一方、本市の約6~8割の子どもたちは、将来に対して夢があり、頑張れば良いことがあると考えている。

【健康】

- ・ 相対的貧困世帯の子どもたちの体格が、必ずしも「やせ」などの不正常な状態にあるとは見られなかった。
- ・ 相対的貧困世帯の子どもの方が、そうでない世帯の子どもに比べて、僅かではあるが肥満の割合が高かった。
- ・ 多くの子どもに「むし歯」はないが、「わからない」や「無回答」の割合は相対的貧困世帯が多かった。



調査結果から、栄養失調などが影響する子どもの体格については、貧困世帯かそうでないかについての直接的な関係は見られなかったが、肥満の割合は、相対的貧困世帯の方が高くなっており、食事の内容や間食の回数など、保護者の就労事情から目が届かないことや、食に関して家庭での関心が低いこと等が想定される。

また、本市の子どもたちは歯科教育の効果からか、全体としては歯磨きの習慣も身につけている子どもが多いといえる。

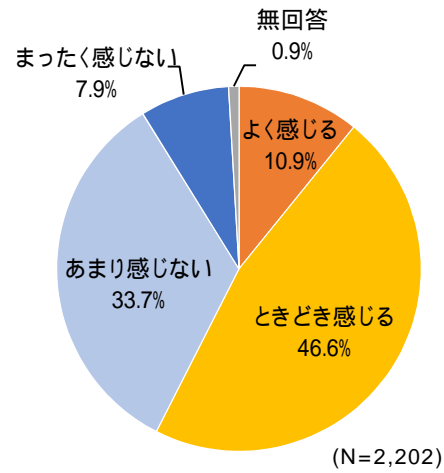
なお、むし歯の有無と貧困世帯かそうでないかについての直接的な関係は見られなかったが、相対的貧困世帯の子どもは、むし歯の有無を認識していない割合（無回答の割合）が高い傾向にあり、相対的貧困でない世帯より「歯の健康について」関心がないことがうかがえる。

(7) 保護者の状況

【保護者 - 問 35】

育児の疲れを感じることはありますか。

「ときどき感じる」が最も多く 46.6%、次いで「あまり感じない」が 33.7%であった。

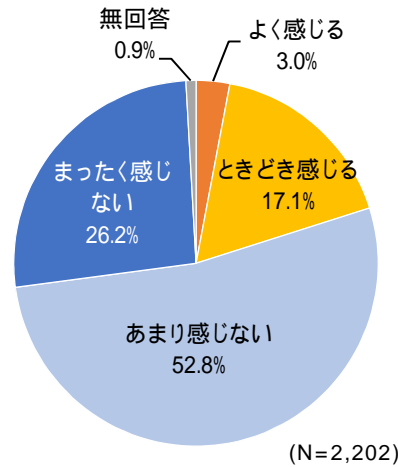


【保護者 - 問 36】

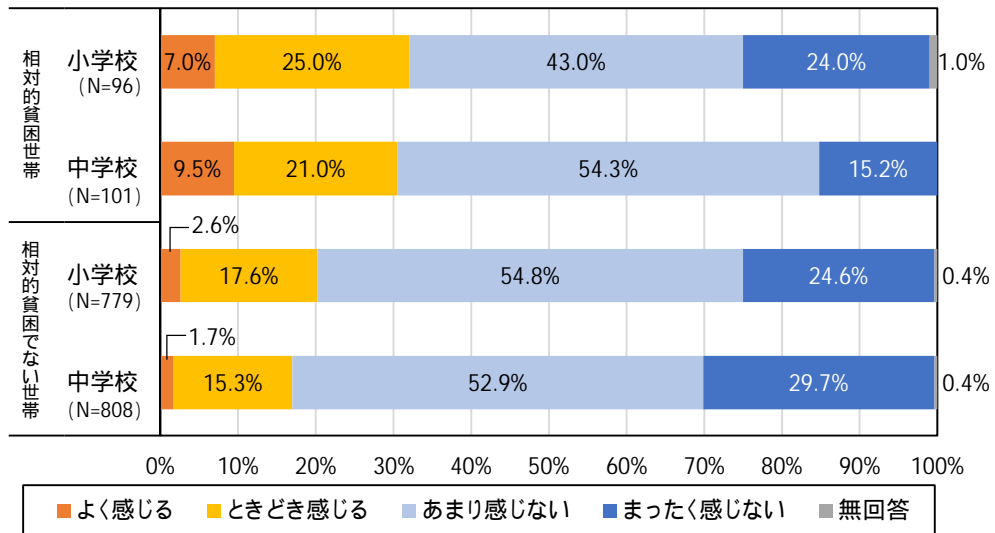
孤立感や社会からの疎外感を感じることがありますか。

「あまり感じない」が最も多く 52.8%、次いで「まったく感じない」が 26.2%であった。

「よく感じる」と「ときどき感じる」を合わせた『感じる』の割合は、相対的貧困世帯では小学生が 32.0%、中学生が 30.5%であり、どちらの割合も相対的貧困でない世帯と比べると高い。



相対的貧困世帯とそうでない世帯のクロス集計

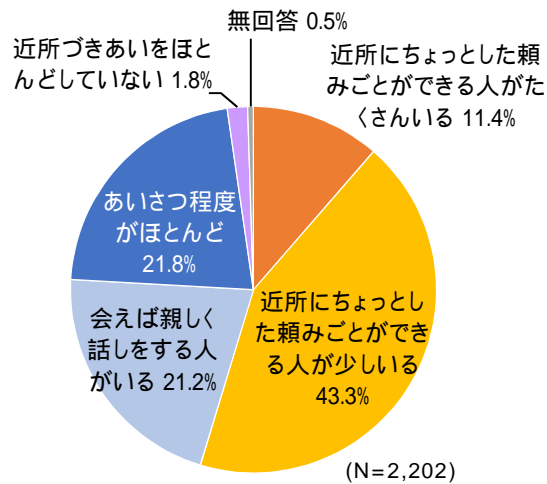


【保護者 - 問 34】

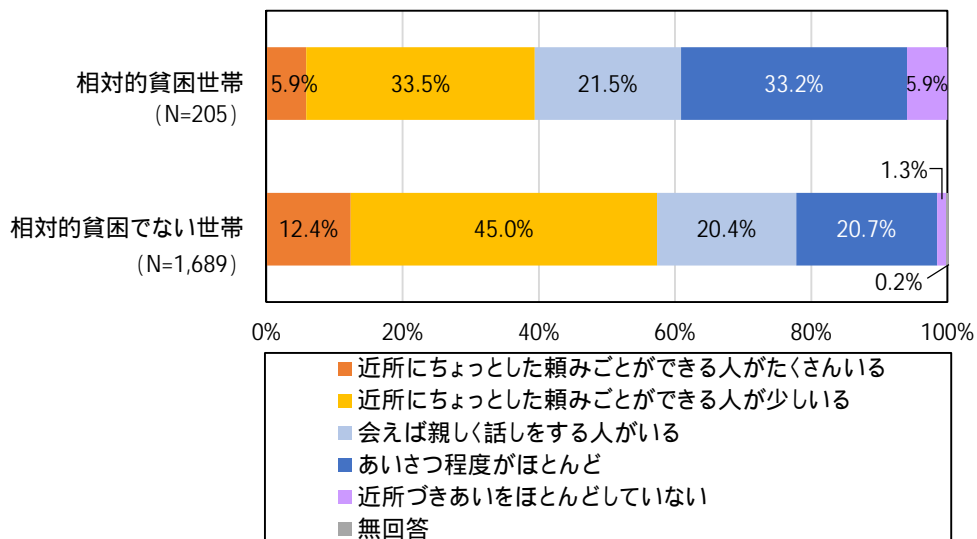
あなたのご家庭は、近所づきあいがありますか。

「近所にちょっとした頼みごとができる人が少しいる」が最も多く 43.3%、次いで「あいさつ程度がほとんど」が 21.8%であった。

相対的貧困世帯は、「近所にちょっとした頼みごとができる人がたくさんいる」と「近所にちょっとした頼みごとができる人が少しいる」を合わせた『近所づきあいがある』の割合が 39.4%であり、相対的貧困でない世帯の 57.4%よりも低くなっている。



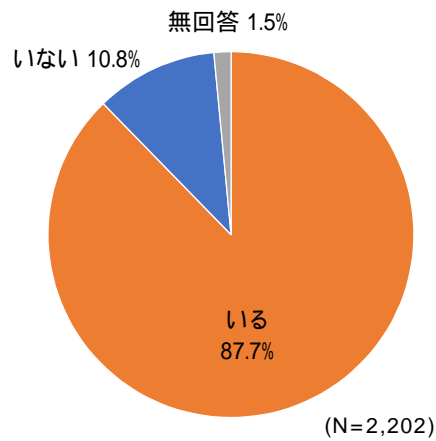
相対的貧困世帯とそうでない世帯のクロス集計



【保護者 - 問 38】

あなたには、緊急時などにお子さんを預かってくれたり、助けてくれる人がいますか。

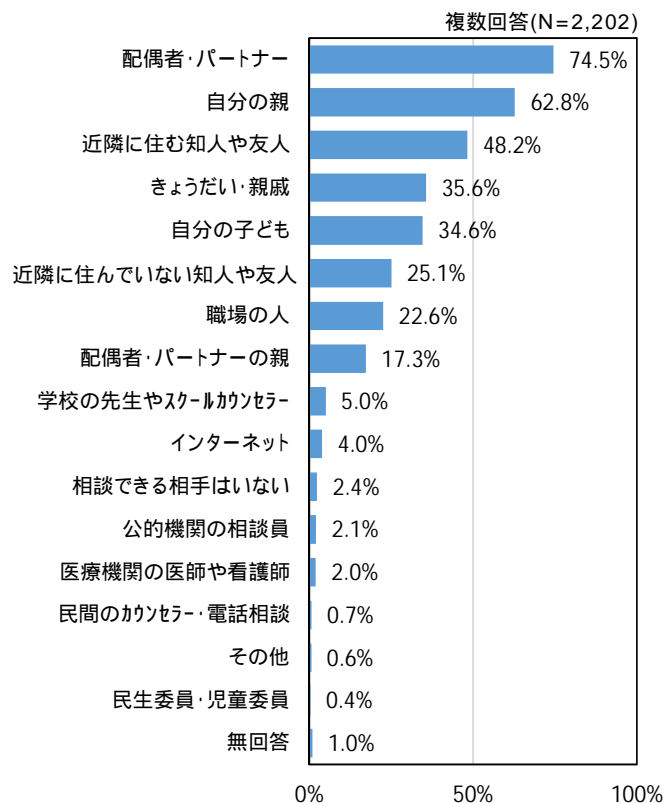
「いる」が 87.7%、「いない」が 10.8%であった。



【保護者 - 問 39】

現在、あなたが、なんでも相談できる相手は誰（なに）ですか。

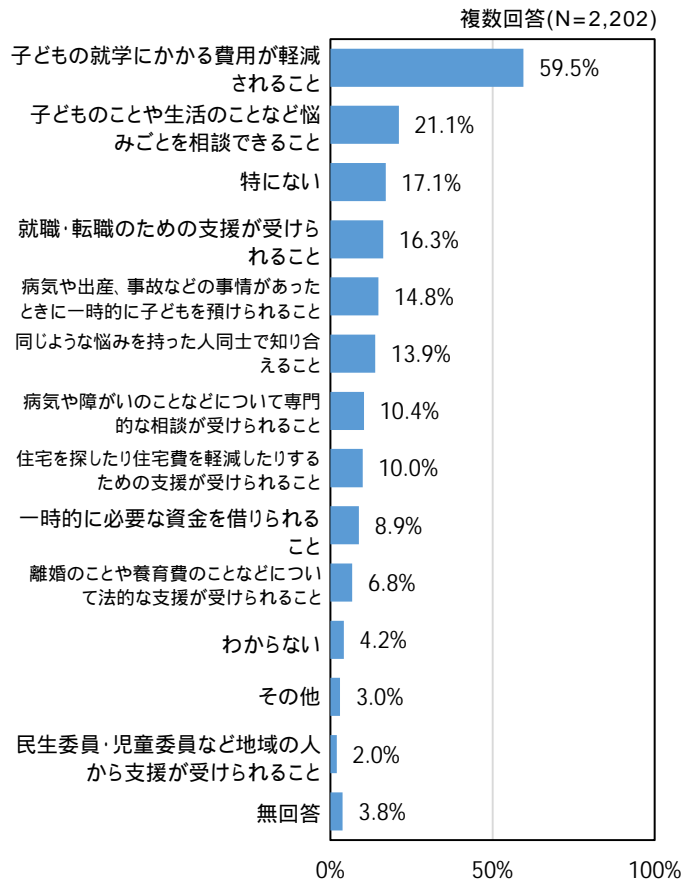
「配偶者・パートナー」が最も多く 74.5%、次いで「自分の親」が 62.8%であった。一方、「相談相手はいない」は 2.4%であった。



【保護者 - 問 40】

現在、あなたが必要としていること、重要だと思える支援などはどのようなものですか。

「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が最も多く 59.5%、次いで「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」が 21.1%であった。



(7) 保護者の状況に関する考察

【社会とのつながり】

- ・ 孤立感や疎外感を感じている保護者が約 20%いる。
- ・ 孤立感や疎外感を感じている保護者の割合は、相対的貧困世帯の方が、そうでない世帯に比べ高い。
- ・ あいさつ程度や近所づきあいをほとんどしていない保護者が約 24%いる。
- ・ 相対的貧困世帯の方が、そうでない世帯に比べ、近所づきあいが少ない。



これまでの考察にも記したが、一般に、相対的貧困世帯の保護者は、様々な事情から収入が少ないため、日常的に仕事や家事・育児にかかる時間を要し、近所づきあいや PTA 活動に参加する時間的・精神的余裕がない。このことから、ますます近所づきあい等が希薄となり、人間関係が構築しにくいと言われ、さらに、世帯の貧困状況や子どもの貧困状況を近所に知られることに対する心情的な抵抗感が強い。このことが、子どもの貧困を見えにくくしている要因でもあるが、本調査では、あいさつ程度を含め近所づきあいをほとんどしていない保護者は、4 人に 1 人存在し、孤立感や疎外感を感じている保護者は 5 人に 1 人存在した。

また、前出の子どもに関する問 31 の調査結果において、ほぼ同率の 5 人に 1 人が孤立感を感じていたことから、子どもたちにとって何らかの影響があると考えられ、保護者を孤立しないようにすることも、貧困による子どもへの影響を少なくするうえで重要な課題であると考えられる。

(8) 自由意見

【児童・生徒 - 問 34】

ふだんの生活で感じていることや、このアンケートについて思ったことなどがあれば自由に書いてください。

児童・生徒の自由記述回答の総件数は 251 件であった。その中の特徴的な意見は以下の通り。

家庭や学校での生活について

- ・私の家族は皆が仲良くいつも笑顔がたえない。怒ると怖い。家や学校での生活がとても楽しい。
- ・いつも家族に世話をしてもらって、とてもうれしいし、とても幸せだと思う。
- ・両親がよくケンカをするので、嫌だなあとすることがある。
- ・先生が授業で相談をよく聞いてくれてとても話しやすく、思ったことはすぐに言うことができる。
- ・最近いじめが増えたような気がする。
- ・頑張っている良いことがないから、頑張る気が失せる。 等

勉強・習い事・部活動について

- ・夜に復習をしていて、それが長引くと寝る時間がなくなるので困っている。
- ・毎日習い事があり友達と遊ぶ暇が全然ない。もっと遊びたい。
- ・部活と勉強の両立の仕方が分からない。 等

遊び場・放課後の居場所について

- ・学校で「外で遊びなさい」と言われて、近所の公園で遊ぶと、「小さい子がいるから他で遊んで」と言われ、仕方なく家の前で遊んでいると学校にクレームが入ってしまう等、遊ぶところがない。
- ・放課後に塾のようなものがあったら良いと思う。自分が行ける日に行って、分からないところを教えてもらえるようなもの。 等

人間関係について

- ・友達ができない。
- ・学校で苦手な相手がいる。その子がたまに意地悪をしてくるが、どうしたらいいか分からない。
- ・中学校は、小学校と違って規則や友達関係が複雑になって、部活でも先輩との関係がよくわからなかったりすることがストレスになっていると思う。
- ・人に相談するのが苦手で、自分でためこんでしまうため、嫌だったことを相談したためしがない。本音を話して否定されるのが怖い。 等

学校や行政への要望

- ・ボール遊びのできる公園を増やして欲しい。
- ・小学校の給食はおいしい。中学校も給食にしてほしい。姉がお弁当は、夏は腐るし、冬は冷たくておいしくないから、温かいものが食べたいと言っていた。
- ・兵庫県や徳島県の一部の市で配られている「ノビノビパスポート」を川西市も入れてほしい。
- ・学校の教室が暑い。今年クーラーがつくと聞いたが、早めにつけてくれるとありがたい。
- ・世の中には、お金がなくて塾に行けない子どもや、勉強したくても問題集が買えない子どもたちがたくさんいる。塾や問題集にも補助金を出してほしい。 等

このアンケートについて

- ・我慢していることや言いたいことを伝えられていいことだと思う。
- ・このアンケートに答えることで、色々と振り返ることができて良かった。
- ・何故このようなアンケートをしないといけないのか。 等

その他

- ・私は、パパとママの子どもに生まれて良かったと感じている。
- ・日本に生まれて良かったと思う。ほかの国だと貧しい人もいるから。地球中が幸せになってほしいと願っている。 等

【保護者 - 問 41】

お子さんとの現在の生活やこれからの暮らしについて感じていることや、このアンケートについて思ったことなどがあればご自由にお書きください。

保護者の自由記述回答の総件数は 506 件であった。その中の特徴的な意見は以下の通り。

子育てにかかる費用について

【教育費・進学費用】

- ・高校進学や大学進学の際の入学費用が心配。普段の生活費を貯金に回せない。教育は大切なのでお金をかけたいが、教育にかかる費用がもっと安くなってほしい。
- ・生活費が足りず、学校に払うお金が期限までに払えないことがある。
- ・ひとり親家庭では、これからの生活や子どもの進学費用など、不安定で不安である。
- ・収入の差で受けることができる教育（習い事含む）の選択が狭められることは残念。
- ・子どもの教育費用を、市に支援してもらえると将来への不安が軽減されると思う。
- ・人並みに塾に行かせることができず、子どもにも貧困を引き継ぐ結果となりそうだ。 等

【その他の生活費】

- ・生活費が足りないため、旅行や遊園地などに連れて行くことができない。申し訳なく思っている。
- ・周りの子と比べると、金銭面で我慢させていることがあるのは事実。しかし、何でも与えることが良いとも思っていない。
- ・子どもたちに対してできることには限りがあるので、何を与えて何を与えないのか、大人がしっかりと見極め、本当の豊かさとは何かを愛情を持って教えてあげたいと思いながら子育てをしている。
- ・色々な児童向け補助制度が年収制限ぎりぎりを受けられないことがあり、納得いかない思いがある。
- ・こども医療費等、子どもに関する市の手当等が良くなる事は大変嬉しい。今後ももっと手厚くして頂ければ嬉しい。 等

就労について

- ・子どもにまだ手がかかり、私が働く事が困難な状態。
- ・パートをしているが、子どものことを考えると、長時間働くのは難しい。
- ・実家は近所ではないため、子どもが病気等で急に学校を欠席する時など、みてもらうことが難しく、仕事を急に休むことも難しいので悩むことがある。
- ・再就職する時、家族のことを考えると、自分がやりたい仕事が出来ないことがあるので残念に思う。
- ・子どもたちがやりたいと思ったことは何でもチャレンジさせてやりたい。そのために母親も働くことが必要だと思っている。子どもと過ごす時間は少なくなるが、その分、一緒にいる時は楽しく過ごせるよう努力している。
- ・母子家庭なので、病気やケガで働けなくなった時の生活が心配。 等

子どもについて

【親子の関わり】

- ・子どもたちが小さい頃からずっと正社員で働いており、経済的な不便をかけたことはないが、いつも忙しく一緒にいる時間が少なくて申し訳なく思う事はある。
- ・子どもと遊ぶ時間があると良いが、通勤に時間がかかったり、体力的に休みたかったりで、十分な時間が取れない。
- ・母子家庭で生活が苦しく働いているので、子どもとあまり関われない。
- ・反抗期で毎日がつらい。暴言を平気で言ってくる。
- ・スマホですっとゲームをしたり、動画を見たりしており、そのことでよくケンカになるのが悩み。 等

【学力・進学】

- ・塾に行くには経済的に困難な家庭も沢山ある為、学校でしっかり理解できるよう指導してほしい。
- ・家庭で勉強を見てあげたいが、忙しくて見てあげられない。塾へ行く余裕もないので、子どもの学力が低いように思う。
- ・学力レベルの向上のための取り組みはないのか。支援制度だけではなく、根本となる部分(勉強方法、教育方針など学校に頼れる仕組み作り)の検討にもっと力を入れて欲しい。
- ・子どもが登校できていないため、将来が全く見えず心配。 等

【居場所】

- ・小学生になると子どもを預ける場所がない。学校が休み中でも仕事があり、子どもだけで留守番させることになり不安。
- ・共働き世帯にとっては、小学生の放課後の安全な居場所は切実に欲しい。
- ・放課後、学校内に子どもの居場所や勉強できる場所があれば助かる。特に勉強や宿題は、教師OBや学生に見てもらえる所をつくってもらいたい。

- ・孤食など、寂しい思いをしているお子さん向けの支援があれば良いと思う。
- ・各地域に子どもが集まり楽しめる場所があればうれしい。
- ・子どもを預けられる場所などが増えることは有り難いですが、そういう施設が充実することに比例して働く人が多くなり、結果として子どもたちを放置してしまう。 等

【遊び場】

- ・子どもたちが家の中やゲーム機などバーチャルな世界の遊びにたよる時代になってきているので、自然に触れ心身共に学んだり、遊んだりしながら生きる力をつけていける場が増えてほしい。
- ・近隣の公園でボール遊びが制限されており、残念に思う。 等

このアンケートについて

- ・すべての子どもたちが安心して日々暮らせるよう、このようなアンケートはとても大切だと思う。
- ・アンケートに答えていくと、子どもの環境や暮らしについて考えることができたので良いと思う。
- ・周りに貧困で苦しんでいる方がいるかも、将来的に自分の家庭も金銭的に困ることがあるかも、と考えさせられた。
- ・子どもがよく手伝いをしてくれ助けられているので、大人のように扱っていた。このアンケートを通じて、忙しい毎日の中でも話を聞いてあげないといけなさと反省した。
- ・このアンケートは、各家庭の実態を知る手がかりになるだろうが、それは氷山の一角だと思う。 等

その他

【給食】

- ・中学校で給食を実施してほしい。お弁当を用意するのは時間的にも経済的に負担が大きい。 等

【PTA】

- ・PTAのため、仕事を休むように言われるが、休める会社ばかりでない。また、休むと収入が減る、休みすぎると仕事場で居づらい等、ひとり親家庭には精神的・経済的負担が大きい。 等

【近所づきあい】

- ・なかなか近所のつき合いがない時代だが、何かあった場合など、今の時代だからこそ、近所づき合いが大切だと感じている。
- ・近所にそれほど親しい人がおらず、働いてもいないので、寂しさや不安を感じる。ちょっとした相談ができる所を教えて欲しい。 等

【その他】

- ・高齢の親の介護と、子育てとの両立を難しく感じることもある。
- ・高齢者に対するヘルパーはよく耳にするが、母子家庭の子どもに対するヘルパーを安く利用できれば心強い。
- ・子どもに発達障害があるが、軽度のため周囲の理解を得ることができないのがもどかしい。
- ・経済的な理由で子どもを産まないというのはおかしいと思う。たくさん子どもがいても、幸せに暮らせる社会を望む。
- ・貧困といっても、いい車に乗っていたり、スマホを持っていたり、自分のことにお金を使っている人も多いと思う。
- ・児童館をよく利用しているが、とても古いので建て替えをして欲しい。 等

4. 考察（総括）

（1）川西市の子どもの貧困の状況

本調査結果より、本市の子どもの貧困率は9.3%と算出され、また、税や公共料金等の支払いができなかった経験や生活必需品の購入ができなかった経験等、通常の社会生活を送ることが困難な状況が一部世帯において実態として存在していることが明らかとなった。

また、世帯の経済状況は、保護者の収入に大きく左右されるため、保護者が一定の収入を得るために仕事等で忙しく、家にいない時間が多いことや、仕事疲れから子どもと関わる時間が少なくなってしまう、教育的な働きかけの頻度が低くなっている状況が確認できた。

さらに、仕事に加えて、家事や育児等への負担も大きく、近所づきあいをする時間的・精神的余裕もないことから、人間関係が狭くなり、地域・社会から孤立してしまっている状況も一部世帯で見られた。

（2）貧困の子どもへの影響と世代間連鎖

子どもの貧困は、経済的困窮を中心として問題を捉えてしまうことが多いが、貧困は経済的な問題だけに留まらず、子どもの健康や学力・進学への影響、低い自己肯定感や孤立、保護者の労働環境やストレスへの影響、社会からの孤立等、複合的な困難をもたらす可能性がある。それらは、社会において通常経験できるようなライフチャンスを奪っていく場合もあり、子どもの貧困は、経済的な支援だけでなく、様々な視点からの支援が重要となってくる。

また、子どもに経験した複合的な困難は、成長した後も影響をもたらし、そして、次世代の子どもの貧困へと連鎖する可能性があり、この連鎖をどのように断ち切るかが子どもの貧困を考えるうえで重要な視点となる。

(3) 川西市における貧困問題への取組みについて

本市の子どもの貧困問題への取り組みを始めるにあたって、まずは本調査を実施し、基本的な情報や市民の声を集めることができた。

調査結果より、相対的貧困世帯やそれに近い状況の世帯では、保護者が仕事を含め家事や育児等で忙しく、家庭でゆとりをもって子どもと接する時間が少ない状況にあることを踏まえると、保護者だけが子育てを担うのではなく、地域で子どもを育てていくことも重要な視点と考えられる。

一方、保護者に対する問いの中で、どんな支援を必要としているかを具体的に聞いているが、義務教育にかかる経費は、既存の公的補助制度などがあるにもかかわらず、「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が、約60%で最も多く、義務教育対象者であっても、その経済的負担感が切実であることを示唆している。

(8) 自由意見からも読み取ることが出来るが、将来の進学時の経済的不安感や既存制度の隙間に対する不満感など、今後、さらに詳細な聞き取りを丁寧に実施する必要がある。

また、子どもの貧困は、困難な課題が複雑に絡み合ったケースが多いため、その対策には行政の支援のみならず、複合的な資源の投入や活用が求められる。

これらのことを踏まえ、適宜適切な対応を実践するためには、子どもの育ちや学びに関わる資源を可視化して、活用可能なものにしていく必要があり、ボランティアやNPO等民間団体の行う活動も含めて、多様な主体が連携・協力し、地域づくりや人づくりを進めることが今後求められる。

なお、地域や人づくりには、主体となるリーダーを見つけ、育てることが必要であるが、市民参画を前提にしたこれらの対策は、担い手がどうしても偏ってしまい、調整に多くの時間を要するため、どの自治体においても苦慮している。

新しい協力者を増やすための工夫と地道で丁寧な活動が、いま求められている。

ふだんの生活のことについて教えてください。

問5 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、だいたい何時ごろに起きますか。
(あてはまるもの1つに○)

1. 午前6時より前
2. 午前6時～6時29分
3. 午前6時30分～6時59分
4. 午前7時～7時29分
5. 午前7時30分～7時59分
6. 午前8時～8時29分
7. 午前8時30分以降

問6 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、だいたい何時ごろに寝ますか。
(あてはまるもの1つに○)

1. 午後9時より前
2. 午後9時～9時29分
3. 午後9時30分～9時59分
4. 午後10時～10時29分
5. 午後10時30分～10時59分
6. 午後11時～11時29分
7. 午後11時30分～11時59分
8. 午前0時～0時29分
9. 午前0時30分～0時59分
10. 午前1時以降

問7 あなたは、歯みがきをどのくらいしますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 1日2回以上歯みがきをする
2. 1日1回は歯みがきをする
3. ときどき歯みがきをする
4. (ほとんど)歯みがきはしない

問8 あなたは、むし歯がありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 1～3本ある
2. 4本以上ある
3. むし歯はない
4. わからない

問9 あなたは、朝ごはんを毎日食べていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 毎日食べる(週に6～7回)
2. 週に4～5回
3. 週に2～3回
4. 週に1回程度
5. 食べない(問11へ進んでください)

問10 あなたは、朝ごはんをひとりで食べることがありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない
4. まったくない

問11 あなたは、夕ごはんを毎日食べていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 毎日食べる(週に6～7回)
2. 週に4～5回
3. 週に2～3回
4. 週に1回程度
5. 食べない(問13へ進んでください)

問12 あなたは、夕ごはんをひとりで食べることがありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない
4. まったくない

問13 あなたは、学校が休みの日に昼ごはんを食べますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 食べる
2. ときどき食べる
3. あまり食べない
4. 食べない

学校や勉強のことについて教えてください。

問14 あなたは、学校にいる時間が楽しいですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 楽しい
2. どちらかといえば楽しい
3. どちらかといえば楽しくない
4. 楽しくない

問15 あなたは、学校の授業の内容がわかりますか。(あてはまるもの1つに○)

1. よくわかる
2. だいたいわかる
3. どちらともいえない
4. あまりわからない
5. よくわからない

問16 あなたの成績は、学年の中でどのくらいですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 上のほう
2. やや上のほう
3. まん中あたり
4. やや下のほう
5. 下のほう
6. わからない

問17 あなたは、将来、どの学校まで進学したいと思えますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 中学校
2. 高等学校
3. 短期大学、高等専門学校
4. 専修・専門学校 (高校卒業後に進学する学校)
5. 大学
6. 大学院
7. その他 ()
8. わからない

放課後のことについて教えてください。

問18 あなたは、放課後は、誰と過ごすことが多いですか。(特にあてはまるもの1つに○)

1. 家族のおとな
2. きょうだい
3. 学校の先生
4. 部活動の先生
5. 家族・学校や部活動の先生以外のおとな
6. 学校の友だち (部活動の友だち以外)
7. 部活動の友だち
8. 学校以外の友だち
9. 一人ている
10. その他 ()

問19 あなたは、放課後は、どのように過ごすことが多いですか。(特にあてはまるもの3つまで○)

1. まっすぐ帰る、自分の家で、一人で過ごす
2. まっすぐ帰る、自分の家で、家族と過ごす
3. 児童館、留守家庭児童育成クラブや放課後子ども教室などに行く
4. 友だちと遊ぶ
5. 塾や習い事に行く
6. 学校の部活動に参加する
7. ゲームセンターや繁華街へ遊びに行く
8. 家事をする、家の仕事 (お店など) を手伝う
9. その他 ()



質問は残り半分だよ。
がんばろう！

© NHK 2008

問20 あなたは、放課後に、遊びや勉強の場所として①～⑤の施設が使えるとしたら、使いたいと思えますか。(①～⑤それぞれについて、あてはまるものを1つずつ○)

	使いたい	わからぬ	使いたくない
① 公民館の児童やロビーマタは図書室	1	2	3
② 児童館	1	2	3
③ 学校の空き教室または学校の図書室	1	2	3
④ 学校の運動場	1	2	3
⑤ その他の施設	1	2	3

その他施設で『使いたい』を選んだ人は、具体的に施設の名称を書いてください。
(例えば、「子ども食堂」など地域の居場所)

問21 あなたは、放課後に、自分の家以外で、遊んだり勉強したりできる場所があれば、何時ごろまで使いたいと思えますか。(あてはまるものを1つに○)

1. 17時	2. 17時半	3. 18時	4. 18時半
5. 19時	6. 19時半	7. 20時	8. 20時半
9. 21時以降	10. その他 ()		

問22 現在、あなたは、塾に行ったり習い事をしていたりしていますか。(あてはまるものをすべてに○)

1. 学習塾・進学塾	2. 家庭教師
3. 英会話・そろばんなどの勉強	4. 通信教育
5. スポーツ (水泳、野球、サッカー、武道など)	6. 絵画、音楽、ダンス、茶道など
7. その他 ()	8. 塾や、習い事に行っていない

問23 あなたは、どんな習い事をしてみたいですか。現在、あなたが通っている塾や習い事以外で答えてください。(あてはまるものをすべてに○)

1. 学習塾・進学塾	2. 家庭教師
3. 英会話・そろばんなどの勉強	4. 通信教育
5. スポーツ (水泳、野球、サッカー、武道など)	6. 絵画、音楽、ダンス、茶道など
7. その他 ()	8. 塾や、習い事は行きたくない

問24 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、学校の授業時間以外に1日あたりどのくらいの時間、勉強をしていますか。(あてはまるものを1つに○)

1. 5時間以上	2. 4時間以上、5時間より少ない
3. 3時間以上、4時間より少ない	4. 2時間以上、3時間より少ない
5. 1時間以上、2時間より少ない	6. 30分以上、1時間より少ない
7. 30分より少ない	8. まったくしない

問25 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、1日あたりどのくらいの時間、テレビをみたり、ゲームをしたりしますか。ゲームは、コンピューターゲーム、携帯ゲーム、スマートフォンやパソコンなどを使ったゲームも含みます。

(①～④それぞれについて、あてはまるものを1つずつ○)

	4時間以上	3時間以上 4時間より 少ない	2時間以上 3時間より 少ない	1時間以上 2時間より 少ない	1時間より 少ない	まったく 見ない・ しない
① テレビやビデオ・DVDをみる	1	2	3	4	5	6
② ゲームをする	1	2	3	4	5	6
③ 携帯電話やスマートフォンで 電話やメール	1	2	3	4	5	6
④ インターネット (ゲーム以外)	1	2	3	4	5	6

問26 あなたは父親や母親に代わって家事をしたり、家族の世話をしたりすることがありますか。(あてはまるものを1つに○)

1. よくある	2. ときどきある	3. あまりない	4. まったくない
---------	-----------	----------	-----------

あなたや家族のことについて教えてください。

- 問27 過去1年間に、あなたは、家族と次のようなことをすることがありましたか。
(あてはまるものすべてに○)
- 1. 本や絵本を読んでもらう
 - 2. 手作りのおやつを作る
 - 3. 新聞やニュースについて話をする
 - 4. インターネットを使って調べものをする
 - 5. ショッピングや食事に行く
 - 6. 泊まりがけで家族旅行に行く
 - 7. 日帰りで遊園地や温泉などに行く
 - 8. 映画・コンサート・音楽会などに行く
 - 9. 図書館・博物館・動物園・水族館などに行く
 - 10. 学校行事（入学式・運動会など）に来てもらう
11. あてはまるものはない

問28 過去1年間に、あなたは、あなたの住んでいる地域で、次のような活動に参加することがありましたか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 地域の行事・イベント（子ども会、地域の運動会やクリスマス会など）
- 2. 近所のお祭り
- 3. 公園や道路などの掃除、地域の避難訓練など
- 4. 児童館、公民館などで行われる講座や教室
- 5. どれにも参加したり、行ったりしてない



©JHJHPH 2008

問29 現在、あなたは、悩んでいることや心配なこと、困っていること、誰かに相談したいと感じていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 学校での生活のこと
- 2. 友だちのこと
- 3. 家族のこと
- 4. 勉強のこと
- 5. 家での生活のこと
- 6. 塾や習い事のこと
- 7. その他（ ）
- 8. 相談したいことはない

問30 悩んでいることや心配なことを、話したり、相談したりできる相手は誰ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1. 家族のおとな
- 2. きょうだい
- 3. 学校の先生
- 4. 学校の友だち
- 5. 学校以外の友だち
- 6. 家族・学校の先生以外のおとな
- 7. その他（ ）
- 8. 相談できる人はいない

問31 あなたは、学校や家で、仲間はずれや一人ぼっちで寂しいと感じることがありますか。
(あてはまるもの1つに○)

- 1. よく感じる
- 2. ときどき感じる
- 3. あまり感じない
- 4. まったく感じない

問32 あなたは、ふだんの生活の中で次のことがどのくらいできますか。
 (①～⑤のそれぞれについて、あてはまるものを1つずつ○)

	できる	どちらかとい えはできる	どちらかとい えはできない	できない
① 自分の考えを人に説明する	1	2	3	4
② 人の話をよく聞く	1	2	3	4
③ よく知らない人と会話を する	1	2	3	4
④ 周りの人をまとめて ひびいていく	1	2	3	4
⑤ 面白いことを 言っておもしろ くさせる	1	2	3	4

問33 あなたは、自分自身のことをどう思いますか。

(①～③のそれぞれについて、あてはまるものを1つずつ○)

	そう思う	どちらかとい えはそう思う	どちらかとい えはそう思わ ない	そう思わ ない
① 自分にはよいところがある と思う	1	2	3	4
② 自分には将来の夢や目標が ある	1	2	3	4
③ がんばれば、いいところ がある	1	2	3	4

問34 ふだんの生活で感じていることや、このアンケートについて思ったことなどがあれば自由に書
いてください。(書きたいことがなければ何も書かなくてもいいです。)



アンケートはここで終わりです。
最後まで回答してくれてありがとうございます！

©IITM 2008

ご家族のことについてお伺いします。

問7 お子さんの家族は、あなたを含めて何人ですか。(人数を〔 〕内に記入)

※単身赴任・入院・入所の方など、家計を一掃にしたり、定期的に帰宅する方は家族の人数に含めて回答してください。

家族の人数 (あなたを含めて) () 人

問8 平成29年4月1日時点での、お子さんと、お子さんのきょうだい(兄・姉・弟・妹)の人数を、年齢別にお答えください。(人数を〔 〕内に記入)

※調査対象である「小学5年生」または「中学2年生」のお子さんも含めた人数をご記入ください。

0～5歳 () 人 6～11歳 () 人

12～14歳 () 人 15歳以上 () 人

問9 お子さんの父親・母親の最終学歴についてお答えください。(あてはまるものを1つずつ○)

父親

- 1. 中学校卒業
- 2. 高等学校中退
- 3. 高等学校卒業
- 4. 短期大学・高等専門学校卒業
- 5. 専修・専門学校卒業 (高校卒業後に進学する学校)
- 6. 大学中退
- 7. 大学卒業
- 8. 大学院修了
- 9. その他 () 10. わからない
- 11. 父親はいない

母親

- 1. 中学校卒業
- 2. 高等学校中退
- 3. 高等学校卒業
- 4. 短期大学・高等専門学校卒業
- 5. 専修・専門学校卒業 (高校卒業後に進学する学校)
- 6. 大学中退
- 7. 大学卒業
- 8. 大学院修了
- 9. その他 () 10. わからない
- 11. 母親はいない

問10 お子さんの父親・母親の現在の職業についてお答えください。(あてはまるものを1つずつ○)

父親

- 1. 正社員・正規職員
- 2. 契約社員・派遣社員・嘱託・準社員など
- 3. パート・アルバイト
- 4. 自営業・家業
- 5. 内職
- 6. その他 ()
- 7. わからない
- 8. 働いていない
- 9. 父親はいない

母親

- 1. 正社員・正規職員
- 2. 契約社員・派遣社員・嘱託・準社員など
- 3. パート・アルバイト
- 4. 自営業・家業
- 5. 内職
- 6. その他 ()
- 7. わからない
- 8. 働いていない
- 9. 母親はいない

お子さんのことについてお伺いします。

問11 現在、あなたのお子さんは、どこの学校に通っていますか。(あてはまるものを1つに○)

- 1. 久代小学校
- 2. 加茂小学校
- 3. 川西小学校
- 4. 桜が丘小学校
- 5. 川西北小学校
- 6. 明峰小学校
- 7. 多田小学校
- 8. 多田東小学校
- 9. 緑台小学校
- 10. 陽明小学校
- 11. 清和台小学校
- 12. 清和台南小学校
- 13. けやき坂小学校
- 14. 東谷小学校
- 15. 牧の台小学校
- 16. 北陵小学校
- 17. 川西南中学校
- 18. 川西中学校
- 19. 明峰中学校
- 20. 多田中学校
- 21. 緑台中学校
- 22. 清和台中学校
- 23. 東谷中学校
- 24. 川西養護学校
- 25. 国立の小学校
- 26. 国立の中学校
- 27. 私立の小学校
- 28. 私立の中学校
- 29. その他 ()

問 12 あなたは、将来、お子さんにどこまで就学してほしいと思いますか。
(あてはまるもの1つに○)

1. 中学校
2. 高等学校
3. 短期大学、高等専門学校
4. 専修、専門学校 (高校卒業後に進学する学校)
5. 大学
6. 大学院
7. その他 ()
8. わからない

問 13 学校の先生と子どもを話しますか。(あてはまるもの1つに○)

1. よく話す
2. ときどき話す
3. あまり話さない
4. まったく話さない

問 14 放課後に、お子さんはどのように過ごしていますか。(特にあてはまるもの3つまで○)

1. まっすぐ帰り、自分の家で、一人で過ごす
2. まっすぐ帰り、自分の家で、家族と過ごす
3. 児童館、留守家庭児童育成クラブや放課後子ども教室など、市などが用意する居場所にいる
4. 友だちと遊ぶ
5. 塾や習い事に行く
6. 学校の部活動に参加する
7. ゲームセンターや繁華街へ遊びに行く
8. 家事をする、作業を手伝う
9. その他 ()

問 15 放課後に、お子さんがどのように過ごしてほしいと思いますか。
(特にあてはまるもの3つまで○)

1. まっすぐ帰り、自分の家で、一人で過ごす
2. まっすぐ帰り、自分の家で、家族と過ごす
3. 児童館、留守家庭児童育成クラブや放課後子ども教室など、市などが用意する居場所にいる
4. 友だちと遊ぶ
5. 塾や習い事に行く
6. 学校の部活動に参加する
7. ゲームセンターや繁華街へ遊びに行く
8. 家事をする、作業を手伝う
9. その他 ()

問 16 放課後、家以外でお子さんが過ごす場合、その場所は何時頃まで利用できるかと思いま
すか。(あてはまるもの1つに○)

1. 17時
2. 17時半
3. 18時
4. 18時半
5. 19時
6. 19時半
7. 20時
8. 20時半
9. 21時以降
10. その他 ()

問 17 お子さんは、現在、塾に行ったり習い事をしたりしていますか。費用がかららないサークル活
動などは含めずにお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 学習塾・進学塾
2. 家庭教師
3. 英会話・そろばんなどの勉強
4. 通信教育
5. スポーツ (水泳、野球、サッカー、武道など)
6. 絵画・音楽・ダンス・茶道など
7. その他 ()
8. 塾や、習い事に行っていない

問 18 お子さんに、今後、どんな習い事をさせたいですか。現在通っている塾や習い事は含めずにお
答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 学習塾・進学塾
2. 家庭教師
3. 英会話・そろばんなどの勉強
4. 通信教育
5. スポーツ (水泳、野球、サッカー、武道など)
6. 絵画・音楽・ダンス・茶道など
7. その他 ()
8. 塾や、習い事に行かせたいと思わない

問 19 あなたは、お子さんと会話をしますか。(あてはまるもの1つに○)

1. よくする
2. ときどきする
3. あまりしない
4. まったくしない

問 20 あなたは、休日にお子さんと遊びますか。(あてはまるもの1つに○)

1. よく遊ぶ
2. ときどき遊ぶ
3. あまり遊ばない
4. まったく遊ばない

問 21 お子さんは、ふだんから朝・昼・夕の3食を食べていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 3食とも食べている
2. 朝食は食べていない
3. 昼食は食べていない
4. 夕食は食べていない
5. わからない
6. その他 ()

問 22 お子さんは、いつも朝食をどのように食べていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 家族そろって食べる 2. おどなの家族の誰かと食べる 3. 子どもだけで食べる
4. 一人で食べる 5. その他 ()

問 23 お子さんは、いつも夕食をどのように食べていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 家族そろって食べる 2. おどなの家族の誰かと食べる 3. 子どもだけで食べる
4. 一人で食べる 5. その他 ()

問 24 お子さんは、療育手帳や身体障害者手帳、精神障害者手帳をお持ちですか。

(あてはまるもの1つに○)

1. 持っている 2. 持っていない

暮らしの状況についてお伺いします。

問 25 平成 28 年 (2016 年) の家族全員の収入の合計額は、税込みでおよそいくらでしたか。

(あてはまるもの1つに○)

- ※家族全員とは、問 7 でお答えいただいた方全員のことで、
※月給や賞与などの働いて得た収入だけでなく、株式配当や副収入も合計してください。
※児童手当や就学奨励、生活保護などの公的な手当や援助は除いてください。

1. 50 万円未満 2. 50 万~100 万円未満 3. 100 万~150 万円未満
4. 150 万~200 万円未満 5. 200 万~250 万円未満 6. 250 万~300 万円未満
7. 300 万~350 万円未満 8. 350 万~400 万円未満 9. 400 万~450 万円未満
10. 450 万~500 万円未満 11. 500 万~550 万円未満 12. 550 万~600 万円未満
13. 600 万~650 万円未満 14. 650 万~700 万円未満 15. 700 万~750 万円未満
16. 750 万~800 万円未満 17. 800 万~850 万円未満 18. 850 万~900 万円未満
19. 900 万~950 万円未満 20. 950 万~1,000 万円未満 21. 1,000 万円以上
22. わからない

問 26 ご家族の生活費用の稼ぎ手となつているのは誰ですか。

お子さんからみられた順序でお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 父親 2. 母親 3. 兄・姉などきょうだい
4. 祖父 5. 祖母 6. おじ・おばなど親族
7. その他 () 8. 誰も働いていない

問 27 過去 1 年間に、次の手当や援助などを受けたことがありますか。

(①~⑤のそれぞれについて、あてはまるものを1つずつ○)

	受けている	受けたことがある	受けたことがない
① 就学援助、就学奨励※1	1	2	3
② 児童扶養手当※2	1	2	3
③ 障がい者の手当※3	1	2	3
④ 生活保護	1	2	3
⑤ 離婚後の配偶者からの養育費	1	2	3

※1 経済的な理由により学校給食費や学用品費などの支払いが困難な保護者に対し、申請にもとづいて費用の一部を援助する制度です。

※2 ひとり親世帯など (父または母が重度障がい者の場合を含む) で、18 歳 (中度以上の障がいのある児童は 20 歳) に達する日以降の最初の 3 月 31 日までの児童を養育している方に支給される手当です。

※3 障がい者理由とした手当には、特別児童扶養手当、特別障害者手当、障害児福祉手当などがあります。医療費の助成は除きます。

問 28 次のうち、経済的理由 (お金がなくて買えない、家が狭くて置けないなど) のために、あなたの家庭にないものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 冷蔵庫 2. 洗濯機 3. 掃除機
4. 電子レンジ 5. 暖房機器 6. 冷房機器
7. 世帯専用のお風呂 8. 世帯人数分の布団 9. 自転車、バイク
10. 子ども用のスポーツ用品・ぬいぐるみ・おもちゃ 11. 子どもの年齢にあった絵本や本
12. 子どもが自分で問題を解くことができる場所 13. コンピューターゲーム機
14. 固定電話、携帯電話 (スマートフォンを除く) 15. スマートフォン
16. 急な出費のための貯金 (5 万円以上) 17. あてはまるものはない

問 29 次のうち、過去1年間に、経済的理由のために、支払いができないことがありましたか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1. 学校・保育所・幼稚園などの授業料や保育料
- 2. 学校・保育所・幼稚園などの給食費、遠足や修学旅行の代金などの学校費取金
- 3. 通勤や通学に使うバスや電車の料金
- 4. 電話代（固定電話・携帯電話を含む）
- 5. 公的年金、健康保険・介護保険の支払い
- 6. 所得税や住民税
- 7. 家賃
- 8. 電気代
- 9. ガス代
- 10. 水道代
- 11. あてはまるものはない

問 30 過去1年間に、経済的理由のために、家族が必要とする「食料」、「衣料」、「文具や教材」が買えないことがありましたか。（嗜好品は含みません）
(①～③のそれぞれについて、あてはまるものを1つずつ○)

	よく あった	ときどき あった	あまり なかった	まったく なかった
① 家族が必要とする「食料」	1	2	3	4
② 家族が必要とする「衣料」	1	2	3	4
③ 子どもが必要とする「文具や教材」 (学校指定の制服や靴、部活動の道具を含む)	1	2	3	4

問 31 過去1年間に、子どもについて、病気や怪我の治療のために病院や診療所を受診したほうがよいと思っただのに、実際には受診しなかったことがありましたか。(あてはまるもの1つに○)

- 1. ある
- 2. ない

問 32 過去1年間に、あなたは、お子さんと次のようなことをすることがありましたか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1. 本や絵本を読んであげる
- 2. 手作りのおやつを作る
- 3. 新聞やニュースについて話をする
- 4. インターネットを使って調べものをする
- 5. ショッピングや食事に行く
- 6. 泊まりがけで家族旅行に行く
- 7. 日帰りで遊園地や温泉などに行く
- 8. 映画・コンサート・音楽会などに行く
- 9. 図書館・博物館・動物園・水族館などに行く
- 10. 学校行事（入学式・運動会など）に出席する
- 11. あてはまるものはない

問 33 過去1年間に、あなたは、お子さんと次のような地域の活動に参加することがありましたか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1. 地域の行事・イベント（子ども会、地域の運動会やクリスマス会など）
- 2. 近所のお祭り
- 3. 公園や道路などの掃除、地域の避難訓練など
- 4. 児童館、公民館などで行われる講座や教室
- 5. どれも参加したり、行ったりしていない

問 34 あなたのご家庭は、近所づきあいがありますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1. 近所にちよつとした頼みごとができる人がたくさんいる
- 2. 近所にちよつとした頼みごとができる人が少しいる
- 3. 会えば親しく話しをする人がいる
- 4. あいさつ程度がほとんど
- 5. 近所づきあいをほとんどしていない

あなた（保護者）が、ふだん感じていることなどについてお伺いします。

問 35 育児の疲れを感じることがありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. よく感じる 2. とさどき感じる 3. あまり感じない 4. まったく感じない

問 36 孤立感や社会からの疎外感を感じることがありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. よく感じる 2. とさどき感じる 3. あまり感じない 4. まったく感じない

問 37 お子さんに家事や家族の世話を頼むことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. よくある 2. とさどきある 3. あまりない 4. まったくない

問 38 あなたには、緊急時などにお子さんを預かってくれたり、助けてくれる人がいますか。

(あてはまるもの1つに○)

1. いる 2. いない

問 39 現在、あなたが、なんでも相談できる相手は誰(なに)ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者・パートナー 2. 自分の親
3. 配偶者・パートナーの親 4. きょうだい・親戚
5. 自分の子ども 6. 職場の人
7. 近隣に住む知人や友人 8. 近隣に住んでいない知人や友人
9. 学校の先生やスクールカウンセラー 10. 公的機関の相談員
11. 民間のカウンセラー・電話相談 12. 医療機関の医師や看護師
13. 民生委員・児童委員 14. インターネット
15. その他 ()
16. 相談できる相手はいない

問 40 現在、あなたが必要としていること、重要だと思ふ支援などはどのようなものですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること
2. 同じような悩みを持った人同士で知り合えること
3. 民生委員・児童委員など地域の人から支援が受けられること
4. 離婚のことや養育費のことなどについて法的な支援が受けられること
5. 病気や障がいのことなどについて専門的な相談が受けられること
6. 住宅を採したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること
7. 病気や出産、事故などの事件があったときに一時的に子どもを預けられること
8. 子どもの就学にかかる費用が軽減されること
9. 一時的に必要な資金を借りられること
10. 就職・転職のための支援が受けられること
11. その他 ()
12. 特にない 13. わからない

問 41 お子さんの現在の生活やこれからの暮らしについて感じていることや、このアンケートについて思ったことなどがあればご自由にお書きください。

～アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。～

(2) 集計表

a) 児童・生徒用

あなたのことについて教えてください。

問1 あなたの性別を選んでください。(あてはまるもの1つに)

項目	票数	割合
男	1,082	49.4%
女	1,097	50.1%
無回答	12	0.5%
計	2,191	100.0%

問2 現在のあなたの身長と体重を下の〔 〕の中に書いてください。

ローレル指数(体重÷身長³×107)を用いて整理した。

項目	票数	割合
やせ (ローレル指数: 100 未満)	128	5.8%
やせぎみ (ローレル指数: 100~115 未満)	751	34.3%
正常 (ローレル指数: 115~145 未満)	969	44.2%
肥満ぎみ (ローレル指数: 145~160 未満)	80	3.7%
肥満 (ローレル指数: 160 以上)	36	1.6%
無回答	227	10.4%
計	2,191	100.0%

【クロス集計】

項目	相対的貧困世帯		相対的貧困でない世帯	
	票数	割合	票数	割合
やせ (ローレル指数: 100 未満)	8	4.1%	99	6.2%
やせぎみ (ローレル指数: 100~115 未満)	69	35.0%	545	34.3%
正常 (ローレル指数: 115~145 未満)	80	40.6%	731	46.0%
肥満ぎみ (ローレル指数: 145~160 未満)	10	5.1%	59	3.7%
肥満 (ローレル指数: 160 以上)	6	3.0%	26	1.6%
無回答	24	12.2%	130	8.2%
計	197	100.0%	1590	100.0%

問3 現在、あなたは、どの学校に通っていますか。(あてはまるもの1つに)

項目	票数	割合	
小学校	南部	268	12.2%
	中部	502	22.9%
	北部	305	13.9%
	私立	17	0.8%
	国立	6	0.3%
	小計	1,098	50.1%
中学校	南部	195	8.9%
	中部	588	26.9%
	北部	257	11.7%
	私立	38	1.7%
	国立	10	0.5%
小計	1,088	49.7%	
その他	3	0.1%	
無回答	2	0.1%	
計	2,191	100.0%	

問4 あなたは、小学校に入学する前、幼稚園や保育所などに通っていましたか。(あてはまるものすべてに)

項目	票数	割合
幼稚園	1,780	81.2%
保育所	547	25.0%
わからない	11	0.5%
その他	27	1.2%
どこにも通っていない	3	0.1%
無回答	13	0.6%
計	2,381	-

ふだんの生活のことについて教えてください。

問5 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日） だいたい何時ごろに起きますか。（あてはまるもの1つに ）

項目	票数	割合
6時より前	198	9.0%
6時～6時29分	443	20.2%
6時半～6時59分	903	41.4%
7時～7時29分	581	26.5%
7時半～7時59分	51	2.3%
8時～8時29分	3	0.1%
8時半以降	5	0.2%
無回答	7	0.3%
計	2,191	100.0%

問6 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日） だいたい何時ごろに寝ますか。（あてはまるもの1つに ）

項目	票数	割合
21時より前	57	2.6%
21時～21時29分	198	9.0%
21時半～21時59分	367	16.8%
22時～22時29分	390	17.8%
22時半～22時59分	428	19.5%
23時～23時29分	302	13.8%
23時半～23時59分	237	10.8%
24時～24時29分	103	4.7%
24時半～24時59分	63	2.9%
25時以降	33	1.5%
無回答	13	0.6%
計	2,191	100.0%

問7 あなたは、歯みがきをどのくらいしますか。（あてはまるもの1つに ）

項目	票数	割合
1日2回以上歯みがきをする	1,430	65.3%
1日1回は歯みがきをする	670	30.6%
ときどき歯みがきをする	71	3.2%
ほとんど歯みがきはしない	13	0.6%
無回答	7	0.3%
計	2,191	100.0%

問8 あなたは、むし歯がありますか。（あてはまるもの1つに ）

項目	票数	割合
1～3本ある	304	13.9%
4本以上ある	29	1.3%
むし歯はない	1,425	65.0%
わからない	422	19.3%
無回答	11	0.5%
計	2,191	100.0%

【クロス集計】

項目	相対的貧困世帯		相対的貧困でない世帯	
	票数	割合	票数	割合
1～3本ある	30	15.2%	222	14.0%
4本以上ある	2	1.0%	22	1.4%
むし歯はない	113	57.4%	1052	66.1%
わからない	52	26.4%	287	18.1%
無回答	0	0.0%	7	0.4%
計	197	100.0%	1590	100.0%

問9 あなたは、朝ごはんを毎日食べていますか。(あてはまるもの1つに)

項目	票数	割合
毎日食べる(週に6~7回)	2,002	91.4%
週に4~5回	110	5.0%
週に2~3回	41	1.9%
週に1回程度	11	0.5%
食べない	22	1.0%
無回答	5	0.2%
計	2,191	100.0%

【クロス集計】

項目	相対的貧困世帯		相対的貧困でない世帯	
	票数	割合	票数	割合
毎日食べる(週に6~7回)	172	87.3%	1457	91.7%
週に4~5回	9	4.6%	82	5.2%
週に2~3回	6	3.0%	31	1.9%
週に1回程度	3	1.5%	8	0.5%
食べない	7	3.6%	10	0.6%
無回答	0	0.0%	2	0.1%
計	197	100.0%	1590	100.0%

問10 あなたは、朝ごはんをひとりで食べることがありますか。(あてはまるもの1つに)

問9 選択肢1~4のいずれかを選択した者、無回答者

項目	票数	割合
よくある	472	21.8%
ときどきある	334	15.4%
あまりない	413	19.0%
まったくない	942	43.4%
無回答	8	0.4%
計	2,169	100.0%

問11 あなたは、夕ごはんを毎日食べていますか。(あてはまるもの1つに)

項目	票数	割合
毎日食べる(週に6~7回)	2,150	98.1%
週に4~5回	23	1.0%
週に2~3回	1	0.1%
週に1回程度	4	0.2%
食べない	1	0.1%
無回答	12	0.5%
計	2,191	100.0%

【クロス集計】

項目	相対的貧困世帯		相対的貧困でない世帯	
	票数	割合	票数	割合
毎日食べる(週に6~7回)	190	96.5%	1569	98.6%
週に4~5回	6	3.0%	11	0.7%
週に2~3回	0	0.0%	0	0.0%
週に1回程度	0	0.0%	1	0.1%
食べない	0	0.0%	0	0.0%
無回答	1	0.5%	9	0.6%
計	197	100.0%	1590	100.0%

問12 あなたは、夕ごはんをひとりで食べることがありますか。(あてはまるもの1つに)

問11 選択肢1~4のいずれかを選択した者、無回答者

項目	票数	割合
よくある	105	4.8%
ときどきある	338	15.4%
あまりない	408	18.6%
まったくない	1,331	60.8%
無回答	8	0.4%
計	2,190	100.0%

問 13 あなたは、学校がお休みの日に昼ごはんを食べますか。(あてはまるもの1つに)

項目	票数	割合
食べる	2,078	94.8%
ときどき食べる	74	3.4%
あまり食べない	20	0.9%
食べない	8	0.4%
無回答	11	0.5%
計	2,191	100.0%

学校や勉強のことについて教えてください。

問 14 あなたは、学校にいる時間が楽しいですか。(あてはまるもの1つに)

項目	票数	割合
楽しい	1,308	59.7%
どちらかといえば楽しい	696	31.8%
どちらかといえば楽しくない	127	5.8%
楽しくない	53	2.4%
無回答	7	0.3%
計	2,191	100.0%

問 15 あなたは、学校の授業の内容がわかりますか。(あてはまるもの1つに)

項目	票数	割合
よくわかる	751	34.3%
だいたいわかる	1,066	48.6%
どちらともいえない	236	10.8%
あまりわからない	77	3.5%
よくわからない	56	2.6%
無回答	5	0.2%
計	2,191	100.0%

問 16 あなたの成績は、学年の中でどのくらいですか。(あてはまるもの1つに)

項目	票数	割合
上のほう	254	11.6%
やや上のほう	417	19.0%
まん中あたり	664	30.3%
やや下のほう	235	10.7%
下のほう	243	11.1%
わからない	357	16.3%
無回答	21	1.0%
計	2,191	100.0%

【クロス集計】

項目	相対的貧困世帯		相対的貧困でない世帯	
	票数	割合	票数	割合
上のほう	11	5.6%	213	13.4%
やや上のほう	28	14.2%	319	20.1%
まん中あたり	57	28.9%	480	30.2%
やや下のほう	22	11.2%	167	10.5%
下のほう	37	18.8%	169	10.6%
わからない	40	20.3%	228	14.3%
無回答	2	1.0%	14	0.9%
計	197	100.0%	1,590	100.0%

問 17 あなたは、将来、どの学校まで進学したいと思いますか。(あてはまるもの1つに)

項目	票数	割合
中学校	28	1.3%
高等学校	253	11.5%
短期大学、高等専門学校	62	2.8%
専修・専門学校	226	10.3%
大学	1,099	50.2%
大学院	87	4.0%
その他	13	0.6%
わからない	412	18.8%
無回答	11	0.5%
計	2,191	100.0%

【クロス集計】

項目	相対的貧困世帯		相対的貧困でない世帯	
	票数	割合	票数	割合
中学校	2	1.0%	21	1.3%
高等学校	44	22.3%	155	9.7%
短期大学、高等専門学校	5	2.5%	45	2.8%
専修・専門学校	23	11.7%	162	10.2%
大学	75	38.2%	841	52.9%
大学院	5	2.5%	66	4.2%
その他	0	0.0%	9	0.6%
わからない	42	21.3%	285	17.9%
無回答	1	0.5%	6	0.4%
計	197	100.0%	1590	100.0%

放課後のことについて教えてください。

問 18 あなたは、放課後は、誰と過ごすことが多いですか。(特にあてはまるもの1つに)

項目	票数	割合
家族のおとな	544	24.8%
きょうだい	214	9.8%
学校の先生	3	0.1%
部活動の先生	8	0.4%
家族・学校や部活動の先生以外のおとな	12	0.5%
学校の友だち	467	21.3%
部活動の友だち	658	30.1%
学校以外の友だち	42	1.9%
一人である	135	6.2%
その他	40	1.8%
無回答	68	3.1%
計	2,191	100.0%

問 19 あなたは、放課後は、どのように過ごすことが多いですか。

(特にあてはまるもの3つまで)

項目	票数	割合
まっすぐ帰り、自分の家で、一人で過ごす	391	17.8%
まっすぐ帰り、自分の家で、家族と過ごす	931	42.5%
児童館、留守家庭児童育成クラブや放課後子ども教室などに行く	36	1.6%
友だちと遊ぶ	879	40.1%
塾や習い事に行く	910	41.5%
学校の部活動に参加する	753	34.4%
ゲームセンターや繁華街へ遊びに行く	11	0.5%
家事をする、家の仕事(お店など)を手伝う	55	2.5%
その他	45	2.1%
無回答	10	0.5%
計	4,021	-

問 20 あなたは、放課後に、遊びや勉強の場所として ~ の施設が使えるとら、使いたいと思いますか。
 (~ それぞれについて、あてはまるものを1つずつ)

設問項目	票数					割合				
	使いたい	わからない	使いたくない	無回答	計	使いたい	わからない	使いたくない	無回答	計
公民館の部屋やロビーまたは図書室	907	653	529	102	2,191	41.4%	29.8%	24.1%	4.7%	100.0%
児童館	387	993	695	116	2,191	17.7%	45.3%	31.7%	5.3%	100.0%
学校の空き教室または学校の図書室	932	578	564	117	2,191	42.6%	26.4%	25.7%	5.3%	100.0%
学校の運動場	1,017	471	598	105	2,191	46.4%	21.5%	27.3%	4.8%	100.0%
その他の施設	175	1,080	519	417	2,191	8.0%	49.3%	23.7%	19.0%	100.0%

【クロス集計】

小学 5 年生

設問項目	使いたい		わからない		使いたくない	
	票数	割合	票数	割合	票数	割合
公民館の部屋やロビーまたは図書室	486	44.3%	302	27.5%	244	22.2%
児童館	272	24.8%	466	42.4%	282	25.7%
学校の空き教室または学校の図書室	487	44.4%	258	23.5%	278	25.3%
学校の運動場	600	54.7%	178	16.2%	256	23.3%
その他の施設	76	6.9%	512	46.7%	256	23.3%

中学 2 年生

設問項目	使いたい		わからない		使いたくない	
	票数	割合	票数	割合	票数	割合
公民館の部屋やロビーまたは図書室	419	38.5%	350	32.2%	285	26.2%
児童館	113	10.4%	526	48.3%	413	38.0%
学校の空き教室または学校の図書室	442	40.6%	320	29.4%	286	26.3%
学校の運動場	414	38.1%	293	26.9%	342	31.4%
その他の施設	98	9.0%	568	52.2%	263	24.2%

問 21 あなたは、放課後に、自分の家以外で、遊んだり勉強したりできる場所があれば、何時ごろまで使いたいと思いますか。(あてはまるもの1つに)

項目	票数	割合
17 時	335	15.3%
17 時半	396	18.1%
18 時	560	25.6%
18 時半	260	11.9%
19 時	193	8.8%
19 時半	99	4.5%
20 時	92	4.2%
20 時半	55	2.5%
21 時以降	94	4.3%
その他	71	3.2%
無回答	36	1.6%
計	2,191	100.0%

問22 現在、あなたは、塾に行ったり習い事をしたりしていますか。(あてはまるものすべてに)

項目	票数	割合
学習塾・進学塾	907	41.4%
家庭教師	38	1.7%
英会話・そろばんなどの勉強	499	22.8%
通信教育	223	10.2%
スポーツ	834	38.1%
絵画・音楽・ダンス・茶道など	460	21.0%
その他	209	9.5%
塾や、習い事に行っていない	336	15.3%
無回答	25	1.1%
計	3,531	-

問23 あなたは、どんな習い事をしてみたいですか。現在、あなたが通っている塾や習い事以外で教えてください。(あてはまるものすべてに)

項目	票数	割合
学習塾・進学塾	284	13.0%
家庭教師	85	3.9%
英会話・そろばんなどの勉強	229	10.5%
通信教育	84	3.8%
スポーツ	568	25.9%
絵画・音楽・ダンス・茶道など	502	22.9%
その他	118	5.4%
塾や、習い事は行きたくない	577	26.3%
無回答	158	7.2%
計	2,605	-

問24 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)学校の授業時間以外に1日あたりどのくらいの時間、勉強をしていますか。(あてはまるもの1つに)

項目	票数	割合
5時間以上	44	2.0%
4時間以上、5時間より少ない	35	1.6%
3時間以上、4時間より少ない	105	4.8%
2時間以上、3時間より少ない	266	12.1%
1時間以上、2時間より少ない	670	30.6%
30分以上、1時間より少ない	613	28.0%
30分より少ない	281	12.8%
まったくしない	146	6.7%
無回答	31	1.4%
計	2,191	100.0%

【クロス集計】

項目	相対的貧困世帯		相対的貧困でない世帯	
	票数	割合	票数	割合
5時間以上	2	1.0%	27	1.7%
4時間以上、5時間より少ない	1	0.5%	25	1.6%
3時間以上、4時間より少ない	9	4.6%	81	5.1%
2時間以上、3時間より少ない	17	8.6%	209	13.1%
1時間以上、2時間より少ない	58	29.4%	481	30.3%
30分以上、1時間より少ない	60	30.6%	450	28.3%
30分より少ない	28	14.2%	204	12.8%
まったくしない	18	9.1%	98	6.2%
無回答	4	2.0%	15	0.9%
計	197	100.0%	1590	100.0%

問25 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日) 1日あたりどのくらいの時間、テレビをみたり、ゲームをしたりしますか。ゲームは、コンピューターゲーム、携帯ゲーム、スマートフォンやパソコンなどを使ったゲームも含まれます。(~ それぞれについて、あてはまるものを1つずつ)

設問項目		4時間以上	3時間以上4時間より少ない	2時間以上3時間より少ない	1時間以上2時間より少ない	1時間より少ない	まったく見ない・しない	無回答	計
票数	テレビやビデオ・DVDをみる	219	193	416	685	504	117	57	2,191
	ゲームをする	137	116	200	497	675	510	56	2,191
	携帯電話やスマートフォンで電話やメール	66	52	122	202	674	997	78	2,191
	インターネット(ゲーム以外)	80	58	127	207	644	991	84	2,191
割合	テレビやビデオ・DVDをみる	10.0%	8.8%	19.0%	31.3%	23.0%	5.3%	2.6%	100.0%
	ゲームをする	6.3%	5.3%	9.1%	22.7%	30.7%	23.3%	2.6%	100.0%
	携帯電話やスマートフォンで電話やメール	3.0%	2.4%	5.6%	9.2%	30.8%	45.4%	3.6%	100.0%
	インターネット(ゲーム以外)	3.7%	2.6%	5.8%	9.4%	29.4%	45.3%	3.8%	100.0%

【クロス集計】

テレビやビデオ・DVDをみる

項目	相対的貧困世帯		相対的貧困でない世帯	
	票数	割合	票数	割合
4時間以上	29	14.7%	155	9.7%
3時間以上4時間より少ない	18	9.1%	149	9.4%
2時間以上3時間より少ない	34	17.3%	308	19.4%
1時間以上2時間より少ない	54	27.4%	493	31.0%
1時間より少ない	42	21.3%	373	23.5%
まったく見ない・しない	13	6.6%	85	5.3%
無回答	7	3.6%	27	1.7%
計	197	100.0%	1,590	100.0%

ゲームをする

項目	相対的貧困世帯		相対的貧困でない世帯	
	票数	割合	票数	割合
4時間以上	12	6.1%	98	6.2%
3時間以上4時間より少ない	11	5.6%	96	6.0%
2時間以上3時間より少ない	19	9.6%	143	9.0%
1時間以上2時間より少ない	48	24.4%	360	22.6%
1時間より少ない	59	29.9%	489	30.8%
まったく見ない・しない	40	20.3%	378	23.8%
無回答	8	4.1%	26	1.6%
計	197	100.0%	1,590	100.0%

携帯電話やスマートフォンで電話やメール

項目	相対的貧困世帯		相対的貧困でない世帯	
	票数	割合	票数	割合
4時間以上	8	4.1%	44	2.8%
3時間以上4時間より少ない	4	2.0%	40	2.5%
2時間以上3時間より少ない	9	4.6%	85	5.3%
1時間以上2時間より少ない	19	9.6%	151	9.5%
1時間より少ない	63	32.0%	492	30.9%
まったく見ない・しない	81	41.1%	736	46.4%
無回答	13	6.6%	42	2.6%
計	197	100.0%	1,590	100.0%

インターネット（ゲーム以外）

項目	相対的貧困世帯		相対的貧困でない世帯	
	票数	割合	票数	割合
4時間以上	7	3.6%	59	3.7%
3時間以上 4時間より少ない	5	2.5%	44	2.8%
2時間以上 3時間より少ない	8	4.1%	99	6.2%
1時間以上 2時間より少ない	30	15.2%	137	8.6%
1時間より少ない	48	24.4%	474	29.8%
まったく見ない・しない	86	43.7%	733	46.1%
無回答	13	6.6%	44	2.8%
計	197	100.1%	1,590	100.0%

問 26 あなたは父親や母親に代わって家事をしたり、家族の世話をしたりすることがありますか。

（あてはまるもの1つに ）

項目	票数	割合
よくある	239	10.9%
ときどきある	864	39.4%
あまりない	714	32.6%
まったくない	297	13.6%
無回答	77	3.5%
計	2,191	100.0%

あなたや家族のことについて教えてください。

問 27 過去1年間に、あなたは、家族と次のようなことをすることがありましたか。

（あてはまるものすべてに ）

項目	票数	割合
本や絵本を読んでもらう	306	14.0%
手作りのおやつを作る	1,101	50.3%
新聞やニュースについて話をする	1,158	52.9%
インターネットを使って調べものをする	1,155	52.7%
ショッピングや食事に行く	1,969	89.9%
泊まりがけで家族旅行に行く	1,395	63.7%
日帰りで遊園地や温泉などに行く	1,270	58.0%
映画・コンサート・音楽会などに行く	1,292	59.0%
図書館・博物館・動物園・水族館などに行く	1,160	52.9%
学校行事に来てもらう（入学式・運動会など）	1,876	85.6%
あてはまるものはない	40	1.8%
無回答	11	0.5%
計	12,733	-

問 28 過去1年間に、あなたは、あなたの住んでいる地域で、次のような活動に参加することがありましたか。（あてはまるものすべてに ）

項目	票数	割合
地域の行事・イベント（子ども会、地域の運動会やクリスマス会など）	854	39.0%
近所のお祭り	1,764	80.5%
公園や道路などの掃除、地域の避難訓練など	597	27.2%
児童館、公民館などで行われる講座や教室	172	7.9%
どれにも参加したり、行ったりしていない	279	12.7%
無回答	24	1.1%
計	3,690	-

問 29 現在、あなたは、悩んでいることや心配なこと、困っていること、誰かに相談したいと思っていることがありますか。(あてはまるものすべてに)

項目	票数	割合
学校での生活のこと	263	12.0%
友だちのこと	320	14.6%
家族のこと	78	3.6%
勉強のこと	413	18.8%
家での生活のこと	61	2.8%
塾や習い事のこと	149	6.8%
その他	78	3.6%
相談したいことはない	1,296	59.2%
無回答	47	2.1%
計	2,705	-

【クロス集計】

子どもとの会話頻度

項目	よくする		ときどきする		あまりしない		まったくしない	
	票数	割合	票数	割合	票数	割合	票数	割合
相談したいことがある	658	37.7%	125	42.8%	16	64.0%	1	100.0%
相談したいことはない	1,052	60.2%	162	55.5%	9	36.0%	0	0.0%
無回答	37	2.1%	5	1.7%	0	0.0%	0	0.0%
計	1,747	100.0%	292	100.0%	25	100.0%	1	100.0%

休日に一緒に遊ぶ頻度

項目	よく遊ぶ		ときどき遊ぶ		あまり遊ばない		まったく遊ばない	
	票数	割合	票数	割合	票数	割合	票数	割合
相談したいことがある	137	33.8%	381	38.3%	233	42.0%	41	41.0%
相談したいことはない	262	64.7%	588	59.2%	312	56.2%	58	58.0%
無回答	6	1.5%	25	2.5%	10	1.8%	1	1.0%
計	405	100.0%	994	100.0%	555	100.0%	100	100.0%

問 30 悩んでいることや心配なことを、話したり、相談したりできる相手は誰ですか。

(あてはまるものすべてに)

項目	票数	割合
家族のおとな	1,632	74.5%
きょうだい	446	20.4%
学校の先生	630	28.8%
学校の友だち	1,332	60.8%
学校以外の友だち	200	9.1%
家族・学校の先生以外のおとな	100	4.6%
その他	42	1.9%
相談できる人はいない	116	5.3%
無回答	28	1.3%
計	4,526	-

問 31 あなたは、学校や家で、仲間はずれや一人ぼっちで寂しいと感じることがありますか。

(あてはまるもの1つに)

項目	票数	割合
よく感じる	81	3.7%
ときどき感じる	347	15.8%
あまり感じない	558	25.5%
まったく感じない	1,185	54.1%
無回答	20	0.9%
計	2,191	100.0%

問32 あなたは、ふだんの生活の中で次のことがどのくらいできますか。

(~ のそれぞれについて、あてはまるものを1つずつ)

設問項目		できる	どちらかとい えばできる	どちらかとい えばできない	できない	無回答	計
票数	自分の考えを人に説明する	666	840	524	137	24	2,191
	人の話をよく聞く	946	958	214	42	31	2,191
	よく知らない人と会話をする	467	624	647	414	39	2,191
	周りの人をまとめてひっぱっていく	356	686	667	441	41	2,191
	面白いことを言って人を楽しませる	655	751	509	247	29	2,191
割合	自分の考えを人に説明する	30.4%	38.3%	23.9%	6.3%	1.1%	100.0%
	人の話をよく聞く	43.2%	43.7%	9.8%	1.9%	1.4%	100.0%
	よく知らない人と会話をする	21.3%	28.5%	29.5%	18.9%	1.8%	100.0%
	周りの人をまとめてひっぱっていく	16.2%	31.4%	30.4%	20.1%	1.9%	100.0%
	面白いことを言って人を楽しませる	29.9%	34.3%	23.2%	11.3%	1.3%	100.0%

問33 あなたは、自分自身のことをどう思いますか。

(~ のそれぞれについて、あてはまるものを1つずつ)

設問項目		そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	無回答	計
票数	自分にはよいところがあると思う	788	863	339	179	22	2,191
	自分には将来の夢や目標がある	1,295	429	258	185	24	2,191
	がんばれば、いいことがある	1,336	553	162	108	32	2,191
割合	自分にはよいところがあると思う	36.0%	39.3%	15.5%	8.2%	1.0%	100.0%
	自分には将来の夢や目標がある	59.1%	19.6%	11.8%	8.4%	1.1%	100.0%
	がんばれば、いいことがある	61.0%	25.2%	7.4%	4.9%	1.5%	100.0%

【クロス集計】

自分にはよいところがあると思う

項目	相対的貧困世帯				相対的貧困でない世帯			
	小学校		中学校		小学校		中学校	
	票数	割合	票数	割合	票数	割合	票数	割合
そう思う	31	32.3%	22	21.8%	327	42.0%	276	34.2%
どちらかといえばそう思う	43	44.7%	41	40.5%	295	37.9%	315	38.9%
どちらかといえばそう思わない	11	11.5%	25	24.8%	99	12.7%	139	17.2%
そう思わない	7	7.3%	12	11.9%	53	6.8%	75	9.3%
無回答	4	4.2%	1	1.0%	5	0.6%	3	0.4%
計	96	100.0%	101	100.0%	779	100.0%	808	100.0%

自分には将来の夢や目標がある

項目	相対的貧困世帯				相対的貧困でない世帯			
	小学校		中学校		小学校		中学校	
	票数	割合	票数	割合	票数	割合	票数	割合
そう思う	64	66.6%	47	46.6%	543	69.7%	398	49.2%
どちらかといえばそう思う	15	15.6%	19	18.8%	133	17.1%	189	23.4%
どちらかといえばそう思わない	7	7.3%	16	15.8%	63	8.1%	118	14.6%
そう思わない	6	6.3%	17	16.8%	37	4.7%	99	12.3%
無回答	4	4.2%	2	2.0%	3	0.4%	4	0.5%
計	96	100.0%	101	100.0%	779	100.0%	808	100.0%

がんばれば、いいことがある

項目	相対的貧困世帯				相対的貧困でない世帯			
	小学校		中学校		小学校		中学校	
	票数	割合	票数	割合	票数	割合	票数	割合
そう思う	59	61.4%	57	56.4%	526	67.5%	467	57.8%
どちらかといえばそう思う	22	22.9%	21	20.8%	177	22.7%	217	26.9%
どちらかといえばそう思わない	7	7.3%	13	12.9%	41	5.3%	69	8.5%
そう思わない	4	4.2%	9	8.9%	26	3.3%	50	6.2%
無回答	4	4.2%	1	1.0%	9	1.2%	5	0.6%
計	96	100.0%	101	100.0%	779	100.0%	808	100.0%

b) 保護者用

あなた（保護者）ご自身のことについてお伺いします。

問1 あなたの性別をお答えください。（あてはまるもの1つに ）

項目	票数	割合
男性	113	5.1%
女性	2,086	94.8%
無回答	3	0.1%
計	2,202	100.0%

問2 現在のあなたの年齢をお答えください。（あてはまるもの1つに ）

項目	票数	割合
10歳代	2	0.1%
20歳代	5	0.2%
30歳代	485	22.0%
40歳代	1,567	71.2%
50歳代	130	5.9%
60歳以上	5	0.2%
無回答	8	0.4%
計	2,202	100.0%

問3 調査対象である「小学5年生」または「中学2年生」のお子さん（以下、「お子さん」）からみたあなたの続柄をお答えください。（あてはまるもの1つに ）

項目	票数	割合
父親	113	5.1%
母親	2,083	94.7%
兄、姉などのきょうだい	1	0.0%
祖父	0	0.0%
祖母	3	0.1%
おじ、おばなどの親族	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	2	0.1%
計	2,202	100.0%

問4 現在お住まいの住居の種類と建て方の種類についてお答えください。（あてはまるものを1つずつ ）

○住居の種類

項目	票数	割合
持ち家	1,914	86.9%
民間賃貸住宅	184	8.4%
社宅・公務員住宅などの給与住宅	23	1.0%
都市再生機構・公社などの公営賃貸住宅	47	2.1%
その他	24	1.1%
無回答	10	0.5%
計	2,202	100.0%

建て方の種類

項目	票数	割合
一戸建て	1,746	79.3%
共同住宅（マンション、アパートなど）	444	20.2%
無回答	12	0.5%
計	2,202	100.0%

問5 あなたは現在の場所に住まれて何年になりますか。(あてはまるもの1つに)

項目	票数	割合
1年未満	50	2.3%
1年以上～3年未満	99	4.5%
3年以上～5年未満	157	7.1%
5年以上～15年未満	1,375	62.4%
15年以上～30年未満	469	21.3%
30年以上	44	2.0%
無回答	8	0.4%
計	2,202	100.0%

問6 現在、あなたが加入されている医療保険をお答えください。(あてはまるもの1つに)

項目	票数	割合
協会けんぽ(全国健康保険協会)	303	13.8%
会社の健康保険組合	1,320	59.9%
共済組合	193	8.8%
国民健康保険	315	14.3%
後期高齢者医療制度	0	0.0%
その他	18	0.8%
現在、加入していない(加入できない)	15	0.7%
無回答	38	1.7%
計	2,202	100.0%

ご家族のことについてお伺いします。

問7 お子さんの家族は、あなたを含めて何人ですか。(人数を〔 〕内に記入)

項目	票数	割合
2人	34	1.5%
3人	305	13.9%
4人	1,123	51.0%
5人	545	24.8%
6人以上	188	8.5%
無回答	7	0.3%
計	2,202	100.0%

問8 平成29年4月1日時点での、お子さんと、お子さんのきょうだい(兄・姉・弟・妹)の人数を、年齢別でお答えください。(人数を〔 〕内に記入)

○1世帯あたりの子どもの人数

項目	票数	割合
1人	430	19.5%
2人	1110	50.4%
3人	458	20.8%
4人	114	5.2%
5人	44	2.0%
6人	13	0.6%
7人	2	0.1%
無回答	31	1.4%
計	2202	100.0%

○子どもの年齢

項目	票数	割合
15歳以上	781	35.5%
12～14歳	1352	61.4%
6～11歳	1471	66.8%
0～5歳	232	10.5%
無回答	31	1.4%
計	3867	-

問9 お子さんの父親・母親の最終学歴についてお答えください。(あてはまるものを1つずつ)

項目	父親		母親	
	票数	割合	票数	割合
中学校卒業	45	2.0%	16	0.7%
高等学校中退	52	2.4%	25	1.1%
高等学校卒業	547	24.8%	508	23.1%
短期大学・高等専門学校卒業 (高校卒業後に進学する学校)	95	4.3%	731	33.3%
専修・専門学校卒業	269	12.2%	365	16.6%
大学中退	51	2.3%	18	0.8%
大学卒業	880	40.1%	476	21.6%
大学院修了	115	5.2%	20	0.9%
その他	4	0.2%	8	0.4%
わからない	2	0.1%	1	0.0%
父親はいない	82	3.7%	5	0.2%
無回答	60	2.7%	29	1.3%
計	2,202	100.0%	2,202	100.0%

【クロス集計】

項目	父親				母親			
	相対的貧困世帯		相対的貧困でない世帯		相対的貧困世帯		相対的貧困でない世帯	
	票数	割合	票数	割合	票数	割合	票数	割合
中学校卒業	13	6.3%	26	1.5%	3	1.5%	9	0.5%
高等学校中退	9	4.4%	38	2.2%	6	2.9%	17	1.0%
高等学校卒業	50	24.4%	428	25.3%	60	29.3%	381	22.6%
短期大学・高等専門学校卒業 (高校卒業後に進学する学校)	6	2.9%	74	4.4%	63	30.6%	574	34.0%
専修・専門学校卒業	19	9.3%	212	12.6%	34	16.6%	270	16.0%
大学中退	5	2.4%	38	2.2%	4	2.0%	12	0.7%
大学卒業	36	17.6%	725	43.1%	29	14.1%	391	23.1%
大学院修了	3	1.5%	97	5.7%	1	0.5%	19	1.1%
その他		0.0%	3	0.2%	1	0.5%	6	0.4%
わからない		0.0%	2	0.1%		0.0%	1	0.1%
父親はいない	50	24.4%	25	1.5%	1	0.5%	4	0.2%
無回答	14	6.8%	21	1.2%	3	1.5%	5	0.3%
計	205	100.0%	1,689	100.0%	205	100.0%	1,689	100.0%

問10 お子さんの父親・母親の現在の職業についてお答えください。(あてはまるものを1つずつ)

項目	父親		母親	
	票数	割合	票数	割合
正社員・正規職員	1,717	77.9%	337	15.3%
契約社員・派遣社員・嘱託・ 準社員など	44	2.0%	115	5.2%
パート・アルバイト	10	0.5%	1,108	50.3%
自営業・家業	246	11.2%	84	3.8%
内職	0	0.0%	24	1.1%
その他	19	0.9%	21	1.0%
わからない	3	0.1%	3	0.1%
働いていない	10	0.5%	480	21.8%
父親はいない	95	4.3%	9	0.4%
無回答	58	2.6%	21	1.0%
計	2,202	100.0%	2,202	100.0%

【クロス集計】

項目	父親				母親			
	相対的貧困世帯		相対的貧困でない世帯		相対的貧困世帯		相対的貧困でない世帯	
	票数	割合	票数	割合	票数	割合	票数	割合
正社員・正規職員	58	28.3%	1,430	84.6%	32	15.6%	273	16.2%
契約社員・派遣社員・ 嘱託・準社員など	12	5.9%	28	1.7%	24	11.7%	81	4.8%
パート・アルバイト	2	1.0%	8	0.5%	102	49.7%	863	51.1%
自営業・家業	48	23.3%	152	9.0%	16	7.8%	58	3.4%
内職	0	0.0%	0	0.0%	2	1.0%	20	1.2%
その他	1	0.5%	15	0.9%	1	0.5%	17	1.0%
わからない	1	0.5%	2	0.1%	1	0.5%	2	0.1%
働いていない	7	3.4%	3	0.2%	24	11.7%	362	21.4%
母親はいない	58	28.3%	30	1.8%	1	0.5%	7	0.4%
無回答	18	8.8%	21	1.2%	2	1.0%	6	0.4%
計	205	100.0%	1,689	100.0%	205	100.0%	1,689	100.0%

お子さんのことについてお伺いします。

問 11 現在、あなたのお子さんは、どの学校に通っていますか。(あてはまるもの1つに)

項目	票数	割合
小学校	1,102	50.0%
中学校	1,094	49.7%
その他	4	0.2%
無回答	2	0.1%
計	2,202	100.0%

○地域別

項目	票数	割合	
小学校	南部	269	12.2%
	中部	504	22.9%
	北部	305	13.9%
	私立	17	0.8%
	国立	7	0.3%
中学校	南部	197	8.9%
	中部	591	26.7%
	北部	257	11.7%
	私立	39	1.8%
	国立	10	0.5%
その他	3	4	
無回答	2	2	
計	2,191	2,202	

問 12 あなたは、将来、お子さんにどこまで就学してほしいと思いますか。(あてはまるもの1つに)

項目	票数	割合
中学校	2	0.1%
高等学校	180	8.2%
短期大学、高等専門学校	101	4.6%
専修・専門学校	140	6.4%
大学	1,463	66.3%
大学院	77	3.5%
その他	30	1.4%
わからない	184	8.4%
無回答	25	1.1%
計	2,202	100.0%

【クロス集計】

項目	相対的貧困世帯		相対的貧困でない世帯	
	票数	割合	票数	割合
中学校	1	0.5%	0	0.0%
高等学校	41	20.0%	112	6.6%
短期大学、高等専門学校	16	7.8%	67	4.0%
専修・専門学校	16	7.8%	110	6.5%
大学	101	49.2%	1,182	70.1%
大学院	3	1.5%	65	3.8%
その他	4	2.0%	16	0.9%
わからない	23	11.2%	120	7.1%
無回答	0	0.0%	17	1.0%
計	205	100.0%	1,689	100.0%

問 13 学校の先生と子どものことを話しますか。(あてはまるもの1つに)

項目	票数	割合
よく話す	291	13.2%
ときどき話す	860	39.1%
あまり話さない	846	38.4%
まったく話さない	181	8.2%
無回答	24	1.1%
計	2,202	100.0%

問 14 放課後に、お子さんはどのように過ごしていますか。(特にあてはまるもの3つまで)

項目	票数	割合
まっすぐ帰り、自分の家で、一人で過ごす	333	15.1%
まっすぐ帰り、自分の家で、家族と過ごす	1,068	48.5%
児童館、留守家庭児童育成クラブや放課後子ども教室など、市などが用意する居場所にいる	59	2.7%
友だちと遊ぶ	1,083	49.2%
塾や習い事に行く	1,281	58.2%
学校の部活動に参加する	906	41.1%
ゲームセンターや繁華街へ遊びに行く	2	0.1%
家事をする、家業を手伝う	71	3.2%
その他	61	2.8%
無回答	6	0.3%
計	4,870	-

問 15 放課後に、お子さんがどのように過ごしてほしいと思いますか。(特にあてはまるもの3つまで)

項目	票数	割合
まっすぐ帰り、自分の家で、一人で過ごす	93	4.2%
まっすぐ帰り、自分の家で、家族と過ごす	995	45.2%
児童館、留守家庭児童育成クラブや放課後子ども教室など、市などが用意する居場所に	85	3.9%
友だちと遊ぶ	1,324	60.1%
塾や習い事に行く	1,263	57.4%
学校の部活動に参加する	1,034	47.0%
ゲームセンターや繁華街へ遊びに行く	1	0.0%
家事をする、家業を手伝う	365	16.6%
その他	61	2.8%
無回答	15	0.7%
計	5,236	-

問 16 放課後に、家以外でお子さんが過ごす場合、その場所は何時頃まで利用できるかといと思いますか。
(あてはまるもの1つに)

項目	票数	割合
17時	250	11.4%
17時半	339	15.4%
18時	803	36.4%
18時半	243	11.0%
19時	292	13.3%
19時半	29	1.3%
20時	95	4.3%
20時半	38	1.7%
21時以降	30	1.4%
その他	13	0.6%
無回答	70	3.2%
計	2,202	100.0%

問 17 お子さんは、現在、塾に行ったり習い事をしたりしていますか。費用がかからないサークル活動などは含めずにお答えください。(あてはまるものすべてに)

項目	票数	割合
学習塾・進学塾	915	41.6%
家庭教師	36	1.6%
英会話・そろばんなどの勉強	488	22.2%
通信教育	319	14.5%
スポーツ	799	36.3%
絵画・音楽・ダンス・茶道など	490	22.3%
その他	152	6.9%
塾や、習い事に行っていない	345	15.7%
無回答	35	1.6%
計	3,579	-

問 18 お子さんに、今後、どんな習い事をさせたいですか。現在通っている塾や習い事は含めずにお答えください。
(あてはまるものすべてに)

項目	票数	割合
学習塾・進学塾	849	38.6%
家庭教師	84	3.8%
英会話・そろばんなどの勉強	509	23.1%
通信教育	57	2.6%
スポーツ	457	20.8%
絵画・音楽・ダンス・茶道など	268	12.2%
その他	112	5.1%
塾や、習い事に行かせたいと思わない	215	9.8%
無回答	373	16.9%
計	2,924	-

問 19 あなたは、お子さんと会話をしますか。(あてはまるもの1つに)

項目	票数	割合
よくする	1,856	84.2%
ときどきする	310	14.1%
あまりしない	25	1.1%
まったくしない	1	0.1%
無回答	10	0.5%
計	2,202	100.0%

問 20 あなたは、休日にお子さんと遊びますか。(あてはまるもの1つに)

項目	票数	割合
よく遊ぶ	439	19.9%
ときどき遊ぶ	1,050	47.8%
あまり遊ばない	589	26.7%
まったく遊ばない	102	4.6%
無回答	22	1.0%
計	2,202	100.0%

問 21 お子さんは、ふだんから朝・昼・夕の3食を食べていますか。(あてはまるものすべてに)

項目	票数	割合
3食とも食べている	2,088	94.8%
朝食は食べていない	71	3.2%
昼食は食べていない	5	0.2%
夕食は食べていない	4	0.2%
わからない	1	0.0%
その他	27	1.2%
無回答	8	0.4%
計	2,204	-

問 22 お子さんは、いつも朝食をどのように食べていますか。(あてはまるもの1つに)

項目	票数	割合
家族そろって食べる	351	15.9%
おとなの家族の誰かと食べる	706	32.1%
子どもだけで食べる	765	34.8%
一人で食べる	263	11.9%
その他	94	4.3%
無回答	23	1.0%
計	2,202	100.0%

問 23 お子さんは、いつも夕食をどのように食べていますか。(あてはまるもの1つに)

項目	票数	割合
家族そろって食べる	916	41.6%
おとなの家族の誰かと食べる	1,046	47.5%
子どもだけで食べる	97	4.4%
一人で食べる	42	1.9%
その他	86	3.9%
無回答	15	0.7%
計	2,202	100.0%

問 24 お子さんは、療育手帳や身体障害者手帳、精神障害者手帳をお持ちですか。(あてはまるもの1つに)

項目	票数	割合
持っている	42	1.9%
持っていない	2,141	97.2%
無回答	19	0.9%
計	2,202	100.0%

暮らしの状況についてお伺いします。

問 25 平成 28 年（2016 年）の家族全員の収入の合計額は、税込みでおよそいくらでしたか。

（あてはまるもの 1 つに ）

項目	票数	割合
50 万円未満	22	1.0%
50 万～100 万円未満	27	1.2%
100 万～150 万円未満	28	1.3%
150 万～200 万円未満	34	1.5%
200 万～250 万円未満	47	2.1%
250 万～300 万円未満	55	2.5%
300 万～350 万円未満	59	2.7%
350 万～400 万円未満	78	3.5%
400 万～450 万円未満	87	4.0%
450 万～500 万円未満	123	5.6%
500 万～550 万円未満	138	6.3%
550 万～600 万円未満	155	7.0%
600 万～650 万円未満	126	5.7%
650 万～700 万円未満	119	5.4%
700 万～750 万円未満	113	5.1%
750 万～800 万円未満	106	4.8%
800 万～850 万円未満	95	4.3%
850 万～900 万円未満	69	3.1%
900 万～950 万円未満	57	2.6%
950 万～1,000 万円未満	87	4.0%
1,000 万円以上	264	12.1%
わからない	103	4.7%
無回答	210	9.5%
計	2,202	100.0%

問 26 ご家族の生活費用の稼ぎ手となっているのは誰ですか。お子さんからみた続柄でお答えください。

（あてはまるものすべてに ）

項目	票数	割合
父親	1,982	90.0%
母親	787	35.7%
兄・姉などきょうだい	5	0.2%
祖父	25	1.1%
祖母	20	0.9%
おじ・おばなど親族	3	0.1%
その他	5	0.2%
誰も働いていない	4	0.2%
無回答	27	1.2%
計	2,858	-

【クロス集計】

項目	相対的貧困世帯		相対的貧困でない世帯	
	票数	割合	票数	割合
父親	96	46.8%	1,611	95.4%
母親	141	68.8%	572	33.9%
兄・姉などきょうだい	1	0.5%	4	0.2%
祖父	5	2.4%	17	1.0%
祖母	4	2.0%	13	0.8%
おじ・おばなど親族	0	0.0%	3	0.2%
その他	2	1.0%	2	0.1%
誰も働いていない	3	1.5%	0	0.0%
無回答	1	0.5%	7	0.4%
計	205	-	1,689	-

問 27 過去 1 年間に、次の手当や援助などを受けたことがありますか。
 (~ のそれぞれについて、あてはまるものを 1 つずつ)

設問項目		受けている	受けたことがある	受けたことがない	無回答	計
票数	就学援助、就学奨励	235	73	1,664	230	2,202
	児童扶養手当	259	36	1,647	260	2,202
	障がい者の手当	31	2	1,839	330	2,202
	生活保護	18	4	1,851	329	2,202
	離婚後の配偶者からの養育費	36	15	1,832	319	2,202
割合	就学援助、就学奨励 1	10.7%	3.3%	75.6%	10.4%	100.0%
	児童扶養手当 2	11.8%	1.6%	74.8%	11.8%	100.0%
	障がい者の手当 3	1.4%	0.1%	83.5%	15.0%	100.0%
	生活保護	0.8%	0.2%	84.1%	14.9%	100.0%
	離婚後の配偶者からの養育費	1.6%	0.7%	83.2%	14.5%	100.0%

【クロス集計】

就学援助、就学奨励

項目	相対的貧困世帯		相対的貧困でない世帯	
	票数	割合	票数	割合
受けている	112	54.6%	94	5.6%
受けたことがある	15	7.3%	56	3.3%
受けたことがない	60	29.3%	1,394	82.5%
無回答	18	8.8%	145	8.6%
計	205	100.0%	1,689	100.0%

児童扶養手当

項目	相対的貧困世帯		相対的貧困でない世帯	
	票数	割合	票数	割合
受けている	101	49.2%	134	7.9%
受けたことがある	7	3.4%	27	1.6%
受けたことがない	69	33.7%	1,366	80.9%
無回答	28	13.7%	162	9.6%
計	205	100.0%	1,689	100.0%

障がい者の手当

項目	相対的貧困世帯		相対的貧困でない世帯	
	票数	割合	票数	割合
受けている	4	2.0%	1.2%	20
受けたことがある	1	0.5%	0.1%	1
受けたことがない	141	68.7%	87.3%	1,475
無回答	59	28.8%	11.4%	193
計	205	100.0%	100.0%	1,689

生活保護

項目	相対的貧困世帯		相対的貧困でない世帯	
	票数	割合	票数	割合
受けている	14	6.8%	2	0.1%
受けたことがある	2	1.0%	2	0.1%
受けたことがない	136	66.3%	1,488	88.1%
無回答	53	25.9%	197	11.7%
計	205	100.0%	1,689	100.0%

離婚後の配偶者からの養育費

項目	相対的貧困世帯		相対的貧困でない世帯	
	票数	割合	票数	割合
受けている	15	7.3%	17	1.0%
受けたことがある	9	4.4%	5	0.3%
受けたことがない	132	64.4%	1,474	87.3%
無回答	49	23.9%	193	11.4%
計	205	100.0%	1,689	100.0%

問 28 次のうち、経済的理由（お金がなくて買えない、家が狭くて置けないなど）のために、あなたの家庭にないものはありますか。（あてはまるものすべてに ）

項目	票数	割合
冷蔵庫	0	0.0%
洗濯機	1	0.0%
掃除機	1	0.0%
電子レンジ	3	0.1%
暖房機器	8	0.4%
冷房機器	16	0.7%
世帯専用のお風呂	3	0.1%
世帯人数分の布団	41	1.9%
自転車、バイク	46	2.1%
子ども用のスポーツ用品・ぬいぐるみ・おもちゃ	10	0.5%
子どもの年齢にあった絵本や本	21	1.0%
子どもが自宅で宿題をすることができる場所	26	1.2%
コンピューターゲーム機	37	1.7%
固定電話・携帯電話（スマートフォンを除く）	15	0.7%
スマートフォン	45	2.0%
急な出費のための貯金（5万円以上）	205	9.3%
あてはまるものはない	1,698	77.1%
無回答	194	8.8%
計	2,370	-

【クロス集計】

項目	相対的貧困世帯		相対的貧困でない世帯	
	票数	割合	票数	割合
家庭にないものがある	81	39.5%	201	11.9%
家庭にないものはない	110	53.7%	1,363	80.7%
無回答	14	6.8%	125	7.4%
計	205	100.0%	1,689	100.0%

問 29 次のうち、過去1年間に、経済的理由のために、支払いができないことがありましたか。

（あてはまるものすべてに ）

項目	票数	割合
学校・保育所・幼稚園などの授業料や保育料	40	1.8%
学校・保育所・幼稚園などの給食費、遠足や修学旅行の代金などの学校徴収金	23	1.0%
通勤や通学に使うバスや電車の料金	5	0.2%
電話代（固定電話・携帯電話を含む）	31	1.4%
公的年金・健康保険・介護保険の支払い	58	2.6%
所得税や住民税	58	2.6%
家賃	29	1.3%
電気代	36	1.6%
ガス代	31	1.4%
水道代	50	2.3%
あてはまるものはない	1,900	86.3%
無回答	150	6.8%
計	2,411	-

【クロス集計】

項目	相対的貧困世帯		相対的貧困でない世帯	
	票数	割合	票数	割合
支払えなかったことがある	67	32.7%	74	4.4%
支払えなかったことはない	128	62.4%	1,522	90.1%
無回答	10	4.9%	93	5.5%
計	205	100.0%	1,689	100.0%

問 30 過去1年間に、経済的理由のために、家族が必要とする「食料」、衣料」、子どもが必要とする「文具や教材」が買えないことがありましたか。(嗜好品は含みません。)
(~ のそれぞれについて、あてはまるものを1つずつ)

設問項目		よくあった	ときどきあった	あまりなかった	まったくなかった	無回答	計
票数	家族が必要とする「食料」	14	81	206	1,830	71	2,202
	家族が必要とする「衣料」	31	132	228	1,742	69	2,202
	子どもが必要とする「文具や教材」(学校指定の制服や靴、部活動の道具も含む)	13	87	202	1,834	66	2,202
割合	家族が必要とする「食料」	0.6%	3.7%	9.4%	83.1%	3.2%	100.0%
	家族が必要とする「衣料」	1.4%	6.0%	10.4%	79.1%	3.1%	100.0%
	子どもが必要とする「文具や教材」(学校指定の制服や靴、部活動の道具も含む)	0.6%	4.0%	9.2%	83.2%	3.0%	100.0%

【クロス集計】

家族が必要とする「食料」

項目	相対的貧困世帯		相対的貧困でない世帯	
	票数	割合	票数	割合
よくあった	11	5.4%	3	0.2%
ときどきあった	26	12.7%	51	3.0%
あまりなかった	44	21.5%	135	8.0%
まったくなかった	118	57.5%	1,467	86.8%
無回答	6	2.9%	33	2.0%
計	205	100.0%	1,689	100.0%

家族が必要とする「衣料」

項目	相対的貧困世帯		相対的貧困でない世帯	
	票数	割合	票数	割合
よくあった	17	8.3%	13	0.8%
ときどきあった	40	19.5%	83	4.9%
あまりなかった	48	23.4%	151	8.9%
まったくなかった	95	46.4%	1,409	83.4%
無回答	5	2.4%	33	2.0%
計	205	100.0%	1,689	100.0%

子どもが必要とする「文具や教材」

項目	相対的貧困世帯		相対的貧困でない世帯	
	票数	割合	票数	割合
よくあった	9	4.4%	3	0.2%
ときどきあった	30	14.6%	51	3.0%
あまりなかった	52	25.4%	130	7.7%
まったくなかった	111	54.1%	1,473	87.2%
無回答	3	1.5%	32	1.9%
計	205	100.0%	1,689	100.0%

問 31 過去1年間に、子どもについて、病気や怪我の治療のために病院や診療所を受診したほうがよいと思ったのに、実際には受診しなかったことがありましたか。(あてはまるもの1つに)

項目	票数	割合
ある	213	9.7%
ない	1,961	89.0%
無回答	28	1.3%
計	2,202	100.0%

【クロス集計】

項目	相対的貧困世帯		相対的貧困でない世帯	
	票数	割合	票数	割合
ある	46	22.4%	148	8.8%
ない	158	77.1%	1,532	90.7%
無回答	1	0.5%	9	0.5%
計	205	100.0%	1,689	100.0%

問 32 過去 1 年間に、あなたは、お子さんと次のようなことをすることがありましたか。
(あてはまるものすべてに)

項目	票数	割合
本や絵本を読んであげる	495	22.5%
手作りのおやつを作る	1,382	62.8%
新聞やニュースについて話をする	1,765	80.2%
インターネットを使って調べものをする	1,692	76.8%
ショッピングや食事に行く	2,117	96.1%
泊まりがけで家族旅行に行く	1,402	63.7%
日帰りで遊園地や温泉などに行く	1,380	62.7%
映画・コンサート・音楽会などに行く	1,343	61.0%
図書館・博物館・動物園・水族館などに行く	1,217	55.3%
学校行事(入学式・運動会など)に出席する	2,055	93.3%
あてはまるものはない	5	0.2%
無回答	10	0.5%
計	14,863	-

問 33 過去 1 年間に、あなたは、お子さんと次のような地域の活動に参加することがありましたか。
(あてはまるものすべてに)

項目	票数	割合
地域の行事・イベント(子ども会、地域の運動会やクリスマス会など)	825	37.5%
近所のお祭り	1,357	61.6%
公園や道路などの掃除、地域の避難訓練など	547	24.8%
児童館、公民館などで行われる講座や教室	149	6.8%
どれにも参加したり、行ったりしていない	603	27.4%
無回答	43	2.0%
計	3,524	-

問 34 あなたのご家庭は、近所づきあいがありますか。(あてはまるもの 1 つに)

項目	票数	割合
近所にちょっとした頼みごとができる人がたくさんいる	252	11.4%
近所にちょっとした頼みごとができる人が少しいる	950	43.3%
会えば親しく話しをする人がいる	467	21.2%
あいさつ程度がほとんど	481	21.8%
近所づきあいをほとんどしていない	40	1.8%
無回答	12	0.5%
計	2,202	100.0%

【クロス集計】

項目	相対的貧困世帯		相対的貧困でない世帯	
	票数	割合	票数	割合
近所にちょっとした頼みごとができる人がたくさんいる	12	5.9%	210	12.4%
近所にちょっとした頼みごとができる人が少しいる	69	33.5%	759	45.0%
会えば親しく話しをする人がいる	44	21.5%	344	20.4%
あいさつ程度がほとんど	68	33.2%	350	20.7%
近所づきあいをほとんどしていない	12	5.9%	22	1.3%
無回答	0	0.0%	4	0.2%
計	205	100.0%	1,689	100.0%

あなた(保護者)が、ふだん感じていることなどについてお伺いします。

問 35 育児の疲れを感じるがありますか。(あてはまるもの 1 つに)

項目	票数	割合
よく感じる	239	10.9%
ときどき感じる	1,027	46.6%
あまり感じない	741	33.7%
まったく感じない	175	7.9%
無回答	20	0.9%
計	2,202	100.0%

問 36 孤立感や社会からの疎外感を感じることがありますか。(あてはまるもの1つに)

項目	票数	割合
よく感じる	65	3.0%
ときどき感じる	376	17.1%
あまり感じない	1,165	52.8%
まったく感じない	577	26.2%
無回答	19	0.9%
計	2,202	100.0%

【クロス集計】

項目	相対的貧困世帯				相対的貧困でない世帯			
	小学校		中学校		小学校		中学校	
	票数	割合	票数	割合	票数	割合	票数	割合
よく感じる	7	7.0%	10	9.5%	22	2.6%	14	1.7%
ときどき感じる	25	25.0%	22	21.0%	149	17.6%	128	15.3%
あまり感じない	43	43.0%	57	54.3%	465	54.8%	444	52.9%
まったく感じない	24	24.0%	16	15.2%	209	24.6%	249	29.7%
無回答	1	1.0%	0	0.0%	3	0.4%	3	0.4%
計	100	100.0%	105	100.0%	848	100.0%	838	100.0%

問 37 お子さんに家事や家族の世話を頼むことがありますか。(あてはまるもの1つに)

項目	票数	割合
よくある	370	16.8%
ときどきある	1,170	53.2%
あまりない	542	24.6%
まったくない	104	4.7%
無回答	16	0.7%
計	2,202	100.0%

問 38 あなたには、緊急時などにお子さんを預かってくれたり、助けてくれる人がいますか。

(あてはまるもの1つに)

項目	票数	割合
いる	1,930	87.7%
いない	238	10.8%
無回答	34	1.5%
計	2,202	100.0%

問 39 現在、あなたが、なんでも相談できる相手は誰(なに)ですか。(あてはまるものすべてに)

項目	票数	割合
配偶者・パートナー	1,641	74.5%
自分の親	1,383	62.8%
配偶者・パートナーの親	382	17.3%
きょうだい・親戚	785	35.6%
自分の子ども	762	34.6%
職場の人	498	22.6%
近隣に住む知人や友人	1,062	48.2%
近隣に住んでいない知人や友人	552	25.1%
学校の先生やスクールカウンセラー	111	5.0%
公的機関の相談員	47	2.1%
民間のカウンセラー・電話相談	15	0.7%
医療機関の医師や看護師	45	2.0%
民生委員・児童委員	8	0.4%
インターネット	87	4.0%
その他	14	0.6%
相談できる相手はいない	53	2.4%
無回答	21	1.0%
計	7,466	-

問 40 現在、あなたが必要としていること、重要だと思う支援などはどのようなものですか。
 (あてはまるものすべてに)

項目	票数	割合
子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること	465	21.1%
同じような悩みを持った人同士で知り合えること	306	13.9%
民生委員・児童委員など地域の人から支援が受けられること	44	2.0%
離婚のことや養育費のことなどについて法的な支援が受けられること	149	6.8%
病気や障がいのことなどについて専門的な相談が受けられること	228	10.4%
住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること	220	10.0%
病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること	326	14.8%
子どもの就学にかかる費用が軽減されること	1,311	59.5%
一時的に必要な資金を借りられること	195	8.9%
就職・転職のための支援が受けられること	360	16.3%
その他	67	3.0%
特にない	376	17.1%
わからない	92	4.2%
無回答	84	3.8%
計	4,223	-

平成 29 年度 内閣府「地域子供の未来応援交付金活用事業」
川西市子どもの生活に関するアンケート調査結果報告書
平成 29 年 12 月

編集・発行 川西市 健康福祉部 生活支援室
川西市 教育委員会事務局
〒666 8501 兵庫県川西市中央町 12 番 1 号
電話：072 740 1111（代表）

調査実施機関 株式会社 長大
